

四銀 経営情報

Shigin Management Information

1

2024
No.188

新年挨拶

新年を迎えて

株式会社 四国銀行 頭取 小林 達司

企業訪問 トップに聞く

「飛耳長目」

第55回

株式会社ものべみらい
代表取締役社長 野並 啓 氏

寄稿 2023 年12月日銀短観の結果からみる
高知県の景気動向と先行きの展望

日本銀行 高知支店 支店長 藤原 文也 氏

寄稿 2023 年度 高知県民総幸福度 (GKH)
に関するアンケート結果について

一般社団法人しあわせ推進会議 代表理事 会長
土佐経済同友会 特別幹事 小川 雅弘 氏

調査 2023年「第70回よさこい祭り」
経済波及効果は79億円

株式会社四銀地域経済研究所
調査部主任研究員 山本 翔太郎

調査 第 163 回 高知県内企業の景況調査

目次

内 容

1	新年を迎えて	株式会社 四国銀行 頭取 小林 達司
2	企業訪問 トップに聞く『飛耳長目』 第55回 株式会社ものべみらい	代表取締役社長 野並 啓 氏
9	寄稿 2023年12月日銀短観の結果からみる 高知県の景気動向と先行きの展望	日本銀行 高知支店 支店長 藤原 文也 氏
15	寄稿 2023年度 高知県民総幸福度(GKH) に関するアンケート結果について	一般社団法人しあわせ推進会議 代表理事 会長 土佐経済同友会 特別幹事 小川 雅弘 氏
28	調査 2023年「第70回よさこい祭り」経済波及効果は79億円	株式会社四銀地域経済研究所 調査部主任研究員 山本 翔太郎
46	調査 第163回 高知県内企業の景況調査	
58	経済動向	
59	……国内経済	
61	……四国経済	
64	……高知経済	
	……徳島経済	
69	経済日誌	
70	……（国内・海外）	
	……（高知県内）	



新年を迎えて

株式会社 四国銀行
頭 取 小林 達司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は四国銀行グループに格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されたことを契機として、それまで慎重であった人の流れが活発となるなど、経済活動の正常化が進み、本格的な経済回復、そして新たな経済成長の軌道に乗ることが期待されるようになりました。

社会面においては、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）で“侍ジャパン”が14年ぶりに世界一となり日本全体が盛り上がりました。また、当行が本店を置く高知県では、4年ぶりとなるよさこい祭りの通常開催や、植物学者・牧野富太郎をモデルとしたNHK連続テレビ小説「らんまん」が放映されるなど、明るい話題が数多く見られた1年でもありました。

一方で、人口減少を背景として人手不足感が高まり、需要を十分に取り込むことができないといった課題が深刻化しつつあります。他にも、デジタル化への取組みや、気候変動への対応など、地域や産業を取り巻く環境は大きく変化しており、当行に求められる役割は、これまで以上に多様化・高度化していくものと考えております。

このような環境のもと、当行は昨年、新たな10年ビジョンとして「地域と産業を牽引するベスト&リライアブル カンパニー」を定め、その実現に向けた変革の第一歩として、3年間の中期経営計画をスタートさせました。

中期経営計画では、地域と産業の情報を収集・分析するシンクタンク機能や地域の課題解決を図る企画・実行機能を強化するとともに、お客さまの企業価値向上に資する営業スタイルの変革に取り組むなど、地域と産業を牽引する態勢整備を進めてまいります。また、お客さまにとって重要性が高まっている「人財」「DX」「カーボンニュートラル」に関する支援を強化してまいります。

私ども四国銀行グループは、ビジョン実現に向け役職員が一丸となって中期経営計画を着実に推し進め、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

最後になりますが、本年が皆さまにとりまして良き年でありますよう、心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

企業訪問 トップに聞く

第55回

ひ じ ちょう もく
飛耳長目

株式会社ものべみらい

代表取締役社長 野並 啓 氏



南国市に本社を置く株式会社ものべみらいは、2015年（平成27年）10月、四国銀行が政府系の地域経済活性化支援機構（ＲＥＶＩＣ、東京・千代田）や高知県と地域の観光振興を目的にした連携協定を締結したことにルーツをさかのぼる。同年同月、四国銀行とＲＥＶＩＣなどが共同で、「高知県観光活性化ファンド」を立ち上げ、パイロット地区に物部川地域を選定したことで、観光地域づくりがスタートした。

2016年（平成28年）8月、物部川地域の3市（南国市、香南市、香美市）の観光振興と6次産業化を行うために、「高知県観光活性化ファンド」などが出資する形で、株式会社ものべみらいが設立された。同社は、地域経営マネジメントやマーケティング機能を備え、地域のさまざまな事業者と協力して、多くの地域振興プランの実行を担う会社として位置付けられている。

現在、同社は、子会社として、やなせたかし記念館アンパンマンミュージアムに隣接する香美市所有のホテルなどを運営する株式会社香北ふるさとみらい、公益財団法人龍河洞保存会とともに龍河洞エリア全体の活性化を推進する企画・マーケティング会社として株式会社龍河洞みらい、生産者と未来の地域農業モデル構築を進める会社として株式会社山北みらいを傘下に置き、各事業を運営している。また、高知県立手結港海岸緑地公園と香南市の所有する道の駅やすを運営する株式会社ヤ・シィとも連携している。

今回、株式会社ものべみらいの社長である野並啓氏に創業からの歩みや課題、今後の目標などについてお話を伺った。

高知県観光活性化ファンド

—— 創業からの歩みを教えてください。

社長：2015年（平成27年）10月、四国銀行が政府系の、いわゆる半官半民のファンド会社である地域経済活性化支援機構（REVIC）や高知県と地域の観光振興を目的とした連携協定を締結したことが出発点となります。当時、四国銀行とREVICの協定に地方公共団体として、高知県が参画するのは、全国でも初めての事例でした。四国銀行とREVICなどが共同で「高知県観光活性化ファンド」を組成し、観光資源が多く、交通の利便性が良く、ブランド化しやすいという理由で、物部川地域をパイロット地区に選定しました。

2016年（平成28年）8月、物部川地域の3市（南国市、香南市、香美市）の観光振興と6次産業化を通じた地域活性化を行うために、「高知県観光活性化ファンド」などが出資する形で、株式会社ものべみらい（以下、ものべみらい）が設立されました。当社は、REVICの持つ人材やノウハウを活用し、地域経営マネジメントやマーケティング機能を備え、地域のさまざまな事業者と協力して、多くの地域振興プランを実行する役割を担っています。

現在、子会社として、株式会社香北ふるさとみらい（以下、香北ふるさとみらい）、株式会社龍河洞みらい（以下、龍河洞みらい）、株式会社山北みらい（以下、山北みらい）を傘下に置き、また地域活性化のために、株式会社ヤ・シィ（以下、ヤ・シィ）とも連携し、さまざまな事業に取り組んでいます。



▲ インタビュー風景
（左から野並社長、当研究所 西本・坂本）

—— グループ各企業の業務内容について教えてください。まず、香北ふるさとみらいからお願いします。

社長：2016年（平成28年）11月から、やなせたかし氏の出身地にあるアンパンマンミュージアム周辺エリアの活性化に着手しました。そのエリアのなかの香美市所有のホテルが休業中となっていました。ミュージアムに隣接するなど、立地条件が良く、また物部川地域活性化のためにも、宿泊施設は必須であり、またその中心的な役割を果たす役割を担うとの結論に達しました。そこで、ものべみらいが、第3セクター「株式会社香北ふるさと公社」の普通株式のうち、香美市所有持ち分の大部分を引き受け子会社化し、ホテルのリニューアルとその後の運営のマーケティング会社としてスタートすると同時に、社名を香北ふるさとみらいに変更しました。その後、市の補助金を活用して改修し、2018年（平成30年）7月、リニューアルオープンし、名称を「ザ・シックスダイアリー かほくホテル&リゾート」に変更しました。

現在、ホテルの運営事業以外にも、高知県が所有し、合宿や宿泊学習などに利用する「香北青少年の家」や、香美市が所有し、地元の方が主として、健康増進などに利用する「健康センターセレネ」の管理・運営を行っています。

ホテル運営事業は、県外からのお客様が多数利用していただいております。物部川地域を深く知っていただくための拠点として、位置付けています。

また、「香北青少年の家」や「健康センターセレネ」は、地元の方の生活の質を上げるとともに、観光客とさまざまな交流が生まれる場となることも期待しています。



▲「ザ・シックスダイアリーかほくホテル&リゾート」外観

家族で紡ぐものがたり

—— ホテルの特徴を教えてください。

社長：香美市出身のやなせたかし氏の作品を前面に押し出した改装を行いました。例えば、グッズの販売やキャラクターの原画レプリカを客室に装飾することで、主なターゲット層を小さなお子様を帯同した家族連れに据えています。

そのうえで、コンセプトに「家族で紡ぐものがたり」を掲げ、当地でしかできない体験を通し、家族だけの思い出を「家族のものがたり」の1ページとして加え、家族日記をつづっていくような体験を提供したいと考えています。

—— ミキハウス子育て総研株式会社より「ウェルカムベビーのお宿」の認定を受けているそうですね。

社長：ミキハウス子育て総研株式会社（以下、ミキハウス子育て総研）は、子連れファミリーに優

しい施設の普及を促し、母親や子供たちがより気軽にお出かけやレジャーを楽しむことを目的としており、同社の基準をクリアしたホテル・旅館・温泉宿などの施設を「ウェルカムベビーのお宿」として認定しています。例えば、ホテル内の段差についても、一つひとつチェックされるなど、非常に厳しい審査基準があります。

当ホテルもリニューアルオープン当初から認定を受け、高知県唯一の「ウェルカムベビーのお宿」となっています。同社の媒体を通じて、全国に発信していただいております、非常にありがたいと思っています。

また、物部川地域においても、10団体の観光施設が、「ウェルカムファミリーの観光地」の認定を受け、地域全体で、子育て世代受け入れに注力しています。



▲「ウェルカムベビーのお宿」認定ロゴマーク

—— コロナの影響は大きかったと思いますが、最近の業況はどうですか。

社長：2023年（令和5年）5月、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、お客様数はコロナ禍前に戻りつつあります。お客様の数以上に、大きく変わった点は、コロナ禍においては、高知県内のお客様を主体として、四国内のお客様がほとんどを占めていましたが、最近では東京や大阪などの都市圏のお客様が増加し、コロナ禍以前の状況に戻ってきました。都市圏のお客様は、物部川地域での滞在時間が長く、広域の観光が期待できることから、今後プロモーションを強化していきます。

—— 龍河洞みらいについて教えてください。

社長：香美市にある龍河洞は、石灰岩でできた、全長約4kmの巨大な鍾乳洞であり、山頂付近の盆地にたまった雨水が1億7,500万年の歳月をかけてつくりだされたとされ、日本3大鍾乳洞の1つとして、国指定史蹟・天然記念物に指定されています。

2017年（平成29年）3月から、龍河洞とその周辺商店街の活性化に着手しました。そして、同年10月、ものべみらいが、公益財団法人龍河洞保存会とともに、龍河洞エリア全体の活性化を推進する企画・マーケティング会社として龍河洞みらいを設立しました。マーケティングに基づく企画運営、特に集客面において、タイムリーなイベントを実施するなどの方法で龍河洞保存会のサポートを行うとともに、ハード面での整備を行っています。



▲ 龍河洞

—— 具体的な集客のためのイベントなどを教えてください。

社長：コロナ禍前は、例えば、夜間に照明を消した真っ暗な洞窟をハンドライト1本で進む冒険アドベンチャーを実施しました。特に暗闇で大型のプロジェクションマッピングで洞内を映し出すイベントは好評でした。そのような設備面を充実させるとともに、実施する内容を分かりやすく見せることを重視してきました。また、正月やクリスマスなどの季節要素に合わせたイベントなども実施してきました。コロナ禍には、そういったイベントを開催することが困難であったため、改めて

龍河洞の学術的な価値や成り立ちなどについて、地元大学をはじめとした先生方と一緒に分析・研究しました。そして、学術的な研究内容や意義などを外部に発信しました。すると、洞窟自体の成り立ちなどの研究成果に興味を示すような比較的年齢層の高い方まで、来訪者の範囲が広がりました。従前のファミリー層や友人同士、カップル、学校単位での学生に加える形で、来訪者の層が厚くなり、昨年よりも大幅に増加しています。2023年（令和5年）5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてからは、各種イベントも随時開催しています。

健全者も、障害者も

—— ヤ・シィについて教えてください。

社長：2001年（平成13年）、ヤ・シィは、香南市夜須町において、地元行政と住民が中心となって設立されました。物部川地域のなかでも、ショッピングやバーベキュー、マリンスポーツなどを楽しめる滞在型観光施設として、市の所有する道の駅やすと県立公園（以下、総称してヤ・シィパーク）の管理運営業務を行っています。また、直営業務として、地域の農産物を原料としたアイスバーの加工・販売、レストラン「マナマナ」や地元特産物販売の店舗を運営しています。ものべみらいとヤ・シィは、ヤ・シィパーク全体の活性化や、物部川地域の「海コンテンツ」の強化のために連携しています。

他のグループ各社とも共通していることが、地元の方と観光客の双方に楽しんでいただくことを重要視しています。道の駅や海水浴、地元の特産品販売など、施設のハード面や、地元取扱商品のストーリー性などを十分検討したうえで、双方に喜んでもらうことを目指して、事業を行っています。例えば、体に障害を持つ方が海水浴やカヌーなどの海遊びをすることは、非常にハードルが高いのが現状です。そういった方にも楽しん

でいただけるような設備と体制を徐々に進めており、実証実験も行いました。地元の方も観光客も、健常者も障害をお持ちの方も、すべての方に優しい、喜んでいただける施設にしたいと考えています。



▲（上）ヤ・シィパーク全景
（下）海辺直営レストラン「マナマナ」と特産品アイスバー

未来の地域農業モデル

—— 山北みらいについて教えてください。

社長：香南市香我美町山北で生産されたみかんは「山北みかん」というブランドで有名ですが、農家の減少と高齢化という問題を抱えていました。また、規格外で系統出荷できないみかんは加工用として利用されますが、県外に出荷されて加工された場合、非常に安価な価格で取引されていました。

そこで、2019年（令和元年）6月、ものべみらいは、生産者と「未来の地域農業モデル」構築を進めるための会社として、山北みらいを設立しました。当社は農家から農地の管理委託を受けてみかんを生産します。市が採用した地域おこし協力隊員が担い手となります。現在、農業に興味を持

つ県外在住の方に入っていただく仕組みを整えて事業を進めています。つまり、就農希望の移住者が地域全体の農業の後継者になることに加えて、地域の人口増加につながる取り組みを行っています。

しかし、農業従事者に一定の所得が保証されなければ、長続きしません。そのため、販路の開拓や加工商品の開発が必要となります。販路の開拓と並行して、現在、みかんバターや山北みかんジュース、山北みかん氷などを販売しています。今後は、山北産の農産物であれば、必ずしもみかんにこだわる必要はないと思っています。農産物の幅を広げ、そこへストーリー性を追加することで、売上が増加し、産地が潤っていく流れを目指します。



▲（上）山北みかんジュース

先義後利

—— 企業理念や経営方針がありましたら、教えてください。

社長：グループ全体を継続させていくうえで、収益を上げることが最も大切と思っています。一方、私たちの使命は、地域に寄り添い、活性化することにあると思っています。その2つは重なる部分もありますが、相反する部分もあると思います。収益のみを考えることは、好ましくなく、そのバランスが大切と考えています。私は、「先義後利」という考え方を大切にしたいと考えていま

す。言い換えると「地域優先、利益後まわし」となります。ただし、無駄な投資となるような地域優先は行わず、本当に地域にとって、将来的に有益なことだけを行っていきます。

——社長のこだわりや想いは何かありますか。

社長：地域に必要な不可欠な企業グループでありたいと思っています。決して独善的でなく、さまざまなステークホルダーの意見を聞くなかで、地域にとって最も良い選択を行うような経営をしたいと考えています。

若者の夢を叶えるプロジェクト

——CSR(社会的貢献)にも力を入れていきますね。

社長：グループ企業が運営する施設でのイベント企画や運営、イベントで使用する媒体のデザインなど、大学生や専門学校生などが、「やりたい・やってみたい」と思っていることへの挑戦のチャンスを提供しています。この試みを「若者の夢を叶えるプロジェクト」と呼んでいます。

コロナ禍前には、提携する地元大学の学生約30人を受け入れて、複数の班に分け、いろいろな施設の運営などを経験してもらいました。若者の視点で実務を運営し、さらに一步踏み込んだ経験をすることで、新たな気づきを発見し、視野が広がることを期待しています。経済活動もコロナ前に戻りつつありますので、このような取組を復活したいと考えています。

あんぱん

——現状の課題を教えてください。

社長：一般的に、宿泊施設では、人手不足が顕著であり、宿泊の部屋数や食事数を制限するなど、収益機会を逃しているケースが多くあると聞いて

います。

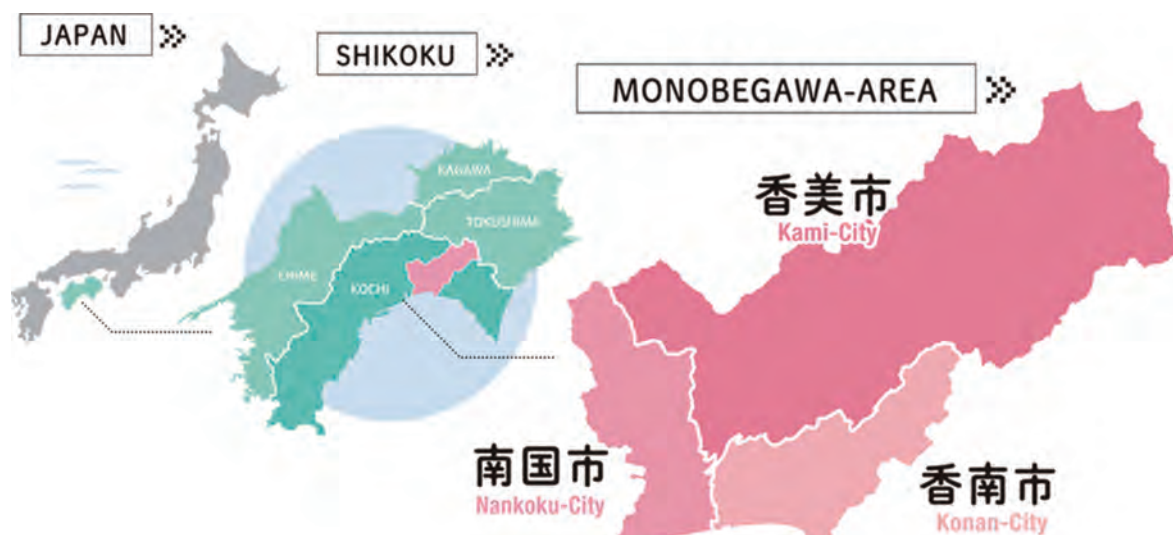
香北ふるさとみらいにおいても、コロナ禍に新規採用を控えていましたので、旅行需要が戻りつつあるなか、人繰りは厳しくなると思っています。特に、2025年4月から、やなせたかし氏をモデルとした、NHK連続テレビ小説「あんぱん」が放映されることが決定し、多数の観光客が訪れることが想定されます。それに対応できなければ、機会利益の喪失につながりますので、今後体制面の構築が最も大きな課題となっています。この地域には、やなせ氏に関連する施設や場所が多くありますので、小さなお子様を帯同した家族連れに加えて、年配の方の宿泊も多くなると考えています。やなせ氏のファンは非常に多く、誕生日などの関係する日には、大人一人で来訪し、このホテルに宿泊される方も多く、改めてその偉大さを感じることもあります。

——今後の目標や事業展望について教えてください。

社長：宿泊と龍河洞散策、果実や野菜の収穫といった農作業体験などを組み合わせた、グループ企業のなかですべて完結するツアー商品を提供することを考えてきました。そのためには、グループ間の連携が必要となりますので、全体を俯瞰できる従業員を育てていく必要があります。現実的には、ハードルが高いと思いますが、一步一步前に進めていきます。

——本日はありがとうございました。

(代表取締役 西本治史)



▲ 物部川地域



▲ ものべみらいグループ組織図

会社概要

- 名 称 株式会社ものべみらい
- 設 立 2016（平成28）年 8 月
- 本 社 〒783-0004 高知県南国市大桶甲1705番地5
- 資 本 金 1,635万円
- 事業内容 高知県における観光及び産業振興、並びにまちづくりに関する企画及び調査、マーケティング、サービス・情報提供業務
企業や事業者に対する経営人材の派遣及び経営コンサルタント業務
農産品、畜産品、水産品等の地産商品及び加工品の卸売業
これらの目的を遂行するため他と共同これを営み又は他に出資し若しくは他の会社の発起人となること 等



2023年12月日銀短観の結果からみる 高知県の景気動向と先行きの展望

日本銀行 高知支店
支店長 藤原文也

1. 業況感

2023年12月に実施した全国企業短期経済観測調査（高知県分）において、企業の足もとの業況感を示す業況判断 D.I.（最近）（以下、最近の業況判断 D.I.と表す）^{*1}をみると、全産業は21となり、前回9月調査から+2ポイント改善しました。業種別にみると、製造業が+8ポイントの改善となった一方、非製造業は前回から▲1ポイント悪化しました。

今回調査における最近の業況判断 D.I.の特徴を整理すると、まず製造業では、人流の回復に伴う売上増加や、原材料価格上昇の一服に伴う収益改善を主因に、食料品やはん用機械等で、業況判断が引き上げられた結果、業況感が改善しました。

一方、非製造業では、物価高に伴う消費者の節約志向の高まりを背景に、小売や宿泊・飲食サービスといった業種で、業況判断が引き下げられました。1度の買い物における消費者の購入点数が減少しているといった声や、客単価が減少しているといった声が聞かれており、足もとの物価高の影響が、一部企業の業況感に影響している様子が窺えます。

もっとも、小売や宿泊・飲食サービスの中には、供給制約の緩和、価格転嫁の進捗、新型コロナウイルス感染症の影響緩和に伴う需要増加から、業況判断を引き上げる先もみられました。このため、非製造業の業況判断 D.I.の悪化幅は小幅に止まっています。

3か月後の業況判断 D.I.の予想（以下、先行きの業況判断 D.I.と表す）は、全産業で▲3ポイント悪化する見込みとなっています。もともと、本統計において、先行きの業況判断 D.I.はやや慎重な見方を示す傾向があり、この結果が次回2024年3月調査における最近の業況判断 D.I.そのものを正確に予測しているとは限らないため、その評価にあたっては上下に幅をもってみる必要がありますが、こうした統計上のクセを踏まえると、先行きの悪化幅はそれほど大きくないと考えられます。業種別に子細にみると、まず製造業では、自動車生産の回復に伴う製品需要の増加期待等から+6ポイント改善する見込みとなっています。一方、非製造業では、小売や宿泊・飲食サービスにおいて、消費者の買い控えが拡がることに対する懸念や、大人数での旅行や宴会が控えられていることに対する懸念が聞かれている中、▲7ポイント悪化する見込みとなりました。今後、こうした懸念が各業種の売上や収益に与える影響等について、引き続き、注意深くみていく必要があると考えています。

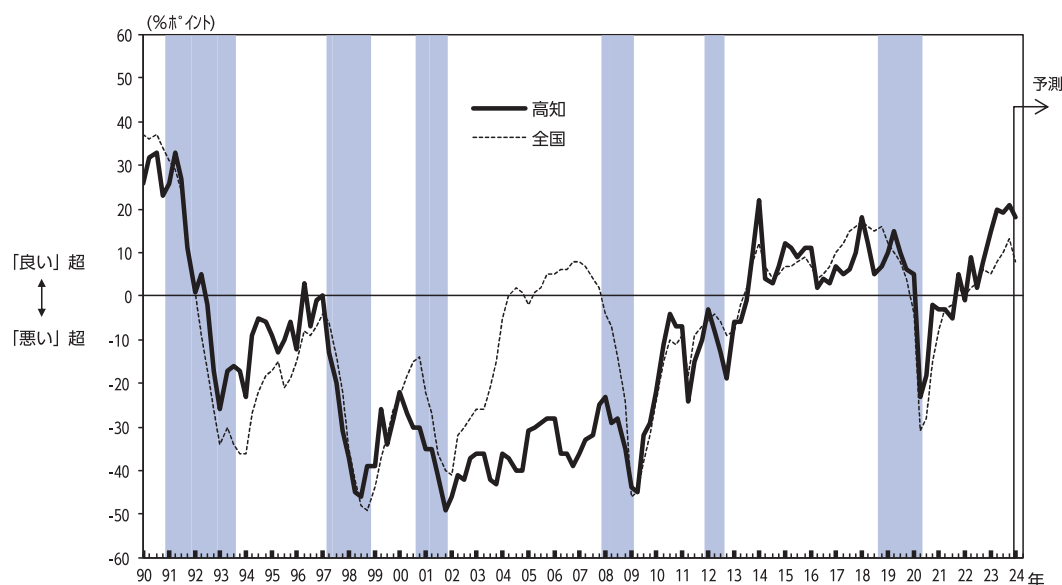
^{*1} 調査対象企業数は122社。業況判断 D.I. は、自社の業況が「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」と答えた企業の割合を引いて算出。

(図表 1 - 1) 業況判断 D.I.

(「良い」 - 「悪い」 社数の構成比・%ポイント)

		2022/12月	2023/3月	6月	9月	(前回の 12月予測)	12月 最近	変化幅	2024/3月 先行き	変化幅
全産業		8	15	20	19	(14)	21	2	18	▲ 3
社数 構成 比 (%)	①良い	25	31	31	28	(21)	29	1	25	▲ 4
	②さほど良くない	58	53	58	63	(72)	63	0	68	5
	③悪い	17	16	11	9	(7)	8	▲ 1	7	▲ 1
製造業		9	3	6	6	(11)	14	8	20	6
	食料品	▲ 20	▲ 30	▲ 10	0	(10)	10	10	10	0
	はん用・生産用・業務用機械	0	0	0	0	(0)	17	17	17	0
非製造業		8	21	25	24	(15)	23	▲ 1	16	▲ 7
建設		18	45	55	27	(36)	45	18	45	0
卸・小売		▲ 3	20	18	13	(5)	12	▲ 1	3	▲ 9
	卸売	6	27	26	13	(0)	20	7	6	▲ 14
	小売	▲ 8	16	12	12	(8)	8	▲ 4	0	▲ 8
宿泊・飲食サービス		20	20	50	60	(30)	50	▲ 10	50	0

(図表 1 - 2) 業況判断 D.I.の長期時系列推移 (全産業)



(注 1) シャドーは景気後退期 (内閣府調べ、以下同じ)。

(注 2) 断りのない限り高知県の計数 (以下同じ)。

(出所) 日本銀行高知支店、日本銀行

2. 人手の過不足感

雇用人員判断 D.I. (全産業) *²は、9月調査において▲41の「不足」超となり、比較可能な1983年5月以降では、最も「不足」超幅が拡大しました。12月調査では、「最近」が▲35の「不足」超となり、9月調査から「不足」超幅が6ポイント縮小しましたが、「不足」超幅は、過去2番目の水準となっており、製造業、非製造業を問わず幅広い業種で、引き続き人手不足感が強い状態が続いていることが確

*² 自社の雇用人員の過不足感について、「過剰」と答えた企業の割合から、「不足」と答えた企業の割合を引いて算出。

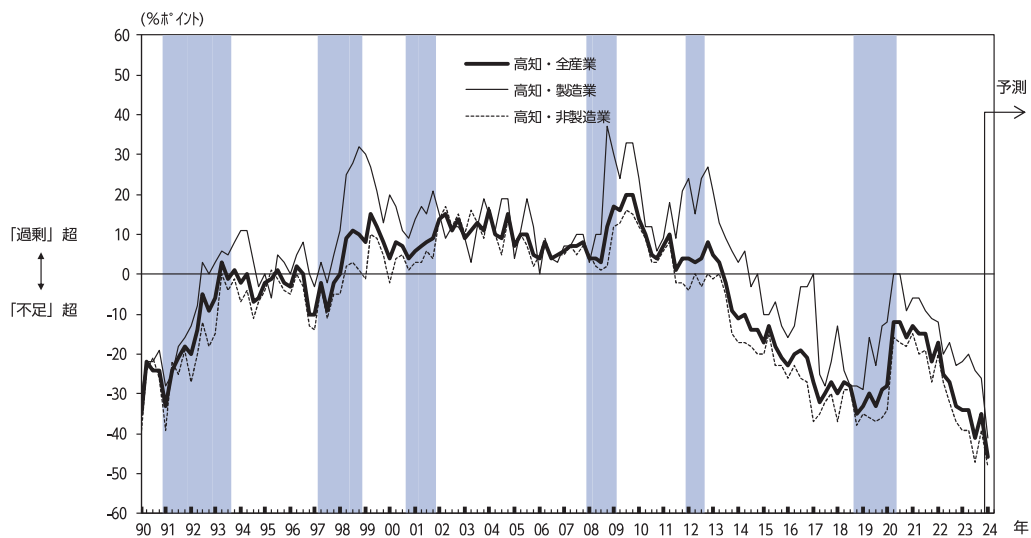
認められました。

3か月後の雇用人員の過不足感の予想をみると、全産業では「不足」超幅が11ポイント拡大する見込みです。製造業、非製造業ともに、定年退職者等が発生する一方で、新規の人材獲得が困難であるといった声も聞かれており、人手不足感は一段と強まる見込みです。

(図表2-1) 雇用人員判断 D.I.

	2022/12月	2023/3月	6月	9月	(前回の 12月予測)	12月		2024/3月	
						最近	変化幅	先行き	変化幅
雇用人員判断D.I. (「過剰」-「不足」)	▲ 33	▲ 34	▲ 34	▲ 41	(▲ 45)	▲ 35	6	▲ 46	▲ 11
製造業	▲ 23	▲ 22	▲ 20	▲ 24	(▲ 36)	▲ 26	▲ 2	▲ 41	▲ 15
非製造業	▲ 37	▲ 39	▲ 39	▲ 47	(▲ 49)	▲ 39	8	▲ 48	▲ 9

(図表2-2) 雇用人員判断 D.I.の長期時系列推移



(出所) 日本銀行高知支店 (以下同じ)

3. 仕入・販売価格の動向

仕入価格判断 D.I. (全産業) ^{*3}は、12月調査において、+48の「上昇」超となりました。一頃に比べると仕入価格上昇が一服していることを受けて、「上昇」超幅は9月調査から▲8ポイント低下しています。また、3か月後の仕入価格判断 D.I.は横ばいを見込んでいます。もっとも、仕入価格判断 D.I.を引き下げた先の多くでは、判断を「上昇」から「もちあい」に変化させており、「下落」と回答した先は殆どみられないことから、仕入価格が引き続き高止まりしている様子が窺えます。

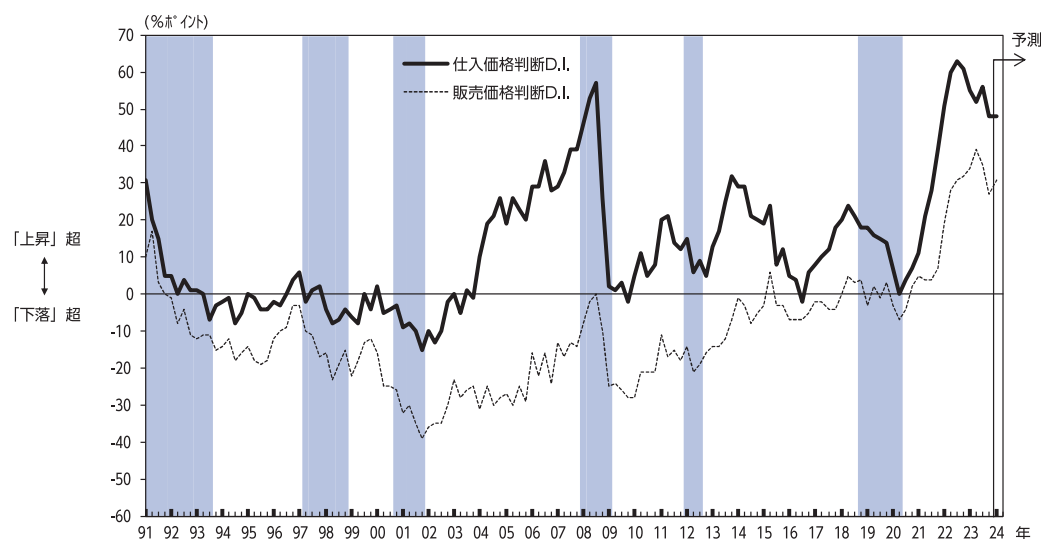
次に、12月調査の販売価格判断 D.I. (全産業) ^{*3}は+27の「上昇」超となりました。仕入価格の上昇一服を受けた販売価格の据え置きや、顧客離れを懸念した値上げの見送り等から、「上昇」超幅は9月調査から▲8ポイント低下しました。ただし、既往の仕入価格上昇分等を販売価格に転嫁する動きは続いており、3か月後の販売価格判断 D.I.は、+4ポイント上昇する見込みとなっています。

^{*3} 自社の主要原材料等の仕入価格、または主要製商品等の販売価格について、「上昇」と答えた企業の割合から、「下落」と答えた企業の割合を引いて算出。

(図表 3 - 1) 仕入・販売価格判断 D.I.

	2022/12月	2023/3月	6月	9月	(前回の 12月予測)	12月 最近	変化幅	2024/3月 先行き	変化幅
仕入価格判断D.I. (「上昇」 - 「下落」)	61	55	52	56	(53)	48	▲ 8	48	0
製造業	80	54	53	56	(53)	45	▲ 11	48	3
非製造業	53	55	53	56	(54)	50	▲ 6	48	▲ 2
販売価格判断D.I. (「上昇」 - 「下落」)	32	34	39	35	(30)	27	▲ 8	31	4
製造業	46	31	44	27	(21)	18	▲ 9	24	6
非製造業	26	35	37	38	(33)	32	▲ 6	34	2

(図表 3 - 2) 仕入・販売価格判断 D.I.の長期時系列推移 (全産業)



4. 事業計画

(1) 売上高

2023年度の売上高は、前年度比+3.1%の増収計画となっています。まず、製造業では、資材不足による生産・出荷の遅延、資材価格の高騰や海外経済の弱含みを受けた受注減少等を背景に減収計画となっています。一方、非製造業では、感染症の影響緩和による来店客数の増加や価格転嫁の進捗に伴う売上増加等を背景に増収計画となっています。

その上で、9月調査と比較した計画の修正状況をみると、全産業では前回調査比+1.1%の上方修正となりました。内訳をみると、製造業では、海外経済の弱含みを受けた受注減少や、市況の変動を受けた販売価格の下落等から下方修正された一方、非製造業では、卸・小売や宿泊・飲食サービスで、供給制約の緩和や観光需要の回復に伴う売上増加等から上方修正されました。

(図表4-1) 売上高

	2022年度 実績	2023年度		2023/上期		2023/下期	
		計画	(修正率)	実績	(修正率)	計画	(修正率)
全産業	+ 3.6	+ 3.1	(+ 1.1)	+ 4.2	(+ 2.5)	+ 2.0	(▲ 0.2)
製造業	+ 5.4	▲ 1.7	(▲ 1.0)	▲ 5.2	(▲ 1.1)	+ 1.7	(▲ 0.9)
非製造業	+ 3.2	+ 4.3	(+ 1.6)	+ 6.4	(+ 3.2)	+ 2.1	(0.0)

(注3) 前年度比や修正率の「0.0」は正・負を区分していない(集計上、「+0.0」と「▲0.0」をまとめて「0.0」と表記<以下同じ>)。

(2) 経常利益

2023年度の経常利益は、前年度比+2.6%の増益計画となっています。まず、製造業では、光熱費や原材料価格の高騰、賃上げによる人件費上昇、海外向け製品の受注下振れ等から減益計画となっています。一方、非製造業では、価格転嫁の進捗や観光需要の増加による売上増加等から増益計画となっています。

9月調査と比較した計画の修正状況をみると、全産業では+8.2%の上方修正となりました。製造業では、原材料価格の高騰、賃上げによる人件費上昇、海外向け製品の受注下振れ等から下方修正された一方、非製造業では、価格転嫁の進捗、新規受注の獲得、観光需要の回復等から上方修正となりました。

(図表4-2) 経常利益

	2022年度 実績	2023年度		2023/上期		2023/下期	
		計画	(修正率)	実績	(修正率)	計画	(修正率)
全産業	+ 2.1	+ 2.6	(+ 8.2)	▲ 23.4	(+ 16.2)	+ 33.4	(+ 3.3)
製造業	+ 2.0	▲ 25.5	(▲ 7.6)	▲ 57.3	(▲ 11.9)	+ 39.9	(▲ 4.6)
非製造業	+ 2.2	+ 31.7	(+ 20.1)	+ 34.5	(+ 40.6)	+ 29.7	(+ 8.9)

(3) 設備投資額

2023年度の設備投資計画は、前年度比▲19.8%の減少計画となっています。製造業が前年度から増加計画となった一方、非製造業では21年度から22年度にかけて実施された大型投資の裏もあり、大きめの減少計画となっています。

9月調査と比較した計画の修正状況をみると、製造業では、部材の納入遅延等による設備投資の実施時期の後ずれ等から、▲6.7%の下方修正となりました。一方、非製造業では、店舗の維持・更新投資の実施や、設備投資の前倒し等から小幅の上方修正となりました。

なお、現時点で当初計画されていた設備投資を取り止める動きはみられていません。維持・更新投資やBCP関連の設備投資等、中長期的な観点から必要な設備投資は、先行きも着実に実施されていく見通しとなっています。

(図表4-3) 設備投資額

	2022年度 実績	2023年度	
		計画	(修正率)
全産業	+ 2.7	▲ 19.8	(▲ 3.3)
製造業	▲ 2.8	+ 15.9	(▲ 6.7)
非製造業	+ 6.1	▲ 39.7	(+ 0.6)

5. 総括と先行きの展望

以上でみてきた2023年12月の全国企業短期経済観測調査（高知県分）は、日本銀行高知支店が同年12月13日に公表した「高知県金融経済概況」における「高知県の景気は、一部で弱めの動きがみられるものの、個人消費等を中心に持ち直している」という景気判断と概ね整合的な内容となっています。

先行きについては、企業・家計の両部門において、所得から支出への前向きの循環が続くもとで、持ち直しの動きが続くとみています。

ただし、こうした先行きの見通しについては、①コスト上昇と価格転嫁の動向、②人手不足の影響、③海外経済の動向の影響等といった、3つのリスク要因があると考えています。

まず、1点目のコスト上昇と価格転嫁の動向について、これまでは輸入原材料を中心としたコスト高を背景として、多くの企業が値上げを進めてきました。この点、12月短観においては、仕入価格の上昇一服や、それを受けた販売価格の上昇一服を背景に、仕入価格、販売価格ともに上昇超幅が縮小しました。もっとも、原材料価格やエネルギー価格が高止まりするもとで、仕入価格や販売価格が下落に転じているという声は殆ど聞かれていません。また、一服した原材料価格の再上昇や、光熱費、人件費といった間接費の上昇分を先行き販売価格に転嫁するとの見通しが一部企業から聞かれています。このため、県内企業の価格設定スタンスや先行きの需要動向については、引き続き注意深くみていく必要があります。また、現時点では、物価高が個人消費全体を押し下げる動きはみられていませんが、消費マインドに与える影響についても、注意深くみていく必要があると考えています。

次に、2点目の人手不足の影響について、12月短観における雇用人員判断 D.I.でも確認されたとおり、幅広い業種において、需要の回復を背景に、人手不足感が強い状況が継続しています。こうした中、製造業の一部からは、人手不足により生産が下押しされているといった声も聞かれています。

先行きも、こうした人手不足による需要の取りこぼし等が、景気全体の持ち直しの動きに影響を及ぼさないかといった点は、引き続き注意深くみていく必要があります。また、それぞれの企業が、人手不足に対してどのような対策を行っていくのかといった点や、賃金動向への影響についても、確認していく必要があります。特に賃金動向については、これまでの賃上げの動きが、来年以降も継続していくのかといった「賃上げの持続性」についても、注視していきたいと考えています。

最後に、海外経済の影響について、12月短観では、海外経済の弱含みを背景に、2023年度の売上・収益計画を下方修正する先が、県内企業でもみられています。先行きは、昨年大きく高まったインフレ圧力が低下していくにつれて、海外経済は再び持ち直していく、というのがメインシナリオだとみていますが、グローバルな金融環境の動向やウクライナ、中東情勢といった地政学的リスクの高まり等によって下振れるリスクがあるため、先行きの不確実性は極めて高いとみられます。したがって、海外経済の動向が当地に及ぼす影響についても、注視していく必要があると考えています。

私どもとしては、これらのリスク要素を引き続き念頭に置きながら、これからも当地の経済動向を丹念に調査・分析していきたいと考えています。

以 上



2023年度 高知県民総幸福度(GKH) に関するアンケート結果について

一般社団法人しあわせ推進会議 代表理事 会長
土佐経済同友会 特別幹事 小川 雅弘

1. 調査の目的

いま、「幸福」というテーマが世界でも重要な課題の一つとなっています。

GDPや経済成長など、物質的豊かさという従来の価値基準だけでは、真の幸せは得られないという考え方が浸透し始めているからです。海外では、ブータンの他、フランスやイタリアなどでも本格的な幸福度の研究が始まっており、国内においても熊本県や荒川区など、多くの自治体が住民の幸福度を調査し、その指標を政策に反映する取り組みを行っています。

また、2015年の国連サミットにおいて採択された、「持続可能な開発目標(SDGs)」においても人々の幸福度の向上と経済のバランスが重要であると述べています。

そこで2012年度より、経済指標や文化的指標など客観指標に縛られず、主観的な要素で高知県民の幸福実感を図るため、「高知県民総幸福度(GKH)」に関するアンケート調査を開始し、2023年度までの12年間で全8回実施致しました。

本年度の調査については、社会経済活動がコロナ禍前に戻ってきている中、高知県民の幸福度がコロナ禍の頃と比べどのように変わってきているのかなど、回答を頂きました方々の率直な気持ちを伺ったうえで、各方面への提言などを通じ、高知県の幸福度を更に向上させるお手伝いをしていきたいと考えております。

本県は、一人当たり県民所得が全国でも最下位クラスと、客観データから見る限りは豊かとは言えませんが、自然・食の恵みを感じながら、人々は明るく暮らしているというのが、多くの県民が持っている実感ではないでしょうか。

高知県民総幸福度(GKH)とは、そうした他のどこにもない高知らしい豊かさを「見える化」するために、高知での暮らしに対する県民の皆様の主観的な評価・充足感を把握し、指標化していこうという試みです。

2. 2023年度 高知県民総幸福度(GKH)に関するアンケート結果

【調査概要】

- ・調査実施期間 : 2023年7月1日～7月21日
- ・調査対象 : 満15歳以上の高知県在住者（全国の経済同友会からの回答も含む。）
- ・回答者数 : 3,607（うち、県内在住者：2,960、県外在住者：647）
- ・調査方法 : 質問票、及びWebによるアンケート調査

人生満足度、健康・人とのつながり、子育て・教育、働くこと、生活環境、文化・地域、安心・安全、お住まいの都道府県の8分野における、各質問項目の実感度について回答

※幸福度の尺度について

主観幸福度（SWB）は10段階の尺度を用いて、10段階のうち7～10を「幸福」、4～6を「普通」、1～3を「不幸」に分類。

人生満足度は、5項目の質問に各7段階の回答を1点から7点までの点数化し、その総和の最大を35点、最小を5点とすることで測定した。なお、「不明・無回答」を有効回答数から除いた。

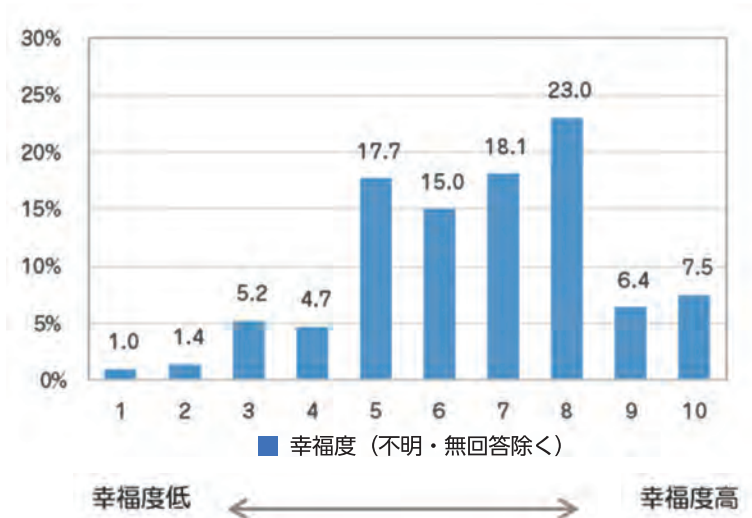
各分野の質問に対する幸福実感1から5までの回答について、実感度1を1点、2を2点、3を3点、4を4点、5を5点とし、5段階で測定した。なお、「わからない」・「無回答」を有効回答数から除いた。

3. 全体の幸福実感度

3-1. 【10段階尺度】による幸福実感度

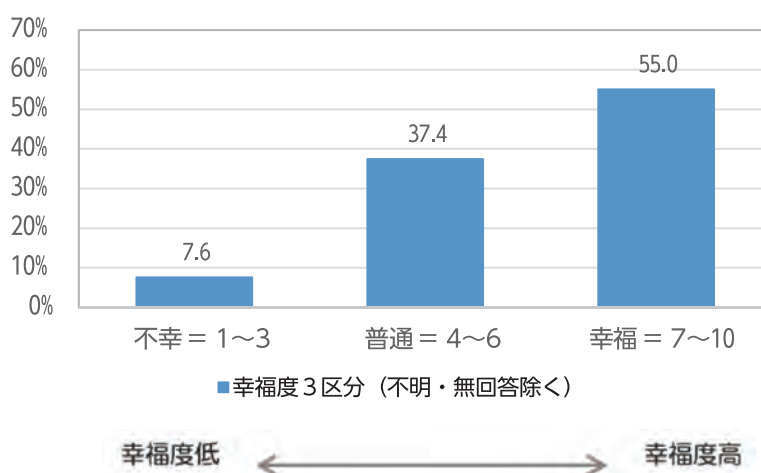
全体の幸福実感（普段どの程度幸福だと感じていますか？）について、平均値は6.60であった。前年度（6.67）より▲0.07ポイントの微減となった。

図表1 10段階尺度による幸福実感度（小数点第2位切り上げて各%を表示）



3-2. 【3段階区分】による幸福実感

図表2 3段階区分による幸福実現度（小数点第2位切り上げて各%を表示）



全体の幸福実感（10段階）のうち、7～10を「幸福」、4～6を「普通」、1～3を「不幸」に区分。回答者の55.0%が「幸福」（前年58.9%、▲3.9ポイント）に分類されたが、過去最も低い結果となった。37.4%が「普通」（前年36.0%、+1.4ポイント）7.6%が「不幸」（前年5.2%、+2.4ポイント）に分類され、過去最も高い結果となった。

4. 2023年度 高知県民総幸福度（GKH）に関するアンケート結果の総評

今年度の高知県民総幸福度調査の結果では、全体の幸福実感度の平均値を見ると昨年度に比べて微減しているほか、過去の調査結果に比べて幸福実感度の分布にばらつきが大きくなっていることが特徴として挙げられる（図表1）。加えて、特に幸福実感度が顕著に低くなっている分野は家計の経済状況（図表5-1）であり、新型コロナウイルスの影響による厳しい状況が緩和されつつあるものの、物価の高騰など県民生活に直結する経済環境の変化が県民の様々な幸福実感度に大きく影響を及ぼしていると推察される。

一方、より長期的な幸福実感度を測ることに有効とされる人生満足度にはあまり変化がなく、比較的高い水準で安定している（図表13）。

また、高知県の幸福実感度の特徴として、性別による差があまりないこと（図表6）、年齢を重ねるほど幸福実感度が高くなり、特に高齢者の幸福実感度が高いこと（図表8）、自然の豊かさを身近に感じられることなど（図表5-2）、GDPなどの経済計算に反映されない豊かさ、いわば隠れた可処分所得の高さは、これまでの高知県民の幸福実感度の傾向として堅持されている。

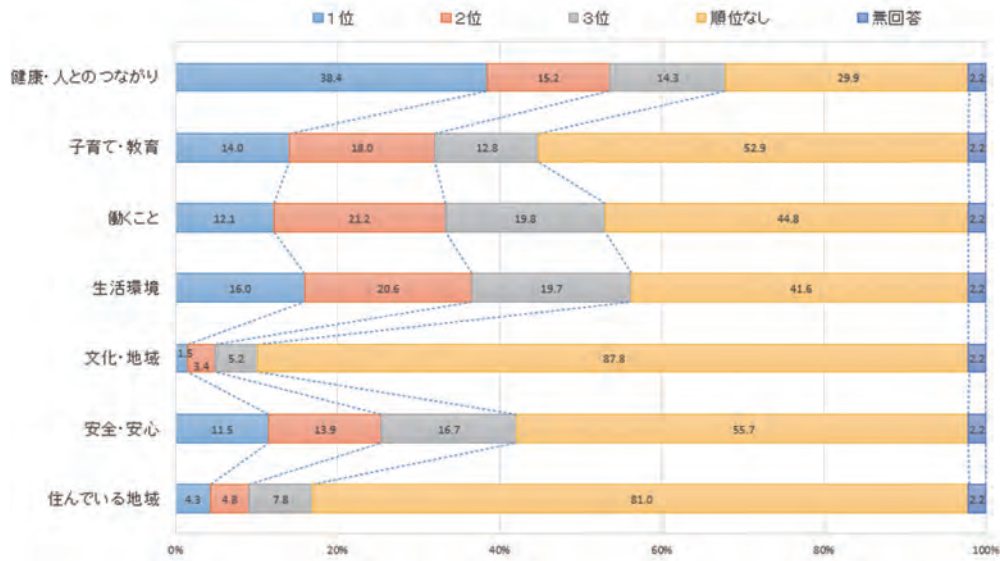
5. 過去のGKHアンケート結果

図表3 過去のGKHアンケート結果

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	2012年	2013年	2016年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
アンケート実施時期	12月5日 ～ 12月31日	12月10日 ～ 1月7日	6月1日 ～ 6月30日	7月17日 ～ 7月30日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日	7月1日 ～ 7月21日
調査対象(*)	高知県在住 中学生以上	高知県在住 満20歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県在住 満15歳以上	高知県及び 県外在住 満15歳以上
回答者数 (うちWeb)	4,009 —	2,844 —	8,911 —	4,078 (1,776)	4,016 (1,540)	4,352 (2,423)	3,315 (2,174)	3,607 (2,797)
高知で暮らして幸せ (**)	73.0%	69.0%	61.8%	57.7%	59.2%	57.0%	58.9%	55.0%
(数値化平均点)	(3.80点)	(3.90点)	(3.81点)	(6.66点)	(6.75点)	(6.66点)	(6.67点)	(6.60点)
(*) 第8回は高知県外在住者647名から回答を得た。(うち全国各地の経済同友会438名、その他209名)								
(**) 第1回～第3回は5段階回答で、5. 大いに感じる、4. 感じる に分類された割合 第4回～は10段階回答で、10. ～ 7. に分類された割合								

6. 幸せにとって重要だと思うことの順位

図表4 幸せにとって重要だと思うことの順位



7. 各分野の平均幸福実感度（過去の調査との比較）

図表5-1 各分野の平均幸福実感度（過去の調査との比較）

※幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けた。

※過去の調査時と同じ質問項目については過去の調査時との差を表示した。

分野	質問項目	項目別平均実感度									
		2016年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2022年との差	2021年との差	2020年との差	2019年との差
健康や人とのつながり	いざという時に頼れる人が身近にいますか	4.13	4.02	3.99	3.97	4.05	4.03	-0.02	0.06	0.04	0.01
	家族とのだんらんがあると感じますか	3.81	3.94	3.96	3.96	4.01	3.99	-0.02	0.03	0.03	0.05
	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか	3.37	3.63	3.62	3.57	3.61	3.60	-0.01	0.03	-0.02	-0.03
	あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりと感じますか	3.77	3.96	3.89	3.91	3.96	3.94	-0.02	0.03	0.05	-0.02
	身近に信頼できる病院があり、気軽に相談できると感じますか	3.30	3.34	3.22	3.20	3.22	3.23	0.01	0.03	0.01	-0.11
子育て・教育	子どもたちが安心して生活できていると感じますか（通学、遊びの場、学校を含む）	3.07	3.53	3.49	3.50	3.46	3.48	0.02	-0.02	-0.01	-0.05
	お住まいの地域では子育ての環境が充実していると感じますか	2.92	3.37	3.37	3.35	3.35	3.30	-0.05	-0.05	-0.07	-0.07
	子どもたちが、社会で生活してゆく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身に磨けていると感じますか	3.28	3.26	3.22	3.19	3.21	3.20	-0.01	0.01	-0.02	-0.06
働くこと	あなたは、経済的に困らない生活を送ることができていると感じますか	2.88	3.49	3.62	3.60	3.58	3.44	-0.14	-0.16	-0.18	-0.05
	あなたの生活水準はどの程度だと感じていますか（とても貧しい1→最も豊かな5）		3.25	3.38	3.36	3.35	3.31	-0.04	-0.05	-0.07	0.06
	あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることが出来ていると感じますか	3.07	3.31	3.32	3.27	3.29	3.22	-0.07	-0.05	-0.10	-0.09
	仕事（専業主婦にとっての家事を含む）と生活とのバランスが取れていると感じますか	3.04	3.29	3.30	3.28	3.26	3.24	-0.02	-0.04	-0.06	-0.05
	仕事（専業主婦にとっての家事を含む）にやりがいや充実感を感じますか	3.31	3.46	3.40	3.39	3.38	3.39	0.01	0.00	-0.01	-0.07
	通勤、通学は苦にならない程度の時間だと感じますか		3.87	3.83	3.91	3.88	3.85	-0.03	-0.06	0.02	-0.02
	会社でのコミュニケーション、チームワークが良いと感じますか		3.56	3.52	3.53	3.60	3.54	-0.06	0.01	0.02	-0.02
	所属している組織に愛着がありますか		3.50	3.48	3.45	3.43	3.43	0.00	-0.02	-0.05	-0.07
	所属している組織に憧れる先輩、上司がどのくらいいますか（全くいない1→全員そうだ5）		3.09	3.19	3.13	3.11	3.06	-0.05	-0.07	-0.13	-0.03
	所属している組織には多様性（性別、年齢、障がい者、外国人などで障壁等がないこと）を受け入れる風土あると感じますか		3.13	3.19	3.10	3.20	3.21	0.01	0.11	0.02	0.08

- 2023年度の各分野の実感度は、昨年度との比較においては多くの項目で低下している。また、過去4年間の調査の中でも最低の実感度を付けた項目も多い。
- 「健康や人とのつながり」の分野の全ての項目で2021年度からは上昇しているが、昨年度からは低下している。
- 「子育て・教育」の分野は過去4年間と比較してもほぼ全ての項目で実感度が下がっている。
- 「働くこと」の分野では、「経済的に困らない生活」が昨年度に比して0.14ポイント下がっており、今回の調査の中でも最も低下が大きい項目である。
- 「経済的に困らない生活」「精神的に余裕ある生活」「ワーク・ライフバランス」「憧れる先輩・上司の存在」の実感度が過去4年間下がり続けている。
- 「通勤・通学が苦にならない」の実感度はピークから0.6ポイント下げたが、相変わらず高い。

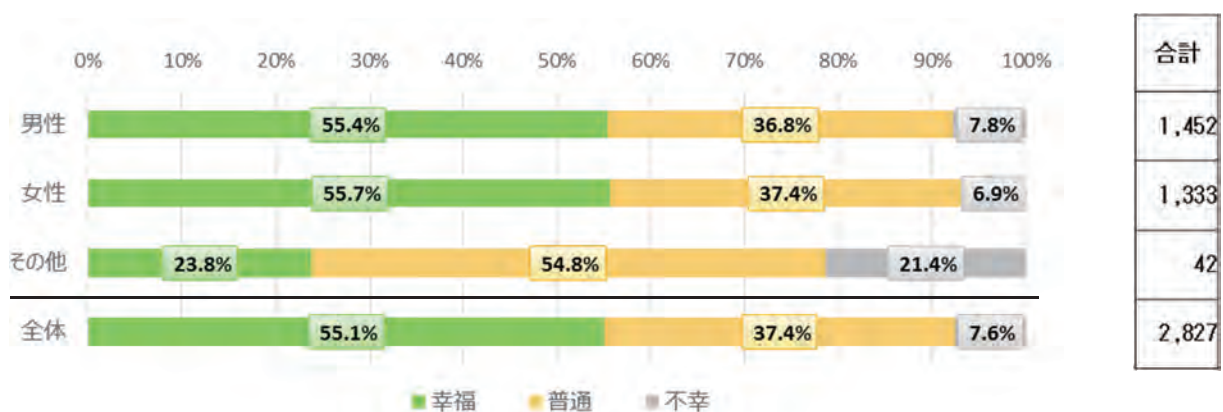
図表5-2 各分野の平均幸福実感度（過去の調査との比較）

分野	質問項目	項目別平均実感度										
		2016年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2022年との差	2021年との差	2020年との差	2019年との差	2016年との差
生活環境	自由になる時間が充分とれていると感じますか	3.08	3.41	3.37	3.38	3.37	3.35	-0.02	-0.03	-0.02	-0.06	0.27
	お住まいの地域は暮らしやすい生活環境であると感じますか	3.60	3.73	3.69	3.66	3.66	3.61	-0.05	-0.05	-0.08	-0.12	0.01
	お住いの地域では、生活する上での不快さ（悪臭、騒音、ボイ捨て、ゴミ屋敷などを含む）が無いと感じますか	3.20	3.67	3.61	3.59	3.59	3.55	-0.04	-0.04	-0.06	-0.12	0.35
	お住いの地域では、困っている人を見かけたときに、声をかけたり協力したりする雰囲気があると感じますか	3.17	3.50	3.41	3.39	3.43	3.41	-0.02	0.02	-0.00	-0.09	0.24
文化や地域	地域に興味・関心がある活動や行事があると感じますか		3.22	3.08	3.02	3.03	3.06	0.03	0.04	-0.02	-0.16	-
	お住いの地域に親身になって相談のってくれる人がいると感じますか	2.92	2.97	2.93	2.94	2.92	2.95	0.03	0.01	0.02	-0.02	0.03
	お住まいの地域に愛着や誇りを感じますか	3.49	3.42	3.35	3.39	3.36	3.36	0.00	-0.03	0.01	-0.06	-0.13
	あなたは、自分の余暇の過ごし方に満足していると感じますか	3.10	3.43	3.39	3.36	3.41	3.41	0.00	0.05	0.02	-0.02	0.31
	お住まいの地域は居心地が良いですか		3.78	3.73	3.75	3.74	3.74	0.00	-0.01	0.01	-0.04	-
安心や安全	日常生活において、治安が守られていると感じますか	3.49	3.82	3.79	3.84	3.83	3.84	0.01	0.00	0.05	0.02	0.35
	災害（地震、火災、風水害）に対する行政の備えは充分だと感じますか						3.13	-	-	-	-	-
	災害（地震、火災、風水害）に対する個人の備えは充分だと感じますか						2.83	-	-	-	-	-
	日頃から近隣の方と交流ができていると感じますか		2.99	2.92	2.93	2.90	2.93	0.03	0.00	0.01	-0.06	-
	昼夜を問わず女性が安心して外出できると感じますか		3.45	3.39	3.43	3.44	3.48	0.04	0.05	0.09	0.03	-
	災害（地震、火災、風水害）に対する備えは充分だと感じますか	2.46	3.02	2.94	2.96	2.97		-	-	-	-	-
	ウイルス感染症に対する備えは充分だと感じますか			2.89	3.06	3.24		-	-	-	-	-
お住まいの都道府県	身近に（気軽に）自然に接する場所（海、川、山）があると感じますか		4.35	4.34	4.40	4.47	4.44	-0.03	0.04	0.10	0.09	-
	仕事や学校以外での知人や仲間がいると感じますか	3.61	3.74	3.69	3.65	3.68	3.70	0.02	0.05	0.01	-0.04	0.09
	他の都道府県から人が訪れたいくなる魅力ある場所だと感じますか	3.60	3.77	3.66	3.67	3.63	3.57	-0.06	-0.10	-0.09	-0.20	-0.03
	あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか		3.80	3.76	3.78	3.75	3.71	-0.04	-0.07	-0.05	-0.09	-
	あなたは（お住いの都道府県）を好きだと感じますか		3.95	3.89	3.91	3.89	3.85	-0.04	-0.06	-0.04	-0.10	-

- 「生活環境」の分野は多くの項目でその実感度がずっと下がり続けている。
- 「文化や地域」の分野に関する実感度は全項目上昇若しくは前年並であるが、「親身になってくれる人」の実感度は相変わらず低い。
- 「安心や安全」の分野では「治安が守られている」の実感度は相変わらず高いが、「災害への個人の備え」「近隣との交流」の実感度は相当低い。
- 「身近に自然に接する場所がある」との実感度は過去の各年度調査項目の中でも毎回最も高い実感度となっているが、昨年度に比して0.03ポイント下げている。
- 「我が都道府県は人が訪れたいくなる魅力ある場所」の実感度がピークの2019年から0.2ポイント下がった。

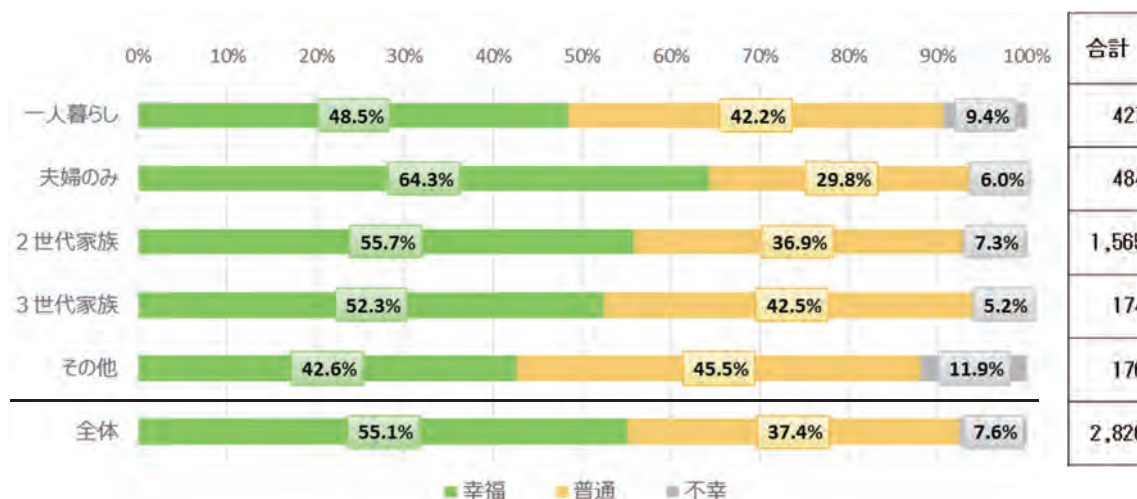
8. 男女別及び世帯別の幸福実感度（クロス集計）

図表6 男女別の幸福実感度（幸福実感度×性別）



- 幸福実感（10段階尺度）と性別との関係について、男性では55.4%、女性では55.7%が「幸福」と分類された。
- 本年度の調査では男女における差は認められなかった。

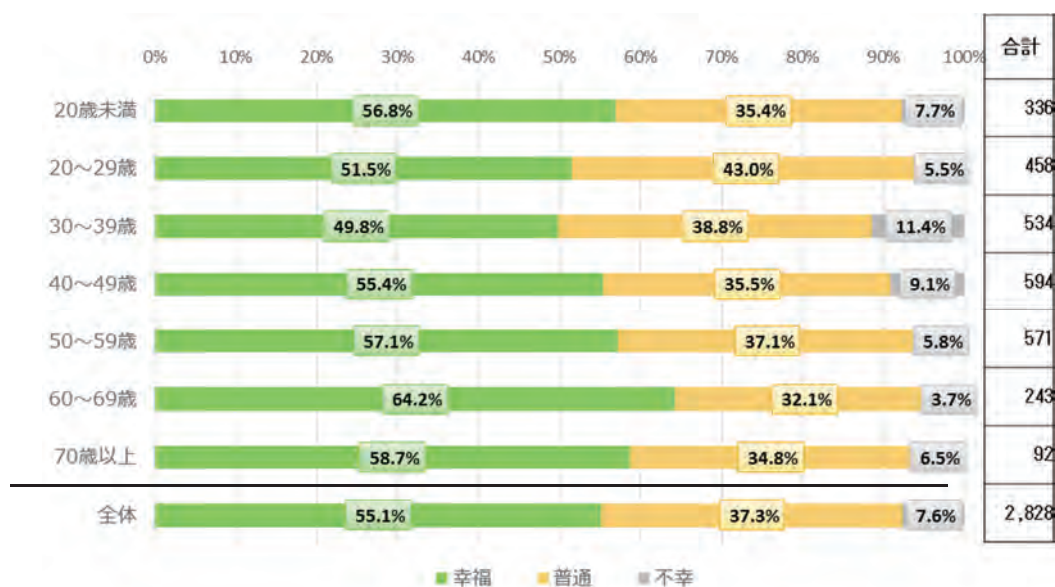
図表7 世帯別の幸福実感度（幸福実感度×世帯別）



- 夫婦のみ世帯の幸福実感度が最も高く（64.3%）、次いで2世代家族（55.7%）、3世代家族（52.3%）と続く。
- 一方、一人暮らし世帯の幸福度は低い。

9. 年齢層別の幸福実感度（クロス集計）

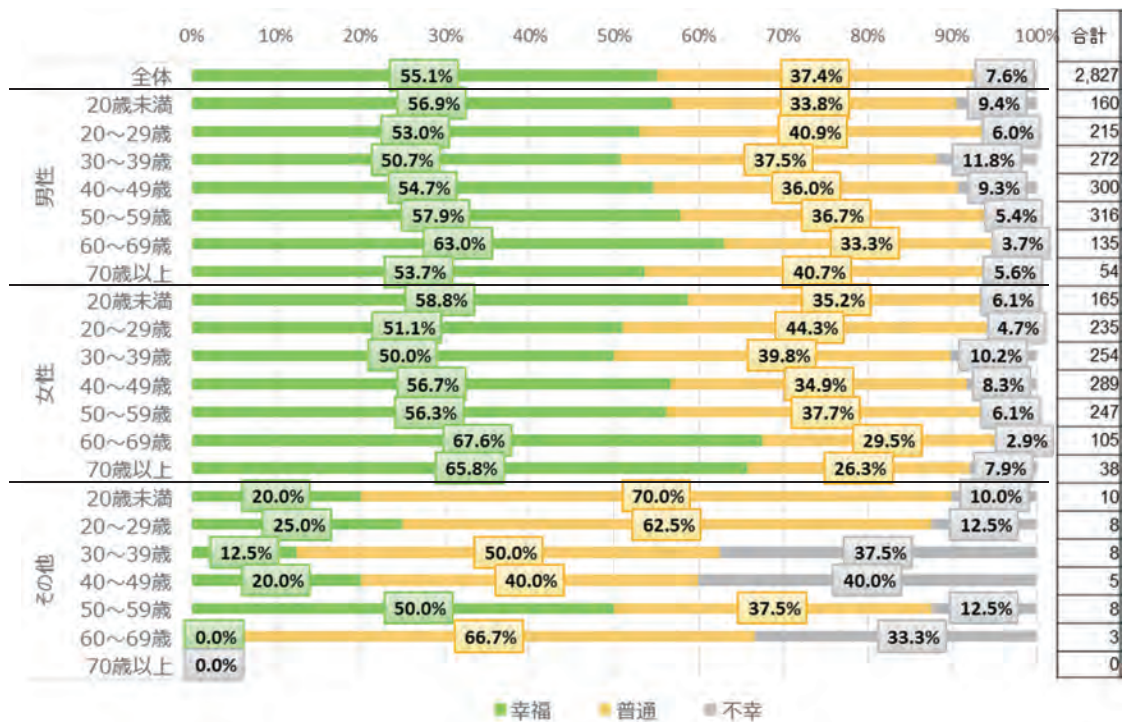
図表8 年齢層別の幸福実感度（幸福実感度×年齢層別）



- 20歳未満の幸福実感度は高いが、20歳代、30歳代と幸福実感度が下がり、その後から60歳代にかけて幸福実感度が上昇し、70歳代で少し下がる。本年度の調査では60歳代が最も幸福度が高くなった。

10. 幸福実感度×性別×年齢層別（クロス集計）

図表9 性別・年齢層別の幸福実感度（幸福実感度×性別×年齢層別）



- 性別と年代とに区分して、幸福実感を見たところ、一昨年に男性の20歳代から60歳代の、いわゆる勤労世代の幸福実感が低下しており、昨年は反転上昇していたが、本年はまた低下してきた。

（男性30代 2020年度：59.8%、2021年度：50.0%、2022年度：52.8%、2023年度：50.7%）

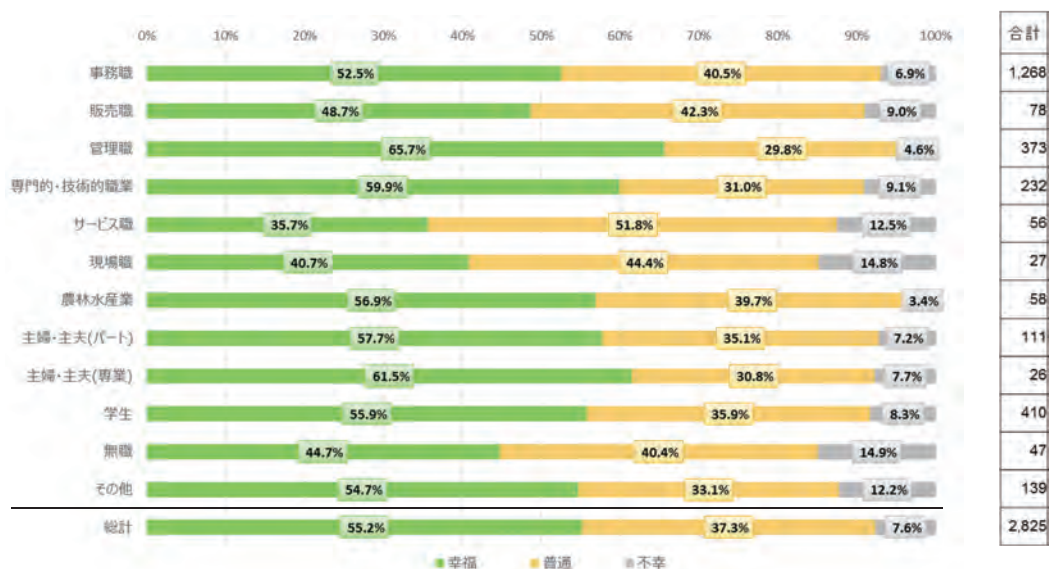
（男性40代 2020年度：60.3%、2021年度：52.0%、2022年度：60.2%、2023年度：54.7%）

（女性30代 2020年度：59.8%、2021年度：54.9%、2022年度：63.2%、2023年度：50.0%）

- 本年度は、特に男性40代と女性30代の幸福実感度が大幅に下がり、女性30歳代の幸福実感度は過去4年間で最も低い。

11. 幸福実感度×職業別（クロス集計）

図表10 職業別の幸福実感度（幸福実感度×職業別）



- 職業別の幸福実感を見たところ、全体の幸福実感より高い職業は、管理職、専業の主婦（夫）、専門的・技術的職業、パートの主婦（夫）、農林水産業がある一方、サービス職、現場職、など比較的雇用が不安定になりがちな職業は幸福実感が低い傾向にあると考えられる。
- 昨年のサンプル数が少ないため単純な比較はできないが、農林水産業及び専業の主婦（夫）の幸福実感度は前年に比して大幅に増加した。

12. 地域別幸福実感度

図表11-1 地域別各分野の幸福実感度

質問項目\地域毎回答数・平均値		安芸広域	物部川流域	高知市	嶺北広域	仁淀川流域	高幡広域	幡多広域	全体
健康な暮らし	いざという時に頼れる人が身近にいること	300	322	1,283	87	347	210	392	2,941
	家族と過ごす時間があること	4.01	4.06	4.05	3.93	3.99	3.98	3.97	4.03
	心身ともに健康的な生活であること	4.04	3.95	4.02	3.77	3.94	4.11	3.96	3.99
	社会の中で自分の役割や居場所があること	3.55	3.53	3.66	3.84	3.59	3.66	3.53	3.60
子育て	身近に信頼できる医療機関があること	3.92	3.93	4.01	3.72	3.96	3.89	3.82	3.94
	子どもが安心して通学、遊びができる地域の見守りがあること	3.28	3.23	3.32	2.91	3.26	3.08	3.05	3.23
	子育ての環境が充実していること	3.54	3.52	3.45	3.66	3.55	3.38	3.42	3.48
	子どもが社会生活上、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身につけること	3.35	3.37	3.30	3.50	3.39	3.29	3.10	3.30
働くこと	子どもが社会生活上、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身につけること	3.20	3.23	3.21	3.29	3.29	3.17	3.07	3.20
	経済的に困らない生活を送ることができること	3.52	3.34	3.50	3.32	3.41	3.53	3.28	3.44
	一定の生活水準が確保されていること	3.38	3.28	3.37	3.21	3.26	3.35	3.16	3.32
	精神的に余裕のある生活を送れること	3.18	3.08	3.30	2.97	3.26	3.23	3.14	3.23
	仕事と生活とのバランス（ワークライフバランス）が取れていること	3.21	3.14	3.31	3.13	3.29	3.23	3.13	3.24
	仕事にやりがいや充実感があること	3.34	3.38	3.45	3.31	3.53	3.35	3.16	3.39
	通勤、通学が苦にならないこと	4.06	3.70	3.82	4.14	3.84	3.74	3.88	3.84
	勤め先でのコミュニケーション、チームワークがとれていること	3.61	3.52	3.57	3.51	3.60	3.52	3.41	3.54
	所属している組織に意欲があること	3.46	3.36	3.48	3.36	3.54	3.39	3.22	3.43
	所属している組織に働ける先輩、上司がいること	3.17	3.04	3.06	2.98	3.12	2.89	3.05	3.06
生活環境	所属している組織に多様性を受け入れる風土があること	3.17	3.35	3.24	3.09	3.30	3.14	3.05	3.22
	自由になる時間が充分とれていること	3.17	3.04	3.06	2.98	3.12	2.89	3.05	3.35
	暮らしやすい生活環境があること	3.38	3.24	3.38	3.13	3.39	3.39	3.26	3.62
	住んでいる地域では生活する上での不快感が無く快適であること	3.49	3.74	3.76	3.32	3.72	3.41	3.23	3.55
困っている人に声かけや協力する雰囲気や地域にあること		3.50	3.60	3.56	3.57	3.63	3.55	3.43	3.42

各項目の無回答（0）を除く

赤字（値が最も高い地域）

青字（値が最も低い地域）

図表11-2 地域別各分野の幸福実感度

質問項目\地域毎回答数・平均値		安芸広域	物部川流域	高知市	嶺北広域	仁淀川流域	高幡広域	幡多広域	全体
文化や地域	興味・関心がある活動や行事が地域にあること	300	322	1,283	87	347	210	392	2,941
	地域に頼れる人がいること	3.54	3.39	3.23	3.64	3.71	3.59	3.51	3.06
	地域の文化や特色に愛着や誇りを感じる	3.13	3.10	2.99	3.03	3.30	3.16	2.97	2.95
	満足できる余暇があること	3.14	2.96	2.75	3.08	3.23	3.09	3.06	3.36
安心・安全	満足できる余暇があること	3.39	3.36	3.30	3.62	3.57	3.36	3.28	3.41
	地域に居心地の良さと感じる	3.48	3.40	3.43	3.27	3.47	3.45	3.26	3.74
	犯罪への不安がないこと	3.64	3.81	3.80	3.68	3.85	3.64	3.55	3.84
	災害に対する備えは充分であること	3.93	3.81	3.77	4.13	3.94	3.88	3.83	3.13
暮らしやすさ	ウィルス感染症に対する備えは充分であること	3.22	3.14	3.11	2.85	3.22	3.05	3.15	2.84
	日頃から近隣の人と交流があること	2.79	2.79	2.84	2.61	2.96	2.79	2.85	2.93
	女性が安心して外出できること	3.19	2.98	2.65	3.26	3.34	3.19	3.00	3.48
	身近に自然に接する場所があること	3.62	3.38	3.40	3.79	3.61	3.51	3.52	4.44
あなた自身について	仕事や学校以外で多くの交流があること	4.61	4.38	4.27	4.69	4.60	4.67	4.59	3.70
	住んでいる地域が域外からみて魅力があること	3.73	3.66	3.68	3.61	3.83	3.75	3.63	3.57
	住んでいる地域の暮らしで幸せだと感じられること	3.37	3.46	3.70	3.36	3.63	3.50	3.40	3.71
	あなたは（お住いの都道府県）を好きだと感じますか	3.74	3.69	3.74	3.66	3.79	3.59	3.57	3.85
あなたは普段どの程度幸福だと感じていますか		6.48	6.43	6.74	6.27	6.76	6.49	6.40	6.60
人生満足度	ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い	4.09	3.99	4.18	3.98	4.26	4.04	3.90	4.11
	私の人生は、とても素晴らしい状態だ	4.23	4.20	4.44	4.20	4.45	4.17	4.28	4.35
	私は自分の人生に満足している	4.35	4.21	4.47	4.25	4.49	4.26	4.37	4.40
	私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた	4.45	4.45	4.62	4.33	4.63	4.46	4.42	4.54
もう一度人生をやり直せるとしても、ほとんど何も変えないだろう		3.52	3.35	3.52	3.23	3.58	3.36	3.50	3.49

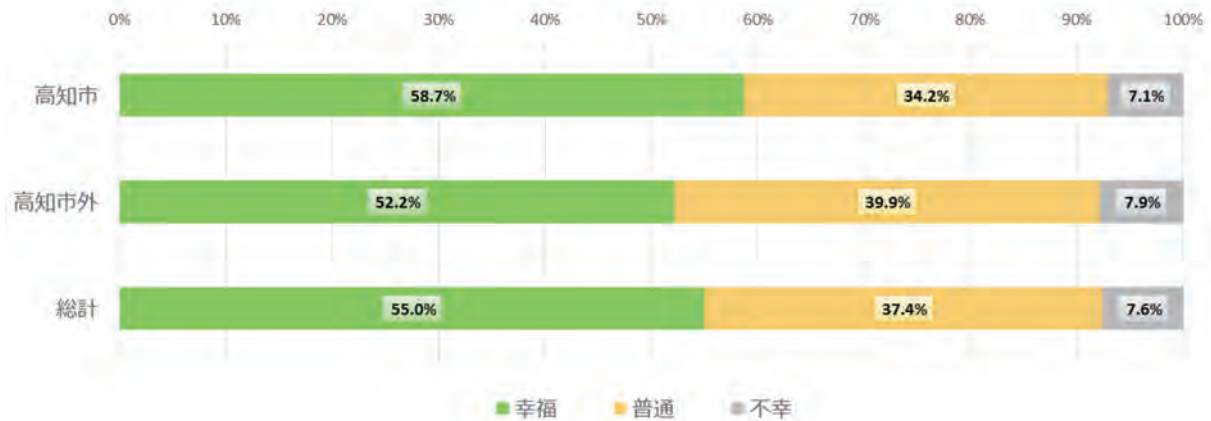
各項目の無回答（0）を除く

赤字（値が最も高い地域）

青字（値が最も低い地域）

13. 幸福実感度×居住地区分（高知市・高知市外）（クロス集計）

図表12 高知市と高知市外とに区分した場合の幸福実感度



居住地	度数			
	n	幸福	普通	不幸
高知市	1,218	715	416	87
高知市外	1,606	839	640	127
総計	2,824	1,554	1,056	214

- 高知市内居住者と高知市外居住者の幸福実感を比較したところ、高知市内居住者の方が幸福実感度は高い。
- 高知市内居住者の幸福実感度は、昨年に比べて3.3%低下した（2022年度 62.0% → 2023年度 58.7%）。
- 高知市外居住者の幸福実感度も、2.5%の低下となっている（54.7% → 52.2%）。

14. 人生満足度

図表13 人生満足度

人生満足度の尺度

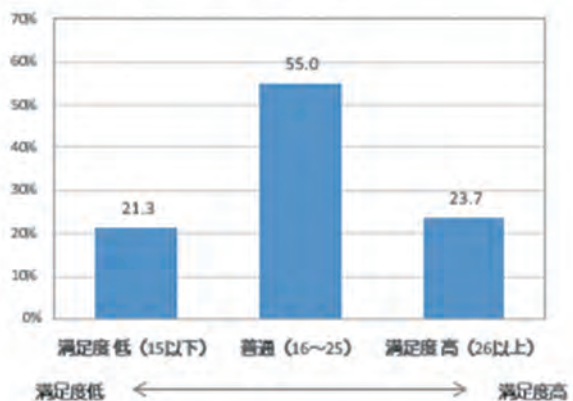
1. ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い。
2. 私の人生は、とても素晴らしい状態だ
3. 私は自分の人生に満足している。
4. 私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた。
5. もう一度人生をやり直せるとしても、ほとんど何も変えないだろう。

※ 1～7点の総和の最大を35点、最小を5点として計算。

平均値は20.9であった（不明・無回答除く）。
 昨年の平均値は20.9。

日本人1,500人のインターネット調査(2011年)において、
 点数分布は、平均18.9点。
 （出典：前野（2013）「幸せのメカニズム：実践・幸福学入門」）

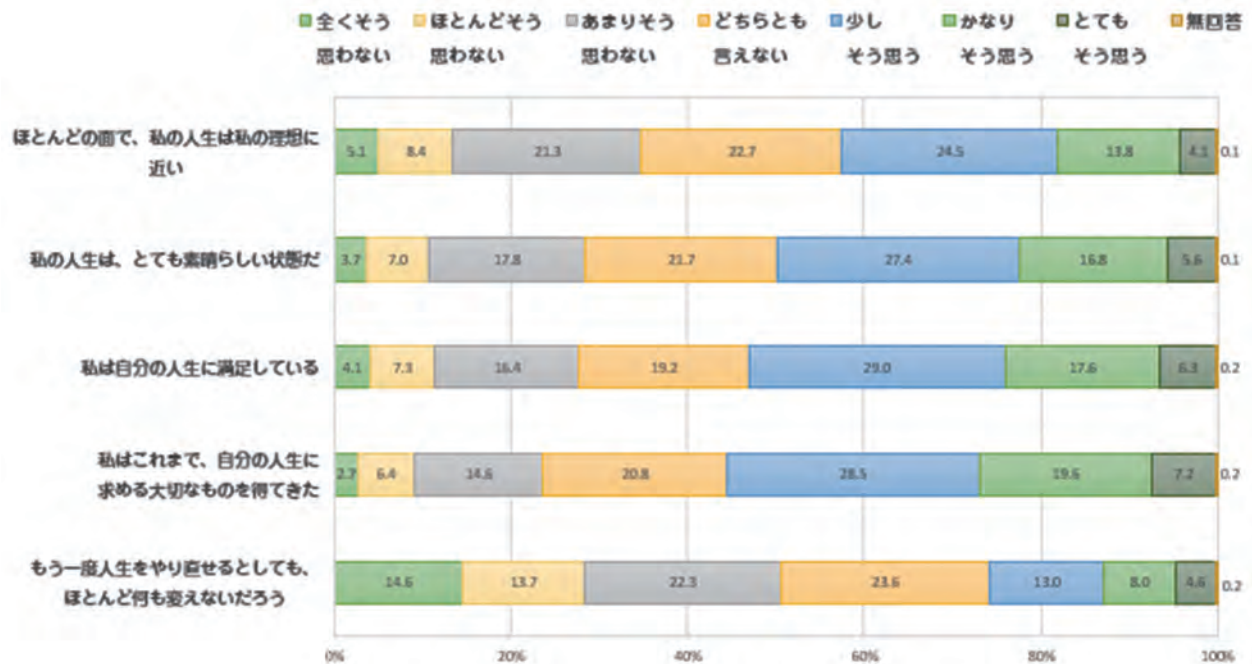
回答の分布【3段階区分】



人生満足度（質問5項目の総和）のうち、
 26点以上を「人生満足度が高い」、
 16～25点を「普通」、
 15点以下を「人生満足度が低い」と区分。

回答のうち、
 23.7%が「人生満足度が高い」（昨年22.4%）
 55.0%が「普通」（同57.7%）
 21.3%が「人生満足度が低い」（同19.9%）
 に分類された。
 （※有効回答者数ウェイト、不明・無回答除く）

図表14 項目別の人生満足度



15. 何が幸福にさせているのか？

図表15 何が幸福にさせているのか？

問3～9で「5.大いに感じる」と回答した人のうち、問1で「幸福に分類される人」の割合が多い事項の上位10位を抽出。

順位	項目	「5.大いに感じる」と回答した人のうち幸福に分類される割合
1	仕事（専業主婦にとっての家事を含む）と生活とのバランスが取れていると感じますか	90.0% (288/320)
2	あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることが出来ていると感じますか	89.8% (317/353)
3	仕事（専業主婦にとっての家事を含む）にやりがいや充実感を感じますか	88.8% (477/537)
4	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか	87.9% (622/708)
5	所属している組織に愛着がありますか	85.6% (572/668)
6	あなたは、経済的に困らない生活を送ることができていると感じますか	84.8% (631/744)
7	あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか	84.0% (678/807)
8	あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりすると感じますか。	84.0% (982/1,169)
9	お住まいの地域は暮らしやすい生活環境であると感じますか。	83.5% (601/720)
10	あなたは、自分の余暇の過ごし方に満足していると感じますか	82.7% (417/504)

16. 何が不幸にさせているのか？

図表16 何が不幸にさせているのか？

問3～9で「1.まったく感じない」と回答した人のうち、問1で「不幸に分類される人」が割合が多い事項の上位10位を抽出。

順位	項目	「1.まったく感じない」と回答した人のうち不幸に分類される割合
1	あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりすると感じますか	64.9% (37/57)
2	あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか	51.1% (48/94)
3	心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか	51.0% (52/102)
4	あなたの生活水準はどの程度だと感じていますか（とても貧しい1→最も豊かな5）	45.9% (28/61)
5	いざという時に頼れる人が身近にいますと感じますか	45.5% (30/66)
6	日常生活において、治安が守られていると感じますか	44.8% (13/29)
7	あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることが出来ていると感じますか	41.7% (91/218)
8	あなたは（お住まいの都道府県）を好きだと感じますか	40.4% (46/114)
9	お住まいの地域は居心地が良いですか	39.5% (30/76)
10	子どもたちが安心して生活できていると感じますか（通学、遊びの場、学校を含む）	35.3% (30/85)

17. 市町村別幸福実感度

図表17-1 市町村別幸福実感度

		全市町村	室戸市	安芸市	東洋町	高平町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市	香美市	高知市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	
質問項目\地域毎回答数(率)・平均値		2,941	28	133	1	4	19	40	18	10	47	133	130	59	1,283	30	17	29	11	
		687,546	10,793	15,335	2,019	2,869	2,356	2,144	1,118	718	3,596	45,888	32,020	25,742	318,322	3,071	2,970	3,491	351	
		0.44%	0.26%	0.87%	0.05%	0.14%	0.81%	1.87%	1.61%	1.39%	1.31%	0.29%	0.41%	0.23%	0.40%	0.98%	0.57%	0.83%	3.13%	
暮らしの安心・安全	いざという時に頼れる人が身近にいます	4.03	3.86	4.05	4.00	4.00	3.84	3.97	3.89	4.20	4.09	4.07	4.01	4.17	4.06	4.24	3.88	3.93	3.18	
	家族と過ごす時間があること	3.99	4.32	4.12	5.00	4.25	4.05	3.83	3.78	4.30	4.00	3.84	4.06	3.95	4.02	3.80	3.76	3.79	3.64	
	心身ともに健康的な生活であること	3.60	3.68	3.66	5.00	3.25	3.84	3.26	2.94	4.00	3.41	3.51	3.52	3.59	3.66	3.53	3.41	3.41	2.55	
	社会の中で自分の役割や価値があること	3.94	3.96	3.89	4.00	4.25	4.16	3.65	3.78	4.50	4.00	3.91	3.92	4.03	4.01	3.80	3.88	3.78	3.08	
子育て環境	身近に連絡できる医療機関があること	3.23	2.75	3.41	3.00	4.00	3.61	3.39	3.06	3.30	3.02	3.30	3.09	3.37	3.32	3.20	3.00	2.90	2.00	
	子どもが安心して通学、遊びができる地域の見守りがあること	3.48	3.25	3.51	# DIV/0!	3.50	3.56	3.58	3.56	4.00	3.52	3.51	3.50	3.63	3.45	3.72	3.50	3.76	3.45	
	子育ての環境が充実していること	3.30	2.75	3.36	# DIV/0!	3.75	3.50	3.13	3.44	3.80	3.60	3.23	3.43	3.53	3.30	3.45	3.13	3.82	3.30	
	子どもが社会生活上、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身につけること	3.20	2.88	3.18	# DIV/0!	3.00	3.12	3.24	3.33	4.10	3.20	3.19	3.23	3.31	3.21	3.21	3.50	3.32	3.10	
働くこと	経済的に困らない生活を送ることができること	3.44	3.18	3.58	5.00	3.25	3.84	3.84	3.18	3.40	3.51	3.32	3.24	3.81	3.50	3.13	3.59	3.31	3.45	
	一定の生活水準が確保されていること	3.32	3.25	3.42	4.00	3.25	3.67	3.28	3.06	3.50	3.40	3.19	3.29	3.42	3.37	2.93	3.41	3.17	3.73	
	精神的に余裕のある生活を送れること	3.23	2.96	3.22	4.00	3.50	3.58	3.18	2.44	3.80	3.15	3.05	3.03	3.24	3.30	2.93	3.06	2.93	3.00	
	仕事と生活とのバランス（ワークライフバランス）が取れていること	3.24	3.04	3.25	4.00	3.00	3.67	3.29	2.58	3.80	3.11	3.12	3.11	3.24	3.31	3.07	3.24	3.24	2.82	
	仕事にやりがいや充実感があること	3.39	3.12	3.42	4.00	4.25	3.61	3.18	2.97	3.40	3.41	3.35	3.37	3.47	3.45	3.57	3.00	3.45	2.73	
	通勤、通学が苦にならないこと	3.84	4.08	4.10	5.00	3.75	3.95	4.00	4.17	3.90	4.02	3.71	3.64	3.83	3.82	4.24	3.82	4.14	4.38	
	勤め先でのコミュニケーション、チームワークがとれていること	3.54	3.62	3.71	5.00	3.75	3.78	3.39	3.00	3.90	3.50	3.47	3.49	3.69	3.57	3.57	3.82	3.62	2.55	
	所属している組織に意気があること	3.43	3.46	3.46	5.00	4.00	3.68	3.24	3.22	3.90	3.44	3.33	3.27	3.58	3.48	3.55	3.65	3.24	2.73	
	所属している組織に属する先輩、上司がいること	3.08	3.35	3.33	5.00	2.67	2.89	3.15	2.58	2.40	2.91	3.05	3.01	3.09	3.06	3.03	3.35	2.93	2.36	
	所属している組織に多様性を取り入れる風土があること	3.22	3.00	3.29	5.00	3.33	3.39	3.06	2.82	3.30	2.93	3.39	3.39	3.21	3.24	3.21	3.06	3.39	2.08	
生活環境	自由になる時間が充分とれていること	3.35	3.00	3.40	5.00	3.50	3.47	3.55	2.94	3.80	3.43	3.25	3.20	3.32	3.38	3.37	3.18	3.14	2.38	
	暮らしやすい生活環境があること	3.62	2.93	3.56	5.00	3.00	3.89	3.41	2.89	3.80	3.68	3.66	3.82	3.71	3.76	3.80	2.94	3.28	2.73	
	住んでいる地域では生活する上での不安感が無く快適であること	3.55	3.43	3.55	5.00	3.25	3.74	3.36	3.17	4.10	3.40	3.57	3.61	3.64	3.56	3.53	3.35	3.79	3.45	
	住んでいる人に異文化や協力する異文化の地域にあること	3.42	3.32	3.44	5.00	3.25	3.68	3.49	3.83	4.50	3.63	3.31	3.46	3.39	3.23	3.73	3.38	3.79	3.36	
各項目の無回答(0)を除く																				
		赤字(値が最も高い地域)										青字(値が最も低い地域)								

各項目の無回答(0)を除く

赤字(値が最も高い地域) 青字(値が最も低い地域)

※「お住まいの地域はどこか」の質問に回答があった方だけを集計し、各質問項目への無回答者は平均値算定の基礎には算入していない。

図表17-2 市町村別幸福実感度

質問項目\地域毎回答数(率)・平均値	全市町村	室戸市	安芸市	東洋町	赤平町	田野町	安田町	北川村	馬路村	雲西村	南国市	香南市	香美市	高知市	本山町	大豊町	土佐町	大川村
	2,941 667,546 0.44%	28 10,793 0.26%	133 15,335 0.87%	1 2,019 0.05%	4 2,869 0.46%	19 2,356 0.81%	40 2,144 1.87%	18 1,118 1.61%	10 718 1.39%	47 3,596 1.31%	133 45,888 0.29%	130 32,020 0.41%	59 25,742 0.23%	1,263 318,322 0.40%	30 3,071 0.98%	17 2,970 0.57%	29 3,491 0.83%	11 351 3.13%
文化・地域	興味・関心がある活動や行事が地域にあること	3.06	2.75	3.22	5.00	3.00	3.06	2.72	3.80	3.15	2.86	3.29	3.19	2.99	3.20	2.76	3.03	3.00
	地域に種々入る人がいること	2.95	3.07	3.15	4.00	3.00	3.14	2.89	4.00	3.15	2.87	2.97	3.16	2.75	3.30	2.94	3.14	2.55
	地域の文化や特色に愛着や誇りを抱くこと	3.36	3.11	3.36	5.00	3.25	3.53	3.33	4.10	3.57	3.26	3.43	3.42	3.30	3.67	3.24	3.90	3.36
	満足できる景観があること	3.41	3.07	3.60	5.00	3.50	3.74	3.44	3.22	3.40	3.41	3.38	3.46	3.31	3.43	3.28	3.35	3.38
安全・安心	地域に居心地の良さを感じる	3.74	3.36	3.68	5.00	3.75	3.84	3.42	3.22	4.30	3.79	3.69	3.96	3.73	3.80	3.97	3.35	3.76
	犯罪への不安がないこと	3.84	3.71	3.95	5.00	4.00	4.05	3.87	3.94	4.40	3.85	3.75	3.92	3.71	3.77	4.27	4.12	3.90
	災害に対する備えは充分であること	3.13	2.71	3.30	5.00	3.25	3.24	3.11	3.33	3.60	3.20	2.98	3.24	3.25	3.11	2.86	2.82	2.89
	ウイルス感染症に対する備えは充分であること	2.84	2.86	2.84	DIV/0	2.75	2.89	2.85	2.35	2.90	2.66	2.81	2.70	2.97	2.84	2.63	2.59	2.69
生活環境	日頃から近隣の人と交流があること	2.83	3.07	3.08	4.00	2.75	3.32	3.33	2.78	4.00	3.40	2.88	3.07	3.02	2.65	3.41	2.88	3.31
	女性が安心して外出できること	3.48	3.64	3.66	3.00	4.00	3.47	3.39	3.61	4.50	3.53	3.44	3.29	3.43	3.40	3.90	3.75	3.79
	身近に自然に接する場所があること	4.44	4.57	4.68	5.00	4.50	4.47	4.60	4.61	4.70	4.51	4.28	4.45	4.44	4.27	4.70	4.76	4.66
	仕事や学校以外で多くの交流があること	3.70	3.46	3.76	4.00	4.00	3.79	3.62	3.28	4.40	3.87	3.61	3.70	3.66	3.68	3.70	3.76	3.59
生活環境	住んでいる地域が外から見て魅力があること	3.57	3.32	3.38	5.00	3.00	3.37	3.20	3.11	3.90	3.47	3.38	3.47	3.61	3.70	3.50	3.18	3.46
	住んでいる地域の暮らしで尊敬されたいと感じること	3.71	3.57	3.78	5.00	3.50	3.74	3.62	3.44	4.00	3.83	3.71	3.68	3.69	3.74	3.70	3.71	3.68
	あなたは「田舎の暮らし」を好みますか	3.85	3.82	3.94	5.00	3.50	3.79	3.76	3.39	3.70	4.02	3.87	3.91	3.83	3.87	3.93	3.94	3.79
	あなたは普段どの程度の車通りで暮らしていますか	6.60	6.29	6.43	7.00	6.00	6.63	6.28	6.84	6.88	6.64	6.29	6.54	6.47	6.74	6.43	6.44	6.28
生活環境	ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い	4.11	4.18	3.89	4.00	3.75	4.42	4.33	3.94	4.80	4.24	3.95	3.98	4.10	4.18	4.23	3.71	3.83
	私の人生は、とても素晴らしいと感じる	4.35	4.57	4.10	4.00	4.50	4.37	4.30	4.06	4.80	4.22	4.14	4.25	4.24	4.44	4.43	4.12	4.10
	私は自分の人生に満足している	4.40	4.38	4.23	5.00	5.00	4.32	4.60	4.28	4.70	4.35	4.23	4.16	4.25	4.47	4.47	4.35	4.14
	私はこれまで、自分の人生に求めた大切なものを得てきた	4.54	4.32	4.44	5.00	4.75	4.21	4.45	4.17	4.80	4.67	4.30	4.54	4.61	4.62	4.43	4.35	4.28
生活環境	もう一度人生やり直せるとしても、ほとんどの面を満足しないと思う	3.48	3.75	3.41	1.00	3.75	3.58	3.75	3.33	3.50	3.54	3.35	3.31	3.41	3.52	3.20	2.88	3.45

各項目の無回答(0)を除く

赤字(値が最も高い地域) 青字(値が最も低い地域)

※「お住まいの地域はどこか」の質問に回答があった方だけを集計し、各質問項目への無回答者は平均値算定の基礎には算入していない。

図表17-3 市町村別幸福実感度

質問項目\地域毎回答数(率)・平均値	全市町村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村	須崎市	中土佐町	梼原町	津野町	四方町	宿毛市	土佐清水市	四万十町	大月町	三原村	黒潮町
	2,941 667,546 0.44%	56 25,076 0.22%	94 20,391 0.46%	13 4,401 0.30%	105 11,846 0.88%	22 4,772 0.46%	57 4,635 1.23%	69 19,438 0.35%	20 5,498 0.36%	16 3,086 0.52%	63 5,000 1.26%	42 14,620 0.29%	88 18,031 0.49%	136 11,427 1.19%	74 31,391 0.24%	30 4,140 0.72%	13 1,362 0.95%	51 9,628 0.53%
生活環境	いざという時に種々入る人が身近にいること	4.03	3.98	4.08	4.08	3.94	3.81	3.98	4.01	3.95	3.60	4.08	3.90	4.01	3.99	4.03	3.60	4.08
	家族と過ごす時間があること	3.99	3.93	4.16	3.67	3.77	3.90	3.98	4.25	4.35	4.25	3.92	4.00	4.06	4.04	3.86	3.83	3.77
	心身ともに健康的な生活であること	3.60	3.45	3.85	3.42	3.46	3.45	3.63	3.68	4.05	3.75	3.68	3.38	3.66	3.53	3.49	3.17	3.54
	社会の中で自分の役割や価値があること	3.84	3.81	4.11	3.75	3.94	4.14	3.77	4.01	4.05	3.56	3.97	3.62	3.88	3.85	3.76	3.59	3.85
生活環境	身近に連絡できる関係があること	3.23	2.92	3.62	2.75	3.16	2.86	3.44	3.24	3.05	2.40	3.13	3.02	3.16	2.88	3.24	2.79	3.23
	子どもが安心して通学、遊びができる環境があること	3.48	3.43	3.72	3.00	3.56	3.48	3.52	3.27	3.00	3.53	3.58	3.35	3.55	3.24	3.46	3.69	3.58
	子育ての環境が充実していること	3.30	3.00	3.60	3.31	3.36	3.25	3.52	3.18	2.83	3.25	3.69	3.06	3.09	2.85	3.22	3.54	3.42
	子どもが社会生活に必要知識や技能、社会性、体力などを総合的に身につけること	3.20	3.19	3.48	3.00	3.22	3.24	3.31	3.11	3.00	3.06	3.38	3.03	3.05	2.94	3.04	3.21	3.25
生活環境	経済的に困らない生活を送ることができること	3.44	3.11	3.71	3.23	3.34	3.33	3.40	3.74	3.63	3.56	3.60	3.06	3.43	3.29	3.27	3.03	3.00
	一定の生活水準が確保されていること	3.32	3.20	3.53	3.00	3.10	3.40	3.21	3.51	3.42	3.33	3.36	3.05	3.21	3.18	3.23	3.00	3.00
	精神的に楽々ある生活を送れること	3.23	3.13	3.50	3.08	3.13	3.10	3.33	3.39	3.40	3.13	3.18	3.02	3.21	3.12	3.08	3.03	3.31
	仕事と生活とのバランス(ワークライフバランス)が保たれていること	3.24	3.31	3.50	3.08	3.16	2.95	3.37	3.32	3.89	2.56	3.17	3.14	3.14	3.19	3.06	3.00	3.16
生活環境	仕事にやりがいや充実感があること	3.39	3.37	3.66	3.42	3.44	3.47	3.68	3.44	3.65	2.94	3.43	3.14	3.22	3.17	3.15	2.93	3.00
	通勤、通学が楽にならないこと	3.84	3.30	4.03	4.25	3.98	3.85	3.73	3.78	3.53	3.63	3.82	3.69	4.10	3.93	3.68	3.83	3.77
	初め先でのコミュニケーション、チームワークがとれていること	3.54	3.64	3.67	3.83	3.58	3.56	3.46	3.65	3.69	3.00	3.56	3.38	3.49	3.38	3.42	3.17	3.46
	抱えている課題に愛着があること	3.43	3.51	3.61	3.67	3.49	3.67	3.49	3.50	3.56	2.75	3.57	3.14	3.32	3.10	3.19	2.97	3.31
生活環境	所属している組織に種々入る先輩、上司がいること	3.09	3.09	3.27	3.00	3.09	3.22	2.96	3.00	2.80	2.33	2.95	2.87	3.00	3.01	3.01	3.00	3.15
	所属している組織に多様性を高め入れる風土があること	3.22	3.31	3.55	3.18	3.18	2.89	3.27	3.48	3.21	2.20	3.02	3.05	2.99	3.06	2.96	3.11	2.69
	自由になる時間が充分とれていること	3.85	3.23	3.67	3.33	3.31	2.60	3.53	3.52	3.65	2.94	3.35	3.29	3.31	3.32	3.12	3.23	3.15
	暮らしやすい生活環境があること	3.62	3.54	4.01	3.50	3.68	3.29	3.68	3.33	3.35	3.38	3.56	3.36	3.33	2.88	3.47	3.27	2.77
生活環境	住んでいる地域では生活する上での不安感が無く快適であること	3.55	3.29	3.85	3.83	3.62	3.67	3.61	3.39	3.35	4.38	3.67	3.40	3.57	3.36	3.61	3.10	3.15
	困っている人に声かけや協力する雰囲気があること	3.42	3.51	3.84	4.00	3.61	3.38	3.91	3.28	3.84	3.63	3.98	3.39	3.36	3.50	3.43	3.39	3.62

各項目の無回答(0)を除く

赤字(値が最も高い地域) 青字(値が最も低い地域)

※「お住まいの地域はどこか」の質問に回答があった方だけを集計し、各質問項目への無回答者は平均値算定の基礎には算入していない。

図表17-4 市町村別幸福実感度

質問項目\地域毎回答数(率)・平均値		全市町村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村	須崎市	中土佐町	梼原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十町	大月町	三原村	黒潮町
		2,941	56	94	13	105	22	57	69	20	16	63	42	88	138	74	30	13	51
		667,546	25,076	20,391	4,401	11,846	4,772	4,635	19,438	5,499	3,086	5,000	14,620	18,031	11,427	31,391	4,140	1,362	9,628
		0.44%	0.22%	0.46%	0.30%	0.89%	0.46%	1.23%	0.35%	0.36%	0.52%	1.26%	0.28%	0.48%	1.19%	0.24%	0.72%	0.95%	0.53%
文化・地域	興味・関心がある活動や行事が地域にあること	3.06	2.91	3.37	3.33	3.44	3.19	3.31	2.84	3.30	3.33	3.47	3.10	2.77	2.81	3.26	2.87	3.15	3.32
	地域に種々入る人がいること	2.95	2.87	3.44	3.33	3.17	3.14	3.36	2.86	3.35	3.00	3.38	2.92	3.02	3.04	3.07	2.86	2.92	3.32
	地域の文化や特色に愛着や誇りを感じる	3.36	3.20	3.70	3.42	3.61	3.50	3.70	3.03	3.90	3.53	3.69	3.10	3.28	3.13	3.36	3.07	3.09	3.75
	満足できる場所があること	3.41	3.29	3.68	3.50	3.48	3.05	3.46	3.55	3.27	3.58	3.10	3.25	3.24	3.19	3.24	3.19	3.31	3.63
安心・安全	地域に居心地の良さを感じる	3.74	3.55	4.11	3.83	3.85	3.71	3.79	3.51	3.85	3.63	3.86	3.43	3.55	3.43	3.59	3.43	3.38	3.94
	犯罪への不安がないこと	3.64	3.73	4.06	3.92	4.02	3.76	3.89	3.76	3.85	4.13	4.05	3.73	3.89	3.82	3.74	3.72	3.38	4.04
	災害に対する備えは充分であること	3.13	3.26	3.37	3.00	3.05	3.15	3.34	2.87	3.53	3.13	3.11	3.02	3.15	3.05	3.24	2.96	2.77	3.51
	ウイリス感染症に対する備えは充分であること	2.84	2.79	3.02	2.58	2.91	2.60	3.30	2.77	2.80	2.88	2.89	2.63	2.77	2.88	2.70	2.53	3.08	3.24
健康・生活	日頃から医師の人と交流があること	2.83	2.71	3.60	3.50	3.37	3.19	3.51	2.84	3.65	3.44	3.60	2.83	2.83	2.98	2.88	2.97	3.38	3.45
	女性が安心して外出できること	3.48	3.23	3.79	3.67	3.75	3.57	3.46	3.49	3.50	3.75	3.63	3.25	3.45	3.54	3.47	3.72	3.08	3.70
	身近に自然に接する場所があること	4.44	4.57	4.61	4.82	4.58	4.57	4.60	4.71	4.75	4.44	4.75	4.52	4.64	4.65	4.47	4.60	4.54	4.53
	仕事や学校以外で多くの交流があること	3.70	3.61	3.98	4.08	3.85	3.76	3.75	3.78	3.60	3.44	4.03	3.46	3.47	3.63	3.65	3.24	3.77	3.76
住みやすさ	住んでいる地域が地域から見て魅力があること	3.57	3.41	3.78	4.08	3.47	3.55	3.84	3.23	3.35	3.94	3.77	3.48	3.06	3.38	3.71	3.38	3.48	3.84
	住んでいる地域の暮らしを誇りを持って暮らすこと	3.71	3.59	3.88	3.67	3.81	3.81	3.82	3.43	3.80	3.44	3.90	3.36	3.62	3.42	3.71	3.27	3.08	4.00
	あなたは「お住まいの地域を誇り」を好まれますか	3.85	3.80	4.07	4.17	3.98	4.14	4.12	3.61	3.95	3.56	4.00	3.49	3.62	3.62	3.82	3.40	3.31	4.04
	あなたは重箱どの程度満足だと感じていますか	6.60	6.42	7.12	6.85	6.76	6.68	6.58	6.35	7.25	6.50	6.59	6.19	6.70	6.20	6.23	6.10	6.31	6.88
人生満足度	ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い	4.11	3.93	4.55	4.23	4.30	4.32	4.02	4.10	4.30	3.75	4.06	3.90	4.08	3.89	3.89	3.87	4.00	4.18
	私の人生は、とても素晴らしいと感じる	4.35	4.23	4.88	4.38	4.32	4.41	4.19	4.20	4.55	4.00	4.14	4.05	4.45	4.08	4.34	4.03	4.31	4.59
	私は自分の人生に満足している	4.40	4.21	5.01	4.54	4.34	4.18	4.30	4.35	4.75	4.06	4.17	4.10	4.50	4.16	4.34	4.27	4.38	4.80
	私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた	4.54	4.36	4.88	4.54	4.68	4.55	4.44	4.49	4.85	4.25	4.38	4.40	4.56	4.33	4.42	4.23	4.62	4.47
もう一度人生をやり直せるとしても、ほとんどの面を満足しないだろう		3.48	3.52	3.74	3.15	3.63	3.14	3.56	3.20	3.55	3.25	3.40	3.50	3.64	3.41	3.39	3.27	3.54	3.78

各項目の無回答(0)を除く

赤字(値が最も高い地域) 青字(値が最も低い地域)

※「お住まいの地域はどこか」の質問に回答があった方だけを集計し、各質問項目への無回答者は平均値算定の基礎には算入していない。

18. 最後に

第8回目の高知県民総幸福度(G K H)アンケート調査にご協力頂きましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

アンケート調査を重ねていくと『しあわせ』の有り様が垣間見えて来るような気がします。

個人的な仮説ですが、「しあわせは考えるだけで幸福度が上がる」と考えております。つまり、高知県民総幸福度(G K H)アンケートを回答していただくことが、一人一人の県民・市民自身の幸せを考え、そしてそのことが個人の幸福度を上げていくことにつながり、結果的には、地域や職場、県全体の幸福度が上がることになると考えています。

今年も7月1日から21日まで、第9回目高知県民総幸福度(G K H)アンケート調査を実施する予定です。また、2回目の「働く人の幸福度調査」も考えています。梼原町をはじめ市町村ごとに住民の方々と『しあわせな未来ビジョンの策定』を行って、地域のしあわせ推進を行っていきます。

改めまして、高知県のしあわせ推進活動にご支援、ご協力をお願いします。

尚、これまでの高知県民総幸福度調査の結果、働く人に関する幸福度調査の結果、高知県の子供の幸福から考える未来社会、など一般社団法人しあわせ推進会議のホームページでご覧いただけます。

G K Hアンケート：しあわせ推進会議 (happy-full.life)

2023年「第70回よさこい祭り」 経済波及効果は79億円

株式会社四銀地域経済研究所
調査部主任研究員 山本 翔太郎

【要旨】

1. 高知県の夏の風物詩「よさこい祭り」は第70回目を迎え、本番には157チーム、約14,000人の踊り子が参加した。「よさこい祭り」は全国200カ所以上の地に広がり、それぞれ地域の祭りとして定着している他、フランスやベトナムなど、世界各地で楽しまれている。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響により、4年振りの通常開催となった「よさこい祭り」の**経済波及効果は79億1,816万円**、直接効果に対する経済波及効果は約1.50倍となった。
3. 経済波及効果により生じる粗付加価値誘発額は43億7,263万円。粗付加価値誘発額のGDP押し上げ効果は、令和2年度（2020年度）実質県民総生産比で0.192%となる。
4. 所得誘発額は23億3,599万円となり、1,035人の就業者誘発効果があった。
5. 税収効果（高知県内）は、2億7,520万円（うち、県税1億1,908万円、市町村税1億5,612万円）となった。
6. 直接消費支出（主催者・踊り子チームなどの支出）として7億7,784万円が投じられ、79億1,816万円の生産額を誘発。視点を変えれば約10.2倍の事業効果があったとみることも出来る。高知県において最も重要な観光資源の一つであるとともに、南国土佐を象徴する祭りと言える。



よさこい大賞 とらっくよさこい（ちふれ）

はじめに

本家・高知の「よさこい祭り」は、2023年に第70回の節目を迎え、本番には157チーム、踊り子約14,000人が参加した。

本報告書は、南国土佐の夏の一大イベントである「よさこい祭り」によって、高知県経済にもたらされる経済波及効果を調査・把握し、高知県観光振興の一助を担うことを目的とする。

1. 「よさこい祭り」の歴史

「よさこい祭り」は、全国的な不況の中、第二次世界大戦後の荒廃した市民生活が落ち着きを見せ始めた昭和29年（1954年）8月に、不況を吹き飛ばし、市民の健康と繁栄を祈願するとともに、夏枯れの商店街振興を促すため、高知商工会議所が中心となり始まった。

きっかけは、昭和28年（1953年）徳島県の阿波おどりを観た高知商工会議所の有志たちが、「阿波おどりの300年の歴史に負けない永続発展していく市民の祭りを作ろう！」と奮起して始めたものと言われている。

また、よさこい鳴子踊りの原曲と踊りは、昭和25年（1950年）高知市で開催された「南国高知産業大博覧会」において作られたと伝えられている。鳴子踊りの振り付けは日本舞踊の五流派の師匠らに依頼し、作詞作曲は高知市在住の作曲家武政英策氏が手掛けた。この武政英策氏が、「阿波おどりの素手に対して、こちらは鳴子を手に持とう」と提案したものが、現在まで「よさこい鳴子踊り」として受け継がれている。

「第1回よさこい祭り」は、合成酒のただ呑み大会や高知県内の伝統芸能と競演する形で開催され、21団体750人の参加により披露された。

その後、昭和58年（1983年）の第30回には、踊り子人数が10,000人を突破し、平成25年（2013年）の第60回では、過去最多の214チーム、約20,000人の踊り子が高知市内16会場で個性あふれる競演を繰り広げた。

本家・高知の「よさこい祭り」は、北海道札幌市の「YOSAKOI ソーラン祭り」をはじめ、その地域の郷土色を打ち出した祭りとして、全国200カ所以上で定着している。

2. 「第70回よさこい祭り」 概要

図表－1 開催スケジュール

日程	名称	時間	場所	備考	来場客数
8月9日（水）	土佐学生よさこい大会	11：00～15：00	高知県民文化ホール	悪天候により、会場を高知城から変更	107万人 （携帯電話の位置情報データをもとに、よさこい祭振興会にて推計）
	祈願祭	17：00～	中央公園		
	前夜祭	18：00～21：30	中央公園	第66回よさこい祭り受賞チーム（19チーム） 総踊り（みんなでよさこいプロジェクト）	
8月10日（木）	本祭	11：00～22：00	帯屋町演舞場		
		11：30～22：00	中央公園競演場		
		12：30～21：30	演舞場（上町ほか6会場） 競演場（旭ほか4会場）		
		13：15～16：55	追手筋本部競演場		
		17：35～21：30	追手筋本部競演場		
8月11日（金・祝）	本祭	10：00～12：00	高知大学演舞場	事前登録チームのみ	
		11：30～22：00	中央公園競演場		
		12：30～21：30	演舞場（上町ほか6会場） 競演場（旭ほか4会場）		
		13：15～16：55	追手筋本部競演場		
		17：35～21：30	追手筋本部競演場		
		17：30～21：30	柳町演舞場	地元チームのみ	
8月12日（土）	全国大会	12：30～22：00	高知城、追手筋、 帯屋町、中央公園	高知県外からのエントリーチーム（50チーム） 第70回よさこい祭り受賞チーム（21チーム）	
8月13日（日）	高知市納涼花火大会	20：00～21：00	鏡川河畔		7,300人 （有料観覧席のみ）

図表－2 競演場・演舞場 地図



●個人メダルの授与とチームの賞が審査される

競演場 ①追手筋本部競演場 ②中央公園競演場 ③菜園場競演場 ④梅ノ辻競演場 ⑤升形地域競演場
⑥上町競演場 ⑦万々競演場 ⑧愛宕競演場 ⑨はりまや橋競演場

●審査会場ではないが、オリジナルの個人メダルを授与する会場もある

演舞場 ①旭演舞場 ②秦演舞場 ③京町演舞場 ④柳町演舞場 ⑤帯屋町演舞場 ⑥高知城演舞場
⑦高知駅前演舞場 ⑧高知大学演舞場

図表－3 「よさこい祭り」の基本ルール



図表－4 「よさこい祭り」審査基準

●次の6項目を審査する

①	楽曲
②	踊り（振り付け）
③	鳴子を鳴らして前進しているか
④	衣装
⑤	地方車
⑥	総合評価

●次の順守事項について、順守しなかったチームは審査の減点対象または審査対象外とする。

①	参加ルールを守ること
②	競演場・演舞場のスタッフや警備員の指示に従うこと
③	市内17か所の競演場・演舞場を、2日間でできるだけ多く回るようにすること （「第70回よさこい祭り」新規追加項目）

図表－5 「よさこい祭り」 本祭・全国大会受賞チーム一覧

本 祭			全 国 大 会		
賞	チーム名	出身県	賞	チーム名	出身県
よさこい大賞	とらっくよさこい (ちふれ)	高知県	最優秀賞・輝	なるたか	東京都
金賞	十人十彩	高知県	武政英策賞	よんでんグループ	高知県
	ほにや	高知県	優秀賞・彩	よさこい塾・ありがた屋	三重県
	旭食品	高知県	(踊りや音楽と融合した優れた衣装)		
銀賞	濱長 花神楽	高知県	優秀賞・粋	常盤	愛知県
	DDよさこいチーム	東京都	(粋でキレの良さ)		
審査員特別賞	TACYON	高知県	優秀賞・睦	七福よさこい連 祝禧	東京都
	いなん	高知県	(仲の良さや楽しさ)		
	帯屋町筋	高知県	優秀賞・艶	りぐる	静岡県
	だるま	高知県	(艶やかさや華やかさ)		
地区競演場連合会 奨励賞	依屋グループ	高知県	優秀賞・豪	舞龍人	山口県
	祭屋よさこい踊り子隊	高知県	(元気さや力強さ)		
	上町よさこい鳴子連	高知県			
	au	高知県			
	よんでんグループ	高知県			
	四国銀行	高知県			
	万々商店街 万々歳	高知県			
	國土舞双	高知県			
	大橋通り踊り子隊	高知県			
	高知信用金庫	高知県			
地区競演場連合会 地方車奨励賞	ぞっこん町田'98	東京都			
	よさこいチーム 濱兆	高知県			
	DDよさこいチーム	東京都			
	七福よさこい連 祝禧	東京都			
	梶原	高知県			

【金賞受賞チーム】



十人十彩



ほにや



旭食品

【銀賞受賞チーム】



DDよさこいチーム



TACYON



濱長 花神楽

【海外からの参加チーム】



フランスよさこい連盟



ヌイチュックさくらよさこい（ベトナム）

3. 経済波及効果の測定の前提と方法

- (1) 「2015年（平成27年）高知県産業連関表」をもとに、高知県（産業振興部統計分析課）が作成した「県経済波及効果簡易分析ツール（イベント開催用）」を用いて、経済波及効果（生産誘発額）の推計を行った。
従って、2016年以降の産業構造の変化や物価動向については勘案していない。
- (2) 消費需要の算定については、関係各機関にヒアリング、アンケート調査を行った。よさこい期間中の観光客数とその属性（性別、年齢、居住地など）、消費額、消費構成などについては、資料が揃わないものもあり、一部は一定の推計により算出した。
- (3) 直接の消費需要により必要とされる消費財の一部のものについては、高知県外からの移輸入によって賄われるものとし、その他のものは自給可能とした。

4. 経済波及効果について

イベントが開催されると、それに伴った様々な需要が発生し、地域全体に経済的な影響を及ぼす。たとえば、「よさこい祭り」のチームが新しくできると、鳴子、衣装、振り付けなどの需要が発生するだけでなく、川上の産業である繊維産業、木工業などへの需要が発生する。また、地方車の運転、踊り子輸送には、運輸業が活躍することになり、ガソリンなどの燃料の売上も増加する。こうした経済波及効果（図表－6）は、主に3つに大別される。

(1) 直接効果

直接効果とは、当初需要により生じる最初の生産増加額を指す。具体的には、下記のような総消費支出額（直接需要額）のうち、県内で調達できるものについて生じる効果となる。調達できない一部の需要については県外から移輸入してくることになり、県内での生産活動には結びつかないため、経済波及効果の分析上では除外する。

【イベント主催者が直接支出する経費】

パンフレット作成のための印刷・編集費、会場設営費用、レセプション費用、スタッフのための飲食費・交通費、アルバイトなどの臨時雇用費用など。

【来場客（観光客）が個人的に支出する消費】

宿泊費、飲食費、買い物費、会場までの交通費、観光・レジャー費など。

(2) 間接1次波及効果

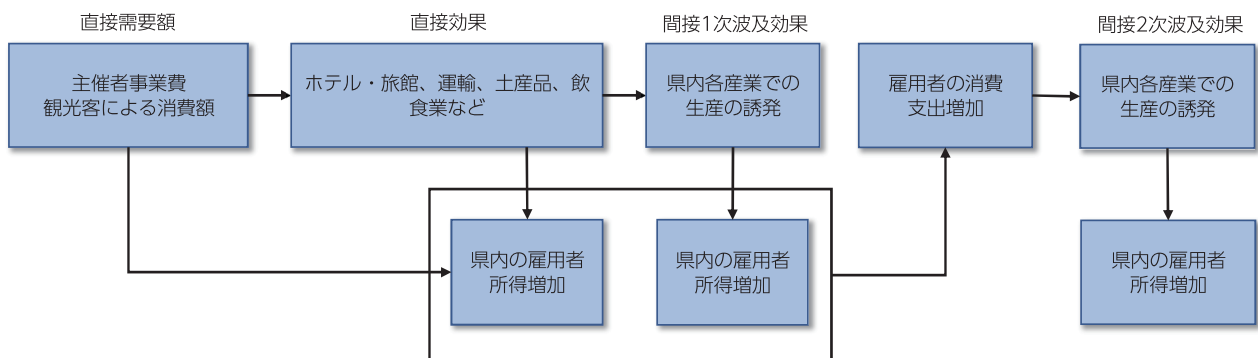
間接1次波及効果とは、直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料など（財やサービス）を満たすために、新たに発生する県内生産の誘発効果を指す。例えば、地方車100台分の需要が増加した場合、直接効果としては地方車100台分の金額となるが、組み立て時に使用する材料（木材・釘など）が波及的に生産される。このうち、県内で波及的に生産された部品や材料などの総額が間接第1波及効果となる。

（3）間接2次波及効果

直接効果、並びに間接1次波及効果により就業者所得が増加すると、一定の割合で消費支出に回されるため、県内の各産業で更なる生産が誘発される。この経済波及効果を間接2次波及効果という。

なお、直接効果、間接1次波及効果によって生じる付加価値は、就業者所得のほかに企業利益に相当する営業余剰がある。就業者所得に対する消費の比率（消費性向）はある程度安定的であるが、営業余剰に対する企業の支出（設備投資など）は安定的でないことから、間接2次波及効果の計算に当たっては、一般的に営業余剰は対象外とする。

図表－6 「第70回よさこい祭り」経済波及効果推計の流れ



5. 直接消費支出額は、69億3,972万円 (内、県内需要額52億9,491万円、移輸入額16億4,480万円)

「よさこい祭り」における「県内外観光客の消費支出」、「出場チームが支出する経費、及びよさこい祭振興会や公益社団法人高知市観光協会、各競演場、演舞場が支出する直接経費」を推計した結果、県内消費額は52億95百万円となった。

内訳は、観光客による県内消費額が48億17百万円、主催者・各競演場や演舞場・出場チームなどの県内直接支出（経費支出）額は4億78百万円となった。

移輸入額（県外消費）は16億45百万円となり、直接消費支出額全体のうち約24%が、高知県外からの移輸入で賄われたことになる（図表－7）。

図表－7 直接消費・直接支出額内訳

(単位：百万円)

	直接効果 (県内消費)	移輸入 (県外消費)	合 計
観光客による消費	4,817	1,345	6,162
主催者・競演場・演舞場・出場チームによる直接支出	478	300	778
合計	5,295	1,645	6,940

（１）観光客による消費61億62百万円（内県外観光客40億24百万円、県内観光客21億38百万円）

①交通費

期間中に利用された各交通機関の運賃や、高速道路の通行料、観光客からのアンケート結果などを踏まえ推計した結果、13億6百万円（内、県外観光客8億54百万円、県内客4億52百万円）となった。

②宿泊費

観光客や出場チームからのアンケート結果を踏まえ、期間中の宿泊者数や宿泊単価を推計した結果、5億82百万円（内、県外宿泊客3億76百万円、県内宿泊客2億6百万円）となった。

③飲食費、土産代

観光客からのアンケートや、高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」などを踏まえ、期間中の飲食費、並びに土産代などの買い物代を推計した結果、飲食費は25億64百万円（内、県外観光客16億76百万円、県内観光客8億88百万円）、土産代などの買い物代は11億50百万円（内、県外観光客7億52百万円、県内観光客3億98百万円）となった。

④その他の消費（栈敷席、観光施設への入館料など）

観光客からのアンケート結果などを踏まえ、期間中のその他の消費（栈敷席や有料観覧席のチケット代、観光施設への入館料など）を推計した結果、5億60百万円（内、県外観光客3億66百万円、県内観光客1億94百万円）となった。

（２）「第70回よさこい祭り」による直接支出 7億78百万円

①出場チームの支出

出場チームへのアンケート結果を踏まえ、地方車や衣装代、貸切バスなどの交通費、踊り子用の飲食費や宿泊費などで6億22百万円と推計した。

②イベント主催者の直接支出

よさこい祭振興会、各競演場・演舞場、公益社団法人高知市観光協会（高知市納涼花火大会）など、イベント主催者側の直接支出（会場運営費やスタッフ人件費、警備費など）を推計した結果、1億56百万円となった。

6. 経済波及効果は79億1,816万円 (直接効果に対し1.50倍)

(1) 経済波及効果

「第70回よさこい祭り」における経済波及効果（総合効果）は、前回調査「第64回よさこい祭り（2017年）」の96億27百万円より17億8百万円減少し、79億18百万円となった。その内訳をみると、直接効果（「よさこい祭り」による高知県内消費・支出額）52億95百万円、間接1次波及効果17億27百万円、間接2次波及効果8億96百万円となった（図表－8、9）。

総合効果（生産誘発総額）79億18百万円は、「第70回よさこい祭り」の直接効果に対し、約1.50倍となった。また視点を変えれば、主催者・競演場・演舞場・出場チームなどの直接消費支出7億78百万円が投じられたことにより、約10.2倍の事業効果があったとみることもできる。

図表－8 「第70回よさこい祭り」の経済波及効果

(単位：千円)

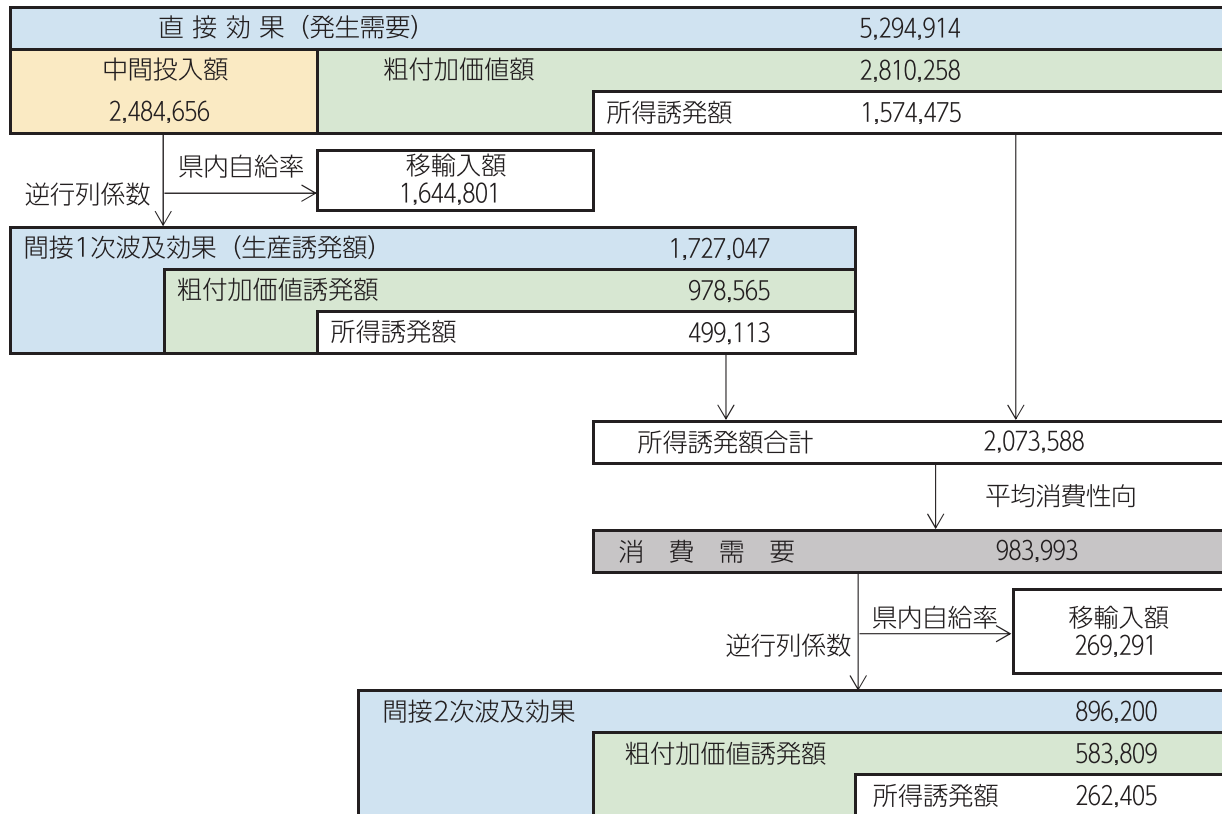
	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	所得誘発額	雇用効果 (人)	税収効果 県税＋市町村税
直接効果①	5,294,914	2,810,258	1,574,475	788	173,751
間接1次波及効果②	1,727,047	978,565	499,113	165	63,226
間接2次波及効果③	896,200	583,809	262,405	81	38,223
経済波及効果(生産誘発額) (①＋②＋③)	7,918,161	4,372,631	2,335,992	1,035	275,199
直接支出額	6,939,715	(直接効果＋移輸入)			
直接効果に対する 経済波及効果	1.50	＝総合効果/直接効果			

(注) 1. 内訳の各数値を四捨五入するため、内訳と合計の数値は必ずしも一致しないことがある。

2. 生産誘発額 直接需要額により誘発された各部門の生産額
3. 粗付加価値額 生産活動によって新たに生み出された価値をいい、家計外支出を除けば県民経済計算の県内総生産にほぼ対応している。粗付加価値額は、家計外消費支出、雇用者所得、営業余剰、資本減耗引当、間接税、及び（控除）経常補助金から構成されている。

図表－9 経済波及効果フローチャート

(単位：千円)



（2）粗付加価値額誘発額 43億7,263万円、本県実質GDPの押し上げ効果0.192%

先述の経済波及効果（生産誘発額）が、新たな投資や消費によって各産業がどれほどの生産を喚起するかを表しているのに対し、この粗付加価値誘発額は、各産業が呼び起こす付加価値の大きさを表している。経済波及効果により生じる粗付加価値誘発額は、**43億7,263万円**（直接効果28億1,026万円、間接1次波及効果9億7,857万円、間接2次波及効果5億8,381万円）となった。これは、令和2年（2020年）度県内総生産（実質）2兆2,819億円に当てはめれば、0.192%の押し上げ効果があったことになる（図表－10）。

図表－10 経済波及効果と県内総生産に占めるGDP押し上げ効果

高知県の実質県内総生産（2020年度）					
2,281,925百万円					
(単位：百万円)					
	よさこい祭り 直接効果	間接1次 波及効果	間接2次 波及効果	合計	
経済波及効果 （生産誘発額）	5,295	1,727	896	7,918	GDP押し上げ 効果（%）
内、粗付加価値 誘発額	2,810	979	584	4,373	0.192%

(3) 所得誘発額23億36百万円により1,035人の就業誘発効果

粗付加価値額のうち、雇用者や個人事業主などに分配される所得誘発額は23億36百万円となる。この所得誘発額が、それぞれの産業の雇用創出にも影響を及ぼす。

平成27年（2015年）高知県産業連関表（取引基本表、投入係数表、雇用表）を基に算出された就業係数を用いて、就業者誘発数を推計すると、1,035人の就業機会を創出したことになる。

なお、部門別に就業誘発効果を見ると、対個人サービス（640人）、商業（145人）、対事業所サービス（72人）、運輸・郵便（59人）、耕種農業（29人）の順となった（図表－11）。

※就業者＝有給役員＋常用雇用者＋臨時・日雇＋家族従業者＋個人事業主

図表－11 部門別生産誘発額、及び就業誘発効果

(単位：千円)

	部門	生産誘発額 直接効果	就業者 誘発数 (人)	生産誘発額 間接1次効果	就業者 誘発数 (人)	生産誘発額 間接2次効果	就業者 誘発数 (人)	就業者 誘発数合計 (人)
01	耕種農業	37,561	14	36,767	14	4,240	2	29
02	畜産・その他の農業	0	0	26,257	3	3,197	0	3
03	林業	0	0	5,685	1	693	0	1
04	漁業	44,799	3	52,357	4	5,543	0	7
05	鉱業	0	0	1,034	0	240	0	0
06	飲料品	105,888	7	142,613	10	23,134	2	19
07	繊維製品	1,113	0	1,426	0	358	0	0
08	木材・木製品・家具	1,394	0	4,593	0	558	0	1
09	パルプ・紙・紙加工品	0	0	3,963	0	527	0	0
10	化学製品	56	0	531	0	244	0	0
11	石油・石炭製品	0	0	4,436	0	838	0	0
12	プラスチック・ゴム製品	182	0	1,476	0	265	0	0
13	窯業・土石製品	1,722	0	4,291	0	562	0	0
14	鉄鋼・非鉄金属	0	0	4	0	1	0	0
15	金属製品	0	0	4,067	0	618	0	1
16	はん用機械	0	0	428	0	44	0	0
17	生産用機械	0	0	2,808	0	249	0	0
18	業務用機械	0	0	95	0	20	0	0
19	電子部品	0	0	96	0	17	0	0
20	電気機械・情報・通信機器	0	0	238	0	520	0	0
21	輸送機械	0	0	543	0	280	0	0
22	その他の製造工業製品	57,384	5	15,984	1	3,417	0	7
23	建築	0	0	19,913	1	4,136	0	1
24	土木	0	0	0	0	0	0	0
25	電力・ガス・熱供給	0	0	109,075	1	28,469	0	2
26	水道	0	0	37,972	1	6,134	0	2
27	廃棄物処理	0	0	54,918	5	4,723	0	6
28	商業	329,732	61	305,678	57	150,171	28	145
29	金融・保険	1,727	0	69,254	3	81,187	4	7
30	不動産	0	0	92,209	1	206,566	3	4
31	運輸・郵便	683,774	43	214,919	13	48,565	3	59
32	情報通信	7,815	0	118,813	3	55,061	1	5
33	公務	0	0	7,221	0	2,515	0	1
34	教育・研究	54,606	5	2,926	0	23,958	2	8
35	医療・福祉	0	0	1,207	0	59,788	7	7
36	他に分類されない会員制団体	1,068	0	23,016	5	13,117	3	8
37	対事業所サービス	313,111	35	274,734	31	49,051	6	72
38	対個人サービス	3,652,983	614	45,236	8	111,913	19	640
39	事務用品	0	0	11,317	0	1,479	0	0
40	分類不明	0	0	28,946	0	3,805	0	0
計		5,294,914	788	1,727,047	165	896,200	81	1,035

(注) 1. 内訳の各数値を四捨五入するため、内訳と合計の数値は必ずしも一致しないことがある。

(4) 税収効果 2億7,520万円（県税1億1,908万円、市町村税1億5,612万円）

「第70回よさこい祭り」開催によってもたらされた税収効果について、高知県全体で得られる効果を推計した結果、高知県税として1億1,908万円、高知県内の市町村税として1億5,612万円、計2億7,520万円となった（図表-12）。

なお、通常税額は税法上の定めにより、所得額に税率を乗じて計算されるが、所得額による税率の違いや控除などがあるため、ここでは税収係数を用いた方法にて推計している。

図表-12 税収効果内訳

（単位：千円）

直接効果①	県税	75,185
	市町村税	98,566
小計		173,751
間接1次波及効果①	県税	27,359
	市町村税	35,867
小計		63,226
間接2次波及効果②	県税	16,540
	市町村税	21,683
小計		38,223
総合効果①+②+③	県税	119,083
	市町村税	156,116
合計		275,199

(5) 部門別の経済波及効果

経済波及効果を40部門別に推計すると、以下のようになる（図表-13,14）。

最も生産誘発総額が大きかった部門は対個人サービス（宿泊業、飲食サービス、洗濯、理容・美容、娯楽サービス業など）38億10百万円となり、次いで運輸・郵便9億47百万円、商業（卸売、百貨店・スーパー・コンビニなどの小売）7億86百万円、対事業所サービス（広告、物品賃貸業、警備業、労働者派遣サービスなど）6億37百万円と続いている。

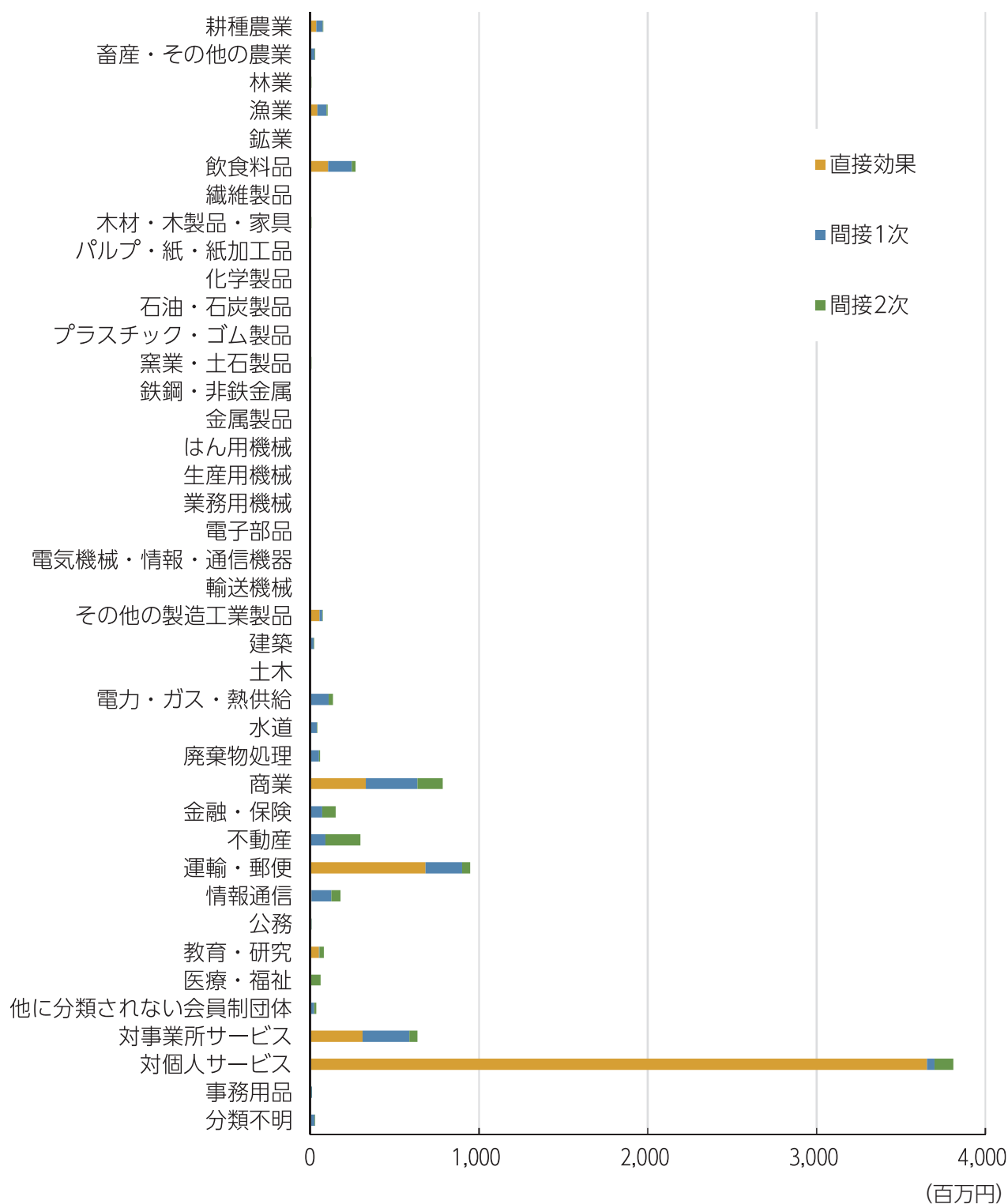
また、直接効果を除いた間接波及効果（1次+2次）について部門別にみると、商業（4億56百万円）が最も大きくなり、次いで対事業所サービス（3億24百万円）、不動産（2億99百万円）、運輸・郵便（2億63百万円）、情報通信（1億74百万円）となった。なお、生産誘発総額が最も大きかった対個人サービスは1億57百万円となり、直接効果に比べて間接効果が少ない（＝県内の経済循環が小さい）ことが分かる。

図表－13 「第70回よさこい祭り」の部門別経済波及効果

(単位：千円)

	部門	直接効果			間接1次波及効果			間接2次波及効果			総合効果		
		生産 誘発額	粗付加 価値 誘発額	所得 誘発額	生産 誘発額	粗付加 価値 誘発額	所得 誘発額	生産 誘発額	粗付加 価値 誘発額	所得 誘発額	生産 誘発額	粗付加 価値 誘発額	所得 誘発額
01	耕種農業	37,561	22,321	9,201	36,767	21,850	9,007	4,240	2,520	1,039	78,568	46,691	19,247
02	畜産・その他の農業	0	0	0	26,257	10,692	5,209	3,197	1,302	634	29,453	11,994	5,843
03	林業	0	0	0	5,685	4,188	2,289	693	510	279	6,377	4,698	2,568
04	漁業	44,799	21,356	10,729	52,357	24,959	12,539	5,543	2,643	1,328	102,698	48,958	24,596
05	鉱業	0	0	0	1,034	554	204	240	129	47	1,275	683	252
06	飲食料品	105,888	34,280	18,625	142,613	46,170	25,084	23,134	7,489	4,069	271,634	87,940	47,778
07	繊維製品	1,113	483	318	1,426	619	408	358	155	102	2,897	1,258	828
08	木材・木製品・家具	1,394	532	297	4,593	1,752	977	558	213	119	6,545	2,496	1,393
09	パルプ・紙・紙加工品	0	0	0	3,963	1,451	655	527	193	87	4,490	1,644	742
10	化学製品	56	22	7	531	211	65	244	97	30	831	330	102
11	石油・石炭製品	0	0	0	4,436	1,639	377	838	310	71	5,274	1,949	448
12	プラスチック・ゴム製品	182	74	53	1,476	600	430	265	107	77	1,923	781	560
13	窯業・土石製品	1,722	792	341	4,291	1,974	850	562	259	111	6,575	3,025	1,303
14	鉄鋼・非鉄金属	0	0	0	4	2	0	1	0	0	5	2	1
15	金属製品	0	0	0	4,067	1,888	1,326	618	287	201	4,685	2,175	1,527
16	はん用機械	0	0	0	428	187	119	44	19	12	472	207	131
17	生産用機械	0	0	0	2,808	1,309	683	249	116	61	3,058	1,425	743
18	業務用機械	0	0	0	95	43	24	20	9	5	116	52	29
19	電子部品	0	0	0	96	40	14	17	7	2	113	47	17
20	電気機械・情報・通信機器	0	0	0	238	91	56	520	198	123	757	289	179
21	輸送機械	0	0	0	543	153	75	280	79	39	823	232	114
22	その他の製造工業製品	57,384	25,566	15,312	15,984	7,121	4,265	3,417	1,522	912	76,785	34,210	20,489
23	建築	0	0	0	19,913	9,131	6,771	4,136	1,896	1,406	24,048	11,027	8,177
24	土木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	電力・ガス・熱供給	0	0	0	109,075	47,540	9,383	28,469	12,408	2,449	137,543	59,948	11,832
26	水道	0	0	0	37,972	23,613	4,767	6,134	3,815	770	44,106	27,428	5,537
27	廃棄物処理	0	0	0	54,918	40,143	32,436	4,723	3,452	2,789	59,641	43,595	35,226
28	商業	329,732	230,926	137,272	305,678	214,080	127,258	150,171	105,172	62,518	785,581	550,179	327,048
29	金融・保険	1,727	1,155	574	69,254	46,323	23,012	81,187	54,306	26,978	152,168	101,784	50,564
30	不動産	0	0	0	92,209	78,773	14,271	206,566	176,466	31,969	298,776	255,239	46,239
31	運輸・郵便	683,774	332,289	215,490	214,919	104,442	67,731	48,565	23,601	15,305	947,258	460,332	298,526
32	情報通信	7,815	4,133	1,206	118,813	62,830	18,330	55,061	29,117	8,495	181,688	96,080	28,030
33	公務	0	0	0	7,221	5,180	2,648	2,515	1,804	922	9,736	6,984	3,570
34	教育・研究	54,606	43,260	29,586	2,926	2,318	1,586	23,958	18,980	12,981	81,490	64,559	44,153
35	医療・福祉	0	0	0	1,207	756	621	59,788	37,450	30,773	60,995	38,206	31,394
36	他に分類されない会員制団体	1,068	608	520	23,016	13,106	11,206	13,117	7,469	6,386	37,201	21,183	18,112
37	対事業所サービス	313,111	190,690	109,671	274,734	167,318	96,229	49,051	29,873	17,181	636,896	387,880	223,081
38	対個人サービス	3,652,983	1,901,769	1,025,272	45,236	23,550	12,696	111,913	58,263	31,410	3,810,133	1,983,582	1,069,379
39	事務用品	0	0	0	11,317	0	0	1,479	0	0	12,796	0	0
40	分類不明	0	0	0	28,946	11,965	5,509	3,805	1,573	724	32,750	13,538	6,233
	計	5,294,914	2,810,258	1,574,475	1,727,047	978,565	499,112	896,200	583,809	262,405	7,918,162	4,372,631	2,335,992

図表－14 「第70回よさこい祭り」の部門別経済波及効果（図表－13をグラフ化）

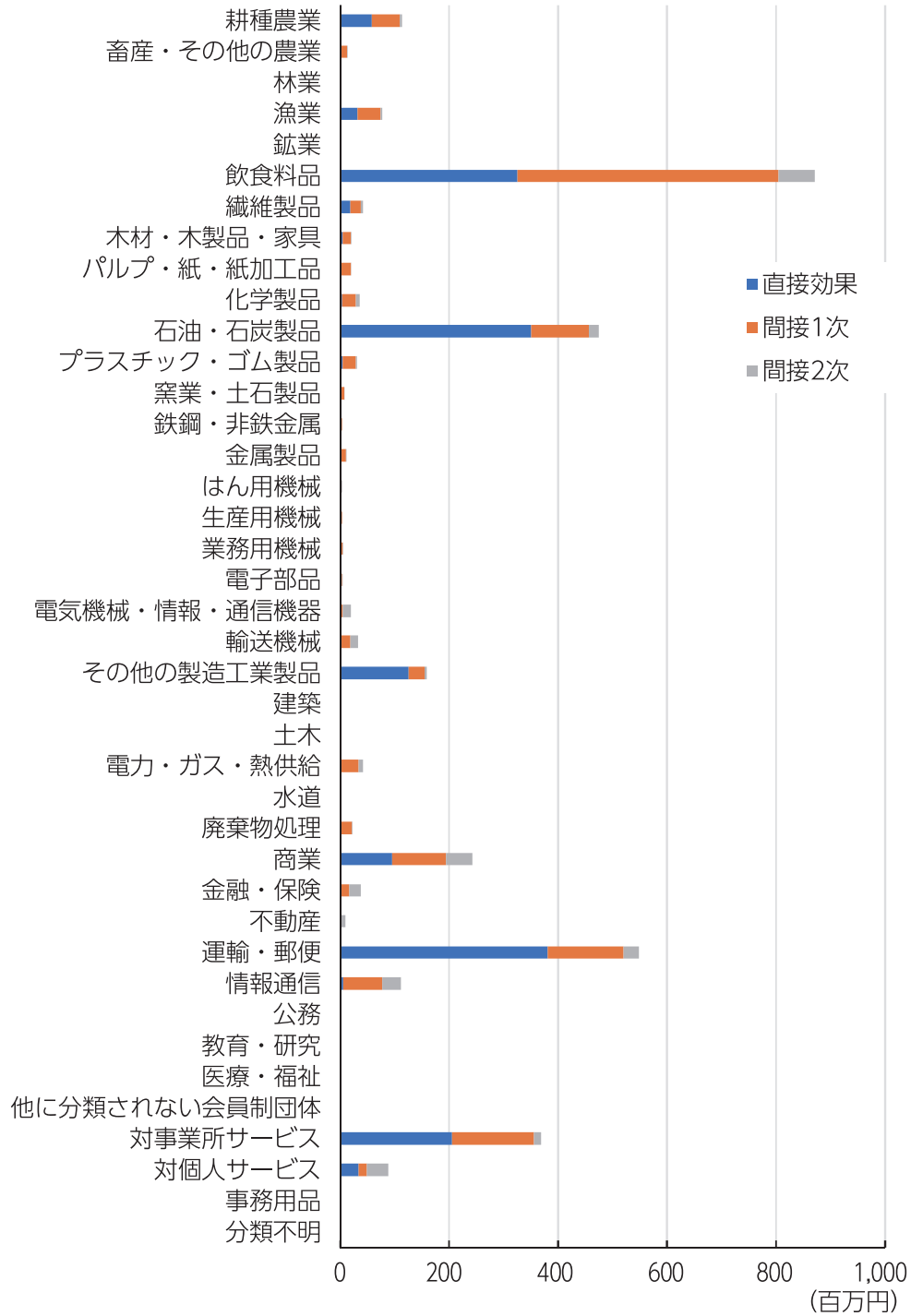


図表－15 「第70回よさこい祭り」の部門別移輸入額

(単位：千円)

部門		直接効果		間接一次効果		間接二次効果		総合効果	
		生産誘発額	移輸入額	生産誘発額	移輸入額	生産誘発額	移輸入額	生産誘発額	移輸入額
01	耕種農業	37,561	57,861	36,767	51,638	4,240	4,310	78,568	113,809
02	畜産・その他の農業	0	0	26,257	12,319	3,197	1,229	29,453	13,547
03	林業	0	0	5,685	890	693	90	6,377	981
04	漁業	44,799	31,567	52,357	42,239	5,543	3,458	102,698	77,263
05	鉱業	0	0	1,034	639	240	77	1,275	716
06	飲食料品	105,888	324,809	142,613	479,361	23,134	66,469	271,634	870,640
07	繊維製品	1,113	18,674	1,426	19,085	358	3,879	2,897	41,638
08	木材・木製品・家具	1,394	5,157	4,593	15,189	558	581	6,545	20,928
09	パルプ・紙・紙加工品	0	0	3,963	19,233	527	704	4,490	19,938
10	化学製品	56	3,619	531	24,681	244	6,740	831	35,040
11	石油・石炭製品	0	350,017	4,436	106,555	838	17,923	5,274	474,495
12	プラスチック・ゴム製品	182	4,500	1,476	23,658	265	3,046	1,923	31,205
13	窯業・土石製品	1,722	2,074	4,291	4,903	562	412	6,575	7,389
14	鉄鋼・非鉄金属	0	0	4	3,184	1	440	5	3,624
15	金属製品	0	0	4,067	10,482	618	939	4,685	11,421
16	はん用機械	0	0	428	2,524	44	63	472	2,587
17	生産用機械	0	0	2,808	3,194	249	104	3,058	3,298
18	業務用機械	0	0	95	5,134	20	349	116	5,483
19	電子部品	0	0	96	3,777	17	538	113	4,315
20	電気機械・情報・通信機器	0	0	238	4,261	520	14,971	757	19,232
21	輸送機械	0	0	543	18,640	280	13,907	823	32,547
22	その他の製造工業製品	57,384	125,757	15,984	29,673	3,417	4,106	76,785	159,535
23	建築	0	0	19,913	0	4,136	0	24,048	0
24	土木	0	0	0	0	0	0	0	0
25	電力・ガス・熱供給	0	0	109,075	33,875	28,469	7,916	137,543	41,791
26	水道	0	0	37,972	0	6,134	0	44,106	0
27	廃棄物処理	0	0	54,918	21,747	4,723	895	59,641	22,642
28	商業	329,732	95,749	305,678	97,922	150,171	48,660	785,581	242,331
29	金融・保険	1,727	444	69,254	16,184	81,187	20,915	152,168	37,544
30	不動産	0	0	92,209	2,644	206,566	7,066	298,776	9,710
31	運輸・郵便	683,774	380,372	214,919	140,229	48,565	27,331	947,258	547,932
32	情報通信	7,815	5,220	118,813	71,578	55,061	34,332	181,688	111,130
33	公務	0	0	7,221	0	2,515	0	9,736	0
34	教育・研究	54,606	0	2,926	164	23,958	1,845	81,490	2,009
35	医療・福祉	0	0	1,207	8	59,788	522	60,995	530
36	他に分類されない会員制団体	1,068	0	23,016	566	13,117	336	37,201	902
37	対事業所サービス	313,111	205,653	274,734	149,615	49,051	12,947	636,896	368,215
38	対個人サービス	3,652,983	33,326	45,236	15,734	111,913	39,722	3,810,133	88,782
39	事務用品	0	0	11,317	0	1,479	0	12,796	0
40	分類不明	0	0	28,946	996	3,805	61	32,750	1,057
合計		5,294,914	1,644,801	1,727,047	1,432,521	896,200	346,885	7,918,162	3,424,207

図表－16 「第70回よさこい祭り」の部門別移輸入額（図表－15をグラフ化）



（6）部門別の移輸入額

今回の経済波及効果の推計結果のうち、移輸入額の合計は34億24百万円と推計された。その内訳となる産業40部門別を見ると、最も移輸入額が大きくなった部門は飲食料品（8億71百万円）となり、次いで運輸・郵便（5億48百万円）、石油・石炭製品（4億74百万円）、対事業所サービス（3億68百万円）、商業（2億42百万円）と続いた（図表－15,16）。

7. 経済波及効果の主な上昇要因

「よさこい祭り」をはじめ、観光消費による経済波及効果をさらに大きくしていくためには、以下のようにその上昇要因を細分化し、それぞれについて方策を考えていくが必要になる（図表-17）。

図表-17 経済波及効果の主な上昇要因

	経済波及効果	増加額
「第70回よさこい祭り」 経済波及効果推計結果	79億 1,816万円	—
① 宿泊単価が10%上昇	80億 535万円	8,719万円
② 宿泊客の平均宿泊日数が10%増加	81億 669万円	1億 8,853万円
③ 観光客の滞在期間中消費額が10%増加 (飲食・土産・観光施設入場料・各種体験 など)	85億 5,092万円	6億 3,276万円
④ 県内自給率が10%上昇	83億 8,395万円	4億 6,579万円

① 宿泊単価を上げる

高知県下の旅館やホテルで構成される「高知県旅館ホテル生活衛生同業組合」によれば、2023年8月の延べ宿泊人数はコロナ禍前の2019年8月比で97.8%となった。お盆前後の台風の影響で予約キャンセルが相次いだにも関わらず、NHK連続テレビ小説「らんまん」の効果もありコロナ禍前の水準まで回復した一方、人手不足により宿泊者の受入を制限したり、食事付プランの予約を休止したりと、機会損失も発生していた。今後人手不足を解消し、食事付プランをはじめとした宿泊単価の高いプランでの受入を増やすことで、宿泊単価を上げることが必要となる。仮に平均宿泊単価が1割増加した場合、経済波及効果として87百万円の増加が期待できる。

② 宿泊日数を増加させる

宿泊単価を増加させると同時に、もう1泊してもらうような取り組みも必要となる。仮に宿泊者の平均宿泊日数が1割増加した場合、経済波及効果として1億89百万円の増加が期待できる。

③ 観光客の滞在期間中消費額を増やす

日帰り・宿泊に関わらず、観光客が滞在期間中に如何に消費をしてもらうかも重要となる。魅力的な食事や土産の開発、観光地の魅力向上はもちろん、決済手段の提供（クレジットカード、電子決済）や荷物預り・発送サービスなどにより、買い物によるストレスを軽減することが必要と言える。仮に観光客の滞在期間中消費額が1割増加した場合、経済波及効果として6億33百万円の増加が期待できる。

④ 県内自給率を高める

「平成27年高知県産業連関表」のうち、業種別の県内自給率を見ると、土木・建築といった域内市場を中心とした産業は県内自給率が1.0となり、県外から財・サービスの移輸入は不要であるため、経済波及効果が相対的に大きくなる。一方、車のガソリン消費などを含む石油・石炭製品や、鉄鋼・非鉄金属などについては、その原料を域外から移輸入せざるを得ないため、経済波及効果が相対的に小さくなる。

全ての財・サービスを県内で賄うことは不可能かつ非効率ではあるが、出来る限り県内自給率を高めることで、経済循環が起こりやすくなり、経済波及効果が大きくなる。仮に高知県下全ての産業において、県内自給率が1割上昇すると、経済波及効果として4億66百万円の増加が期待できる。

以上

第163回 高知県内企業の景況調査

—2023年12月—

Summary

- ◆ 今期（10～12月期）自社業況の総合判断 BSI は、全産業で+4 となり、前期+3 から1 ポイント上昇した。全体的に緩やかに回復している。
- ◆ 全業種で売上高 BSI は+4 となった。一方、経常利益 BSI は-7 となり、原材料・エネルギーや人件費などの高騰部分を販売価格に十分転嫁できていない状況がみられる。
- ◆ 製造業において、設備投資に慎重な姿勢がみられる。
- ◆ 来期（2024年1～3月期）の総合判断 BSI は、全産業で-3。製造業-6、非製造業-2 となり、物価高や海外経済の減速懸念など、今後の経済状況が不透明な状況にあり、景気は足踏み状態となる見込み。
- ◆ 10月1日からスタートした「インボイス制度」について、県内各企業とも概ね順調に対応できているものの、約9割の企業が今後の懸念事項があると回答した。

調査要綱

高知県の景気動向を観測するため、県内企業経営者へのアンケート方式による景況調査を年4回（2・5・8・11月）実施している。 ※1992年調査開始（年2回）、2000年から（年4回）変更

調査目的 高知県内企業の景況感把握
調査対象 高知県内に事業所を置く法人164/256社（回答率64.0%）
調査方法 郵送、電子メール
調査事項 自社業況の総合判断、売上高、経常利益、設備投資、在庫、雇用など
調査時期 2023年11月1日～12月5日

業種別回答企業数

業種	回答企業数	構成比
製造業		
飲食料品	14	8.5
木材・木製品	6	3.7
製紙	4	2.4
機械	11	6.7
窯業・土石	4	2.4
その他製造	8	4.9
製造業計	47	28.7
非製造業		
スーパー	6	3.7
衣料品販売	3	1.8
飲食料品販売	8	4.9
自動車販売	6	3.7
建築資材販売	6	3.7
石油販売	5	3.0
その他販売	19	11.6
運輸・倉庫	8	4.9
宿泊・飲食	11	6.7
情報通信	3	1.8
不動産・物品賃貸	4	2.4
医療・介護・福祉	10	6.1
その他サービス	8	4.9
建設	20	12.2
非製造業計	117	71.3
合計	164	100.0

資本金規模別回答企業数

規模	回答企業数	構成比
10百万円未満	24	14.9
10百万円以上～30百万円未満	61	37.9
30百万円以上～50百万円未満	48	29.8
50百万円以上～100百万円未満	18	11.2
100百万円以上	10	6.2
合計	161	100.0

※その他、資本金に該当しない企業（社会福祉法人など）が3社あり、上記、回答企業数に含まれていない。

従業員規模別回答企業数

規模	回答企業数	構成比
5人未満	8	4.9
5人～19人	42	25.6
20人～49人	45	27.4
50人～99人	32	19.5
100人～199人	18	11.0
200人以上	19	11.6
合計	164	100.0

注：小数点第2位以下を四捨五入し、端数処理するため、合計が100%にならない場合がある。

BSIについて

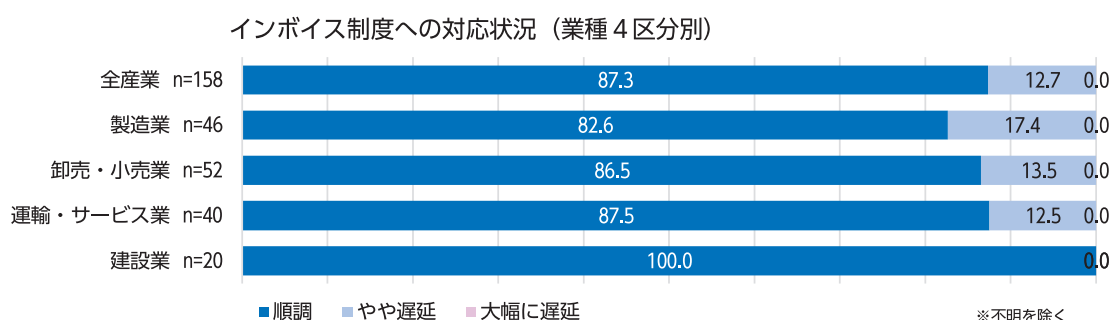
Business Survey Index（ビジネスサーベイインデックス）の略称。
好転した企業と悪化した企業の割合の差で企業経営者のマインドから景気判断をみる指標である。前回調査と比較し、BSIがプラスであれば、その項目は「良い、好転、上昇」とみることができ、逆にマイナスであれば「悪い、悪化、下降」と判断できる。

本年10月1日から、消費税の8%と10%の複数税率に対応した消費税の仕入税額控除を受けるために、インボイス（適格請求書）の発行・保管が義務化された。

今回、スタートしたばかりのインボイス制度について、対応状況や事務作業時間の変化、今後の懸念事項について尋ねた。

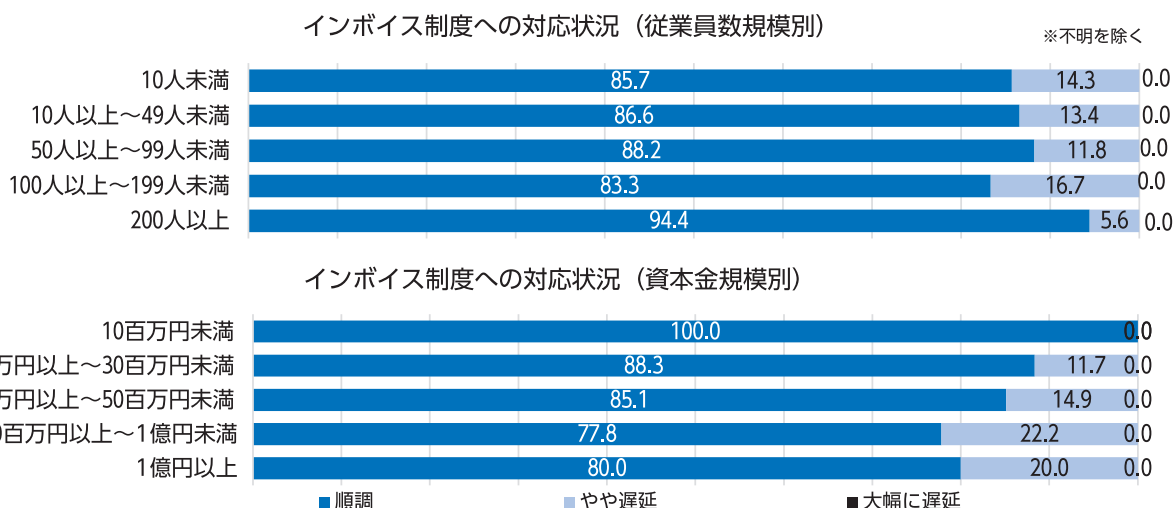
1. 対応状況

「順調に進んでいる」「やや遅れている」「大幅に遅れている」の3択で回答を求めた。



◆全産業で、「順調に進んでいる」と回答した企業の割合は87.3%であった。「やや遅れている」の割合は12.7%となった。「大幅に遅れている」と回答した企業の割合は0%となった。概ね順調に対応できている。

◆建設業においては、全企業が「順調に進んでいる」と回答した。



◆対応状況を従業員数でみると、200人以上の企業の割合が94.4%で最も高かったが、従業員規模数では、大きな特徴はみられない。

◆資本金でみても、10百万円未満が100%で最も高い。

経済動向

国内経済

月例経済報告 2023年12月

景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

項目	判断	主な判断理由
個人消費	持ち直し	10月の「商業動態統計」では、小売業販売額は前月比1.7%減。新車販売台数及び家電販売は、おおむね横ばい。旅行は、持ち直している。外食は、緩やかに増加している。
設備投資	持ち直しに足踏み※	「日銀短観」(12月調査)によると、全産業の2023年度設備投資計画は、増加が見込まれている。また、2023年7～9月期の「法人企業統計季報」によると、設備投資額は前期比1.4%増。業種別では、製造業は同0.4%減、非製造業は同2.4%増。
住宅投資	弱含み※	持家の着工は、このところ弱含んでいる。貸家の着工は、横ばい。分譲住宅の着工は、弱含んでいる。
公共投資	底堅く推移※	9月の公共工事出来高は前月比0.7%増、11月の公共工事請負金額は同7.0%増。先行きについては、補正予算の効果もあって、底堅く推移していくことが見込まれる。
輸出	このところ持ち直しの動き	アジア向けの輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。アメリカ向けの輸出は、持ち直している。EU及びその他地域向けの輸出は、おおむね横ばい。
輸入	おおむね横ばい	アジア及びアメリカからの輸入は、おおむね横ばい。EUからの輸入は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。
生産活動	持ち直しの兆し	10月の鉱工業生産指数は、前月比1.3%増。輸送機械は底堅い動き。生産用機械はおおむね横ばい。電子部品・デバイスは振れを伴いながら持ち直しの動きがみられる。
企業収益	総じてみれば改善	「法人企業統計季報」(7～9月調査)によると、経常利益は、前年同期比20.1%増。規模別にみると、大・中堅企業が同18.3%増、中小企業が同26.8%増。
業況判断	改善※	「日銀短観」(12月調査)によると、「最近」の業況は、「全規模全産業」で上昇した。「景気ウォッチャー調査(11月調査)」の企業動向関連DIでは、現状判断、先行き判断ともに低下した。
雇用情勢	改善の動き	「日銀短観」(12月調査)によると、企業の雇用人員判断DIは、-35と9月調査(-33)から不足超幅が拡大。
物価	このところ上昇テンポが緩やか※	消費者物価の基調を「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」で見ると、政策等による特殊要因を除くベースで、このところ上昇テンポが緩やかになっている。
企業倒産	増加	11月の企業倒産(負債1,000万円以上の法的整理による倒産)の件数は773件(前年同月比35.6%増)と、19カ月連続で前年同月を上回った。業種を細かくみると、「小売業」の「飲食店」が2023年1～11月累計で703件となり、過去最多の2020年通年(780件)に迫る件数となった。「運輸・通信業」では、「道路貨物運送」が31件(前年同月比107%増)となり、「2024年問題」を前に増加が目立った。

上記の※は、前回掲載時から判断の変更があった箇所。

- ◆設備投資：「持ち直し」 → 「持ち直しに足踏み」
- ◆住宅投資：「このところ弱含み」 → 「弱含み」
- ◆公共投資：「堅調に推移」 → 「底堅く推移」
- ◆業況判断：「持ち直し」 → 「改善」
- ◆物価：「上昇」 → 「このところ上昇テンポが緩やか」

資料：内閣府「月例経済報告(2023年12月)」より当研究所作成

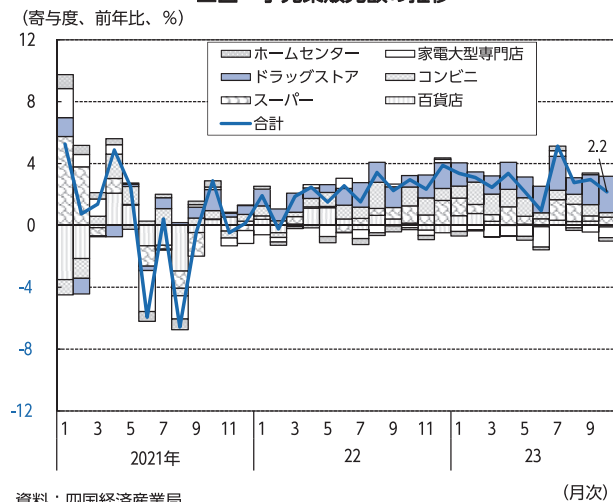


概要 (2023年10月)

一部に弱い動きがあるものの、持ち直しの動きがみられる。

項目	判断	主な判断理由
個人消費	持ち直し	10月の小売業販売額全体では、前年同月比2.2%増と20カ月連続で増加。ドラッグストア（同12.6%増）が全体を牽引している。また、10月の乗用車・軽乗用車の新規登録・届出台数は、半導体不足などの影響が和らぎ、同14.9%増と10カ月連続で前年同月を上回った。
設備投資	前年度を下回る見込み	全国企業短期経済観測調査（全産業）によると、2023年度は前年度を下回る見込み（前年度比1.1%減）。
住宅投資	弱含み	10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比25.6%増となり、5カ月ぶりに前年を上回った。
公共投資	増加の動き	10月の公共工事請負金額は前年同月比23.2%増となり、4カ月ぶりに前年を上回った。
生産活動	弱含みで推移	10月の鉱工業生産指数（季節調整値、2015年＝100）は88.5、前月比0.6%減。3ヵ月後方移動平均値をみると、8月87.7→9月89.2→10月90.1と増加傾向。
雇用情勢	弱い動き	10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.30倍と、4カ月連続で同水準。一般新規求人数（新規学卒、パートタイムを除く）は、卸・小売業などが前年を上回ったものの、宿泊・飲食サービス業、運輸・郵便業などが前年を下回り、全体で前年同月比2.9%減。
貸出残高	増加	10月の国内銀行貸出残高は前年同月比3.0%増と、引き続き増加基調で推移している。
企業倒産	落ち着いた動き	10月の企業倒産件数は18件（前年同月比9件増）。企業負債総額は192.0億円（同186.7億円増）となり、5カ月連続で前年を上回ったが、落ち着いた動きが続いている。

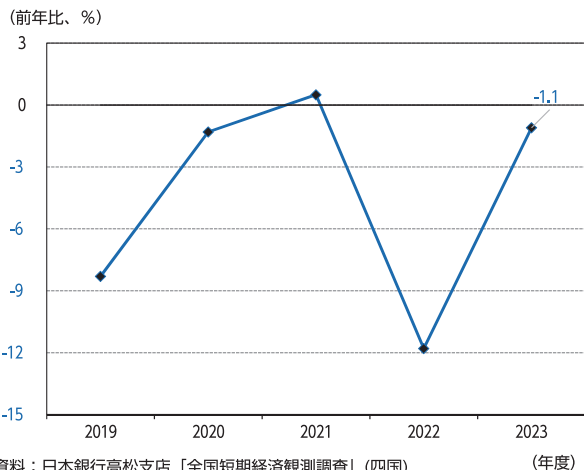
四国 小売業販売額の推移



四国 乗用車・軽乗用車の新規登録・届出台数の推移



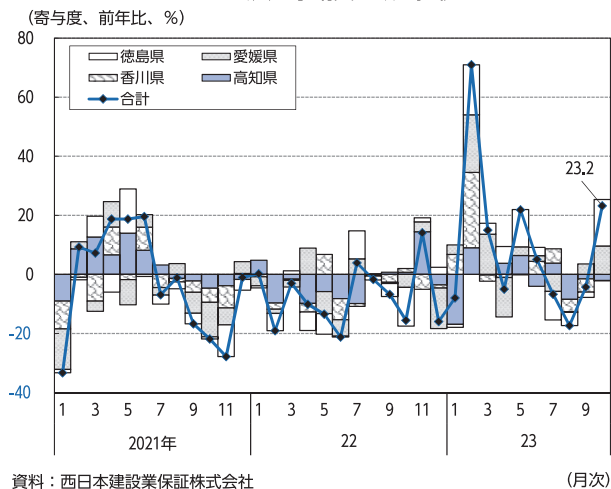
四国 【全産業】設備投資動向の推移



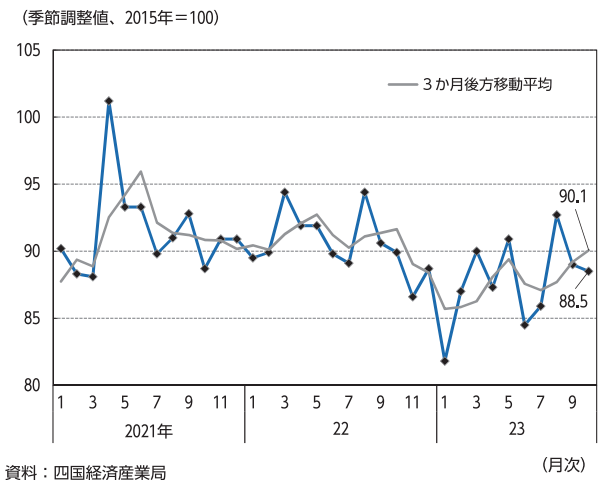
四国 新設住宅戸数の推移



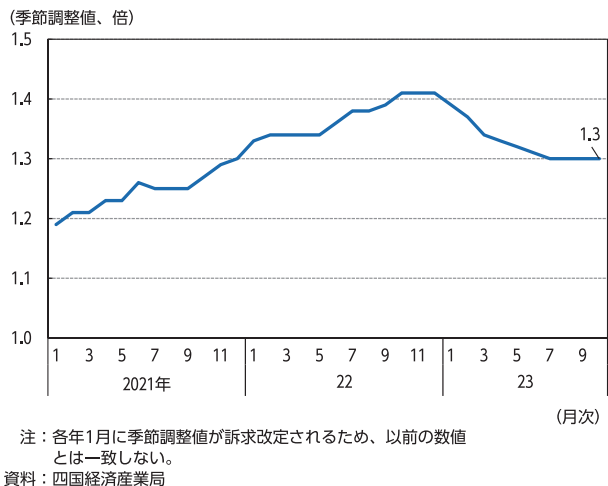
四国 公共工事請負金額の推移



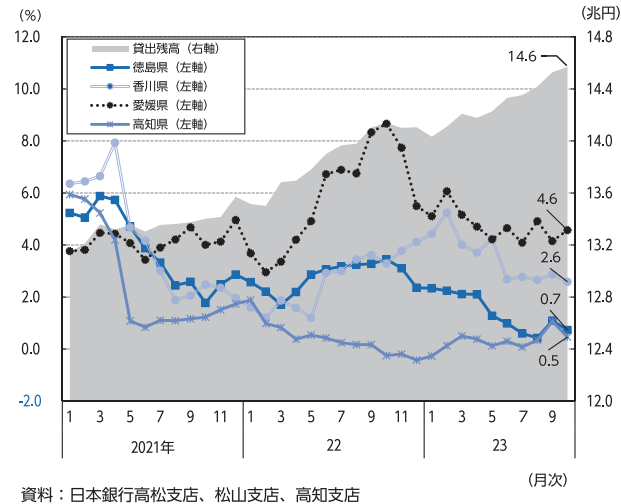
四国 鉱工業生産指数の推移



四国 有効求人倍率の推移



四国 国内銀行貸出残高の推移と各県の増減率





概要 (2023年10月)

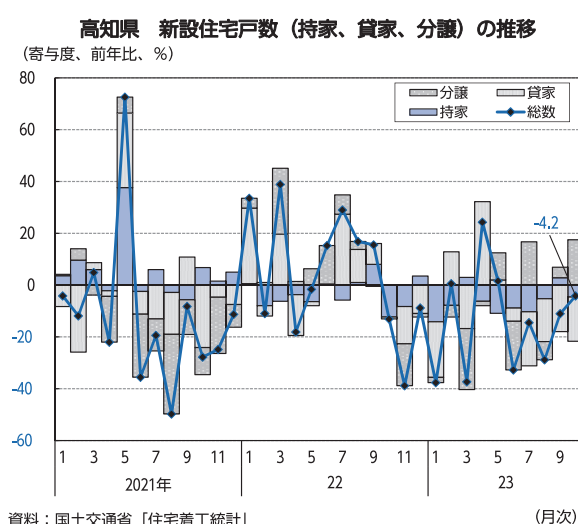
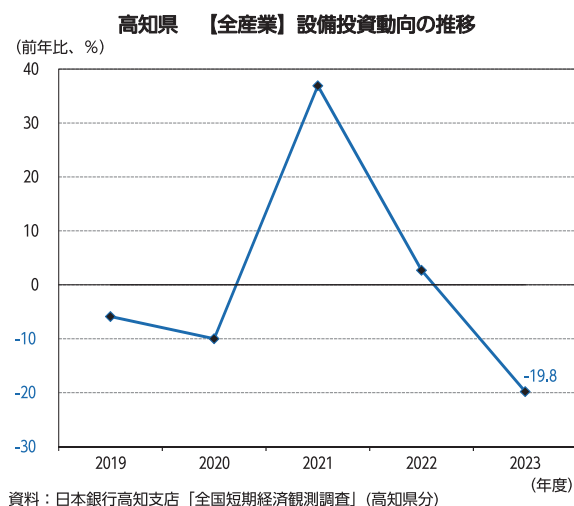
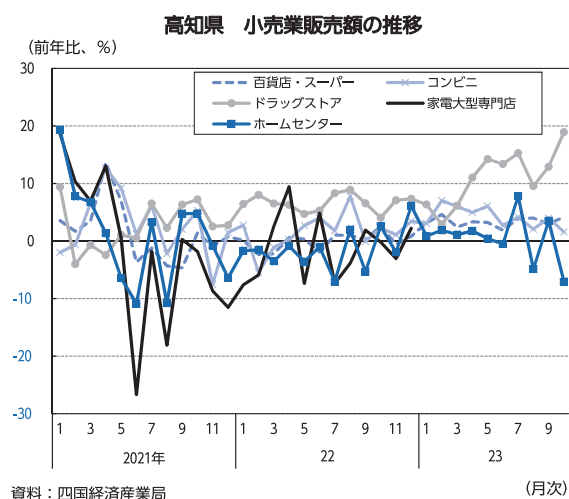
一部で弱めの動きがみられるものの、個人消費などを中心に持ち直している。

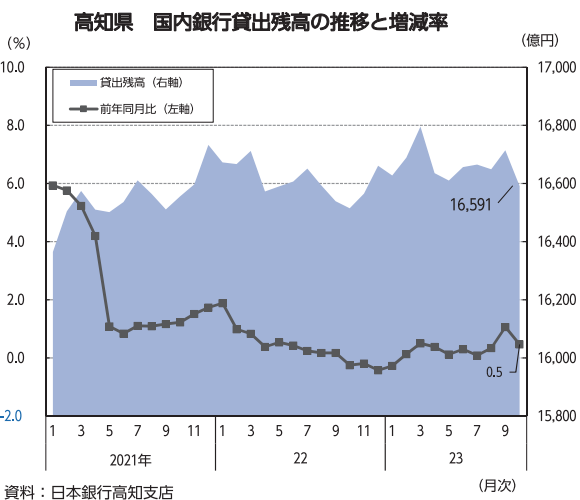
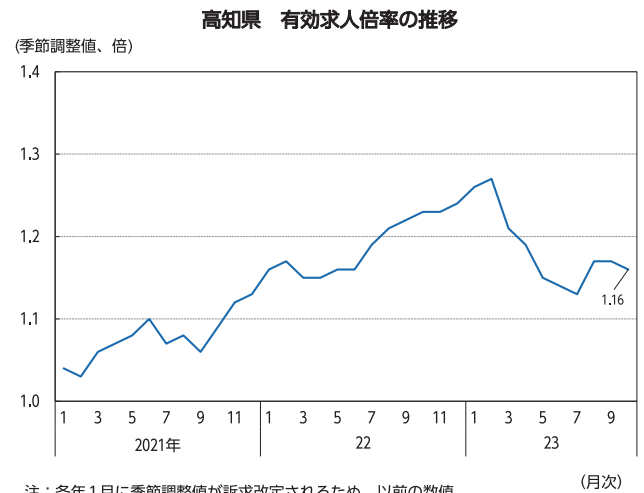
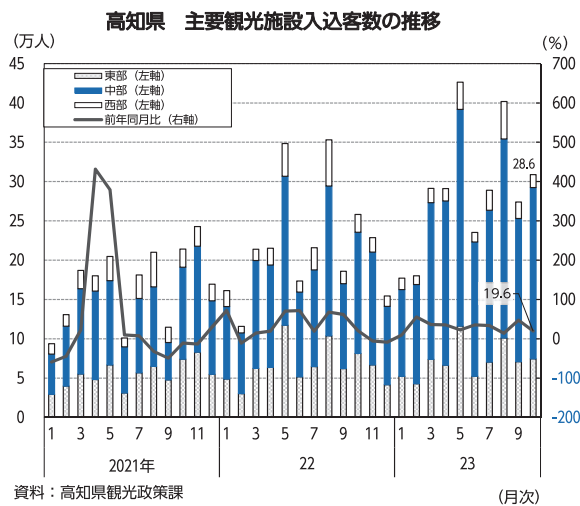
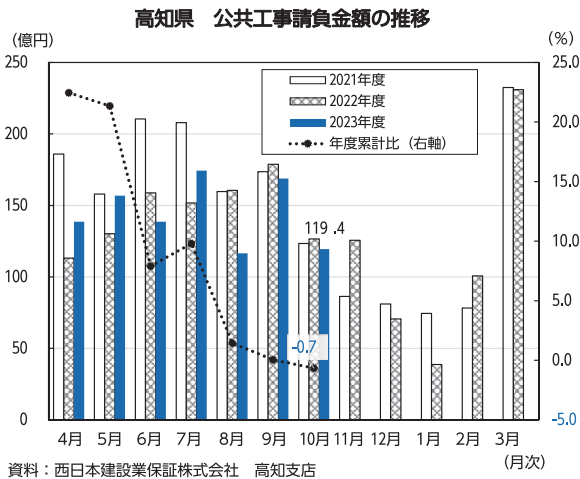
2023年10月概況

- ◆ 個人消費は、小売業や観光などを主体に、着実に持ち直している。
- ◆ 設備投資は、持ち直しの動きに一服感がみられる。住宅投資は減少し、公共投資は弱めの動きとなっている。また、製造業の生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移している。機械や食料品、窯業・土石製品以外の業種では、弱めの動きや減少となっている。
- ◆ 労働需給は、改善の動きに一服感がみられるものの、引き続き締まった状態にある。
- ◆ 先行きについては、持ち直しの動きが続くとみられるが、コスト上昇と価格転嫁の動向や、人手不足、海外の景気動向などの影響を受ける可能性がある。

項目	判断	主な判断理由
個人消費	着実に持ち直し	10月の小売業販売額は、前年同月比増加。ドラッグストアは同18.9%増、百貨店・スーパーは同4.2%増となり、全体を牽引している。また、10月の乗用車・軽乗用車の登録・届出台数は、同17.3%増と10カ月連続して前年を上回り、緩やかに持ち直している。
設備投資	持ち直しの動きに一服感	全国短期経済観測調査（全産業）によると、2023年度は非製造業を中心に前年度の大型投資の反動がみられるが（前年度比19.8%減）、維持更新目的やBCP対応などの投資が底堅く実施される予定。
住宅投資	減少	10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.2%減。内訳をみると、持家は同9.5%減、貸家は同44.6%減、分譲住宅は同131.3%増。2023年度累計でも、同11.0%減。
公共投資	弱めの動き	10月の公共投資請負金額は、全体では前年同月比5.6%減。2023年度累計でも同0.7%減。
生産活動	一部で弱めの動きがみられるものの、全体では横ばい圏内で推移	9月の鉱工業生産指数（季節調整値、2015年＝100）は、79.5（前月比8.1%減）となった。機械は、全体では緩やかに持ち直し。食料品は、全体では横ばい圏内で推移。窯業・土石製品は、全体としては下げ止まっている。その他の多くの業種では、弱めの動きや減少となっている。

項目	判断	主な判断理由
観光	増加	行動制限がなく、NHKの連続テレビ小説「らんまん」の効果もあり、10月の県内主要観光施設への入込客数が前年同月比19.6%増、主要旅館・ホテルの宿泊客数が同6.4%増。
雇用情勢	改善の動きに一服感がみられるもの、引き続き引き締まった状態	10月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.16倍で、前月比0.01ポイント低下し、3ヵ月ぶりに減少となった。10月の一般新規求人数（新規の、引き続き引き締まった状態）全体では前年同月比2.0%増。
貸出残高	増加	10月の国内銀行貸出残高は、前年同月比0.5%増。
企業倒産	低めの水準で推移	10月の企業倒産（負債額1,000万円以上）の件数は1件（前年同月比2件減）、企業負債総額は10百万円（同53百万円減）となった。件数、負債総額ともに低めの水準で推移している。





高知県 企業倒産件数と負債総額の推移

(件、百万円)

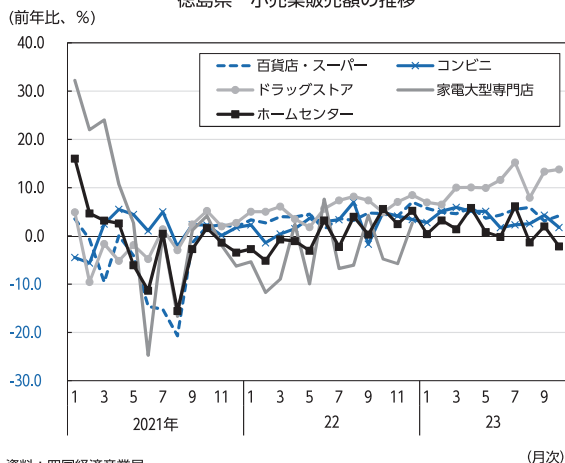
年	月	件数	負債 総額		年	月	件数	負債 総額	
				前年比 (%)					前年比 (%)
2022	1	0	0	-100.0	2023	1	2	656	100.0
	2	2	30	-78.6		2	0	0	-100.0
	3	1	17	-97.8		3	0	0	-100.0
	4	0	0	-100.0		4	2	739	100.0
	5	1	120	57.9		5	2	146	21.7
	6	0	0	-100.0		6	2	450	100.0
	7	0	0	-		7	2	60	100.0
	8	1	30	-66.7		8	2	2,850	9400.0
	9	1	40	-99.3		9	1	60	50.0
	10	3	63	-87.1		10	1	10	-84.1
	11	3	582	-		11			
	12	1	80	-		12			

資料：東京商工リサーチ

景気は、持ち直している。

項目	判断	主な判断理由
個人消費	着実に持ち直し	10月の小売業販売額は、前年同月比増加。ドラッグストアは同13.8%増、百貨店・スーパーは同4.2%増となり、全体を牽引している。また、10月の乗用車新車登録台数は、同16.7%増と10カ月連続で前年同月上回った。
設備投資	堅調	全国短期経済観測調査（全産業）によると、2023年度は、前年度を1.7%上回る計画となっている。
住宅投資	横ばい圏内の動き	10月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比110.7%増。内訳は、持家同10.2%減、貸家385.7%増、分譲314.8%増。
公共投資	持ち直し	10月の公共投資請負金額は、前年同月比91.4%増。2023年度累計は7.4%増。
生産活動	横ばい圏内の動き	9月の鉱工業生産指数（季節調整値、2015＝100）は102.4、前月比2.8%減。3カ月後方移動平均値は102.3。
雇用情勢	緩やかに改善	10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍となり、前月比0.01ポイント低下した。一般新規求人数（日雇い・新規学卒を除く）全体では、前年同月比8.4%減。
貸出残高	前年を上回る	10月の国内銀行貸出残高は前年同月比0.7%増と、引き続き堅調に推移している。
企業倒産	低水準	10月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は4件（前年同月比3件増）、企業負債総額は2.9億円（同2.3億円増）。

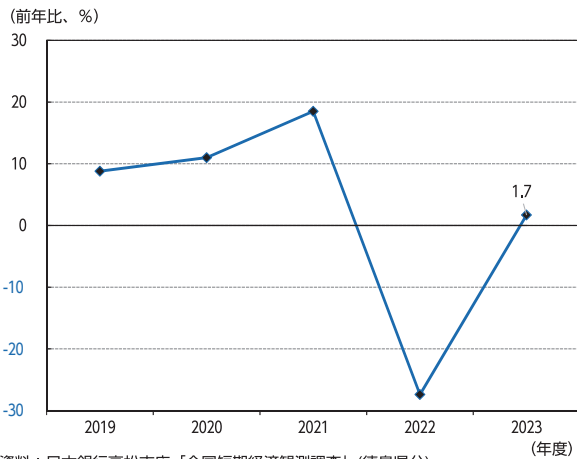
徳島県 小売業販売額の推移



徳島県 乗用車の新規登録・届出台数の推移

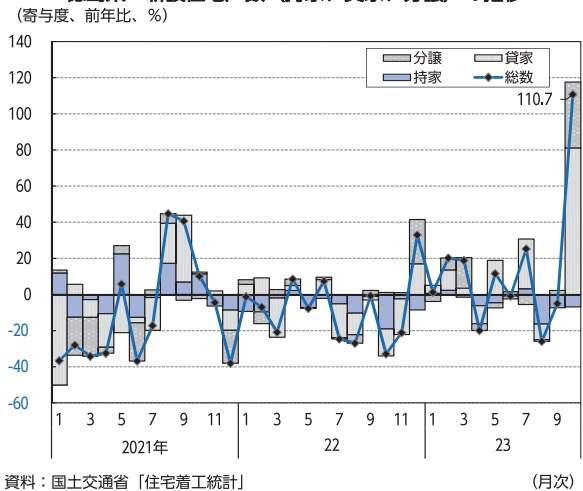


徳島県 【全産業】設備投資動向の推移



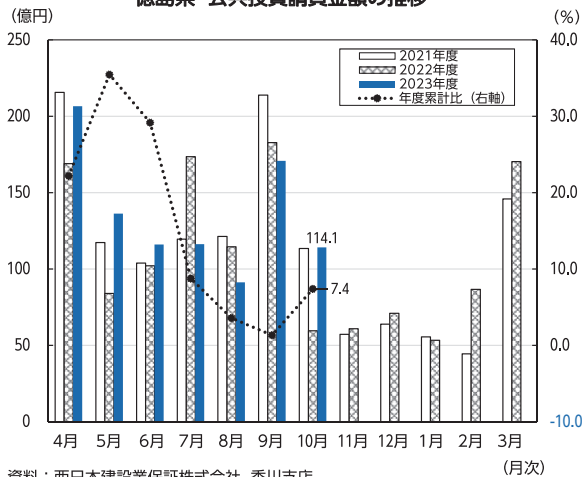
資料：日本銀行高松支店「全国短期経済観測調査」(徳島県分)

徳島県 新設住宅戸数（持家、貸家、分譲）の推移



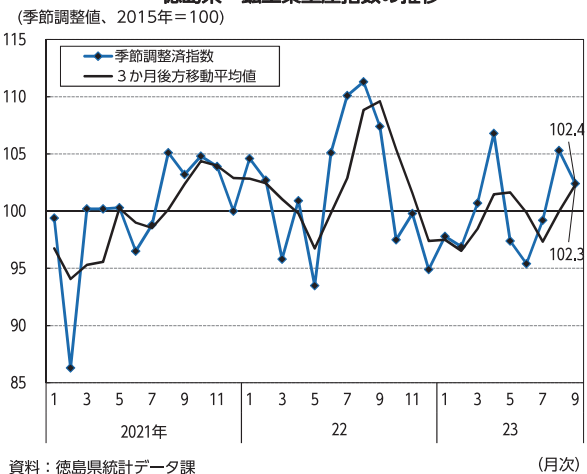
資料：国土交通省「住宅着工統計」

徳島県 公共投資請負金額の推移



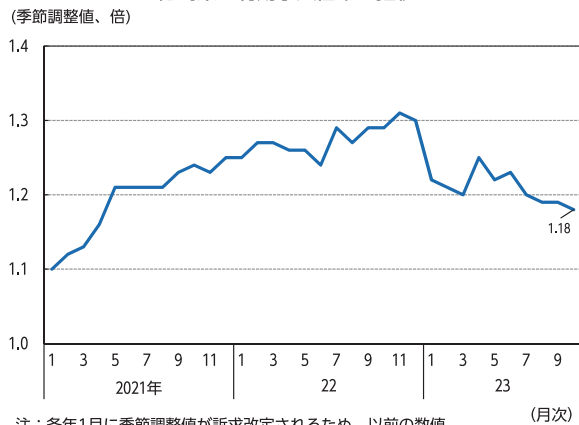
資料：西日本建設業保証株式会社 香川支店

徳島県 鉱工業生産指数の推移



資料：徳島県統計データ課

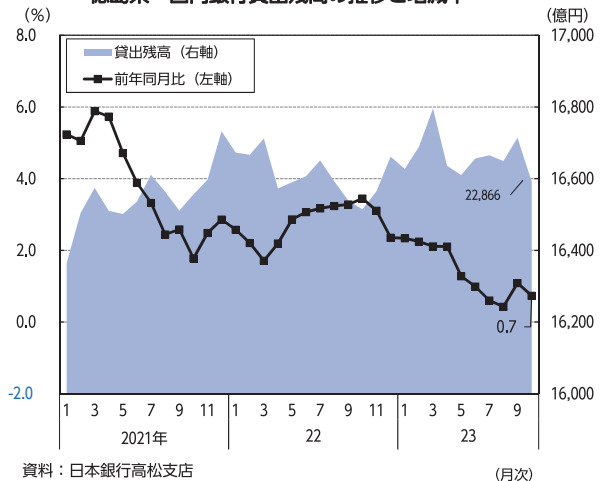
徳島県 有効求人倍率の推移



注：各年1月に季節調整値が訴求改定されるため、以前の数値とは一致しない。

資料：厚生労働省「一般職業紹介状況」

徳島県 国内銀行貸出残高の推移と増減率



資料：日本銀行高松支店

百貨店・スーパー販売状況

(単位：億円、%)

	高 知			徳 島			香 川			愛 媛			四 国			全 国		
	前年比		既存店	前年比		既存店	前年比		既存店	前年比		既存店	前年比		既存店	前年比		既存店
2012年	731.9	101.4	X	674.9	104.3	X	1,549.6	98.1	98.0	2,046.3	100.2	99.8	5,002.7	100.3	98.8	195,916	100.0	99.2
13年	729.5	99.7	99.7	683.9	101.3	101.1	1,605.9	98.6	99.3	2,062.1	99.5	97.7	5,081.3	99.5	98.9	197,774	100.6	99.6
14年	723.6	99.2	99.2	727.5	106.4	99.2	1,607.9	95.8	101.7	2,108.1	101.1	98.1	5,167.1	99.8	99.5	201,946	101.7	100.9
15年	719.6	99.5	99.5	747.9	102.8	100.1	1,553.5	99.6	101.0	2,095.7	100.0	99.5	5,116.3	100.2	100.0	200,487	101.3	100.4
16年	715.2	99.4	99.4	747.3	99.9	97.1	1,524.8	101.0	100.3	2,100.8	100.7	99.1	5,088.5	100.5	99.2	195,948	99.6	99.1
17年	706.0	98.7	98.7	781.3	104.6	97.2	1,502.4	98.5	98.8	2,086.9	99.3	99.5	5,073.5	99.8	98.8	196,025	100.0	100.0
18年	707.8	100.3	99.0	811.4	103.8	98.7	1,515.3	100.8	98.2	2,070.7	99.2	99.9	5,105.3	100.6	99.1	196,044	100.0	99.5
19年	697.4	98.5	97.5	820.8	101.2	97.1	1,517.1	100.1	97.8	2,057.1	99.3	97.7	5,092.3	99.7	97.6	193,962	98.9	98.7
20年	725.3	97.6	95.5	916.6	99.3	98.3	1,741.8	98.8	97.1	2,066.4	97.8	95.9	5,450.0	98.3	96.6	195,050	94.6	93.4
21年	733.1	99.9	99.8	866.7	103.6	101.0	1,767.4	98.8	99.3	2,044.6	98.4	97.8	5,411.8	97.8	99.1	199,071	100.9	100.6
22年	733.4	100.0	100.0	901.2	96.0	99.0	1,786.1	101.1	101.0	2,085.8	102.0	101.6	5,506.5	101.8	101.1	206,607	103.8	103.2
21年4月	57.2	113.6	113.6	68.1	100.1	105.9	138.7	107.5	108.0	155.1	108.7	109.1	419.0	107.5	108.9	15,525	115.7	115.5
5	60.8	106.9	106.9	72.3	95.9	101.3	144.7	104.1	104.6	164.9	104.7	105.0	442.8	103.2	104.5	15,410	106.0	105.7
6	59.0	96.3	96.3	70.0	85.4	99.0	144.5	96.5	96.8	169.0	94.6	94.8	442.5	93.9	96.3	16,421	97.8	97.7
7	62.2	98.8	98.8	73.3	84.8	101.9	155.7	101.2	102.2	177.4	97.4	97.5	468.6	96.5	99.9	17,137	101.3	101.3
8	61.3	95.7	95.7	76.4	79.3	79.3	148.9	94.9	96.0	164.2	91.3	91.3	450.7	90.7	94.9	16,078	95.2	95.3
9	57.5	95.3	95.3	69.6	98.6	97.4	139.5	96.0	96.3	156.3	93.7	93.7	422.9	95.5	94.8	15,564	99.3	98.7
10	60.0	101.4	101.4	72.5	101.9	100.7	145.8	99.6	99.6	176.4	101.5	100.1	454.6	100.9	100.3	16,518	101.3	100.9
11	60.4	99.1	99.1	71.1	102.3	99.4	147.8	99.1	99.6	174.6	101.2	100.7	453.8	100.4	99.9	17,078	101.8	101.5
12	79.7	100.7	100.7	88.5	101.9	99.5	183.2	97.9	98.4	220.1	100.4	99.9	571.5	99.9	99.5	21,392	101.7	101.4
22年1月	60.5	100.2	100.2	73.9	103.3	100.0	146.7	101.5	101.5	172.3	102.0	101.4	453.5	101.8	101.0	16,767	103.0	102.6
2	52.3	97.6	97.6	65.6	102.7	98.8	129.0	100.7	100.7	147.6	99.1	98.4	394.5	100.0	99.1	15,038	100.5	100.1
3	59.9	97.8	97.8	72.3	104.0	100.3	146.9	100.7	100.7	172.5	102.0	101.4	451.6	101.3	100.5	17,047	102.1	101.5
4	57.5	100.6	100.6	70.7	103.9	102.4	138.7	100.0	100.0	163.8	105.6	104.9	430.7	102.8	102.3	16,238	104.6	104.0
5	61.0	100.3	100.3	75.6	104.5	101.3	147.0	101.6	101.6	172.1	104.4	103.7	455.7	102.9	102.2	16,807	109.1	108.5
6	57.9	98.3	98.3	71.0	101.4	98.6	144.5	100.0	100.0	168.9	100.0	99.4	442.3	100.0	99.3	16,731	101.9	101.3
7	62.8	101.1	101.1	75.9	103.6	100.7	153.2	98.4	98.4	178.6	100.7	100.0	470.5	100.4	99.7	17,704	103.3	102.8
8	61.9	100.9	100.9	78.9	103.2	100.1	151.4	101.7	101.7	170.3	103.7	103.0	462.4	102.6	101.8	16,776	104.3	103.8
9	57.6	100.2	100.2	72.9	104.8	101.5	142.6	102.2	102.2	161.3	103.3	103.3	434.6	102.8	102.2	16,304	104.8	104.1
10	61.6	102.6	102.6	75.8	104.6	101.6	148.7	102.0	101.7	181.8	103.1	103.1	467.8	102.9	102.3	17,326	104.9	104.1
11	60.0	99.4	99.4	74.0	104.1	101.3	148.4	100.5	100.3	175.1	100.3	100.3	457.5	100.8	100.3	17,590	103.0	102.4
12	80.3	100.8	100.8	94.7	107.0	104.4	188.9	103.1	102.9	221.4	100.6	100.6	585.4	102.4	102.0	22,266	104.1	103.6
23年1月	62.5	103.2	103.2	78.1	105.7	102.9	152.3	103.8	103.4	179.1	103.9	104.3	471.9	104.1	103.6	15,881	105.5	104.9
2	54.7	104.6	104.6	68.8	104.9	102.2	132.8	102.9	102.6	150.7	102.2	103.3	407.4	103.3	103.2	15,620	105.2	104.7
3	61.4	102.4	102.4	75.7	104.6	101.9	148.4	101.0	101.6	173.6	100.6	101.9	458.7	101.6	101.8	17,669	103.6	103.2
4	59.5	103.3	103.3	74.8	105.8	103.1	142.6	102.8	103.4	166.0	101.3	102.6	442.9	102.8	103.0	17,095	105.2	104.8
5	54.7	104.6	104.6	78.3	103.7	102.3	148.0	100.7	101.1	172.8	102.2	101.8	462.1	101.4	101.8	17,437	103.7	103.4
6	61.4	102.4	102.4	74.0	104.3	103.0	145.3	100.5	100.9	167.7	100.6	100.5	445.9	100.8	101.2	17,461	104.3	104.1
7	59.5	103.3	103.3	80.1	105.5	104.2	159.3	104.0	103.7	184.6	101.3	104.0	489.2	104.0	103.9	18,741	105.9	105.5
8	54.7	104.6	104.6	78.3	103.7	102.3	148.0	100.7	101.1	172.8	102.2	101.8	462.1	101.4	101.8	17,437	103.7	103.4
9	61.4	102.4	102.4	74.0	104.3	103.0	145.3	100.5	100.9	167.7	100.6	100.5	445.9	100.8	101.2	17,461	104.3	104.1
10	64.2	104.2	104.2	79.0	104.2	102.7	151.2	101.7	101.0	178.2	98.1	98.8	472.6	101.0	100.9	18,741	105.9	105.5

注) X は個別データ秘匿のため公表できない箇所。
参照・・・「四国地域の経済動向」四国経済産業局

(資料) 四国経済産業局

乗用車新車登録・届出台数(軽乗用車含む)

(単位：台、%)

	高 知		徳 島		香 川		愛 媛		四 国		全 国	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
2012年	28,851	136.4	30,936	132.8	42,169	135.0	47,094	134.2	149,050	134.5	4,572,313	129.7
13年	27,925	96.8	28,847	93.2	40,672	96.4	45,299	96.2	145,248	97.4	4,562,184	99.8
14年	29,564	102.5	30,621	99.0	44,081	104.5	50,639	107.5	152,205	104.8	4,669,463	103.0
15年	25,794	87.2	26,206	85.6	37,515	85.1	41,713	82.4	131,228	86.2	4,215,798	90.3
16年	23,930	92.8	25,578	97.6	36,111	96.3	41,610	99.8	127,409	97.1	4,146,404	98.4
17年	25,878	108.1	26,777	104.7	38,502	106.6	44,474	106.9	135,630	106.5	4,386,314	105.8
18年	30,070	116.2	31,789	118.7	45,909	119.2	53,259	119.8	136,430	100.6	4,391,089	100.1
19年	25,576	85.1	27,312	85.9	38,640	84.2	44,797	84.1	136,325	99.9	4,301,012	97.9
20年	22,452	87.8	24,679	90.4	34,518	89.3	40,819	91.1	121,753	89.3	3,809,894	88.6
21年	21,222	94.5	22,624	91.7	32,346	93.7	37,369	91.5	113,561	93.3	3,675,650	96.5
22年	19,306	91.0	20,374	90.1	30,910	95.6	35,658	95.4	106,248	93.6	3,448,272	93.8
21年4月	1,671	135.3	1,916	89.0	2,596	121.5	2,959	128.9	9,142	128.3	288,390	131.5
5	1,438	165.5	1,558	140.4	2,148	138.5	2,654	144.3	7,798	145.2	261,521	150.0
6	1,559	85.8	1,765	97.9	2,524	91.9	2,924	95.1	8,772	92.9	296,623	104.5
7	1,712	91.4	1,857	85.3	2,690	92.4	2,977	87.7	9,236	89.2	309,460	93.6
8	1,528	98.3	1,595	95.5	2,291	94.6	2,680	89.8	8,094	93.8	263,599	97.5
9	1,402	59.4	1,409	59.6	2,160	61.8	2,520	62.7	7,491	61.2	256,963	65.7
10	1,311	66.3	1,313	65.6	1,992	67.5	2,269	62.4	6,885	65.2	230,495	67.8
11	1,607	82.1	1,840	92.3	2,718	89.5	3,073	83.3	9,238	86.7	291,664	86.6
12	1,784	90.4	1,782	91.4	2,565	86.4	2,905	83.0	9,036	87.0	280,137	88.9
22年1月	1,644	86.8	1,609	74.4	2,597	86.5	2,923	85.8	8,773	83.8	272,442	83.9
2	1,601	70.9	1,695	70.7	2,634	78.0	2,994	77.4	8,924	75.0	289,845	80.1
3	2,320	75.9	2,380	78.5	3,579	83.6	4,126	80.3	12,405	80.0	426,391	83.5
4	1,427	85.4	1,560	81.4	2,240	86.3	2,626	88.7	7,853	85.9	244,287	84.7
5	1,191	82.8	1,317	84.5	1,860	86.6	2,217	83.5	6,585	84.4	211,854	81.0
6	1,433	91.9	1,627	92.2	2,349	93.1	2,687	91.9	8,096	92.3	268,075	90.4
7	1,685	98.4	1,708	92.0	2,585	96.1	3,122	104.9	9,100	98.5	288,144	93.1
8	1,272	83.2	1,367	85.7	2,037	88.9	2,369	88.4	7,045	87.0	234,143	88.8
9	1,827	130.3	1,816	128.9	2,874	133.1	3,299	130.9	9,816	131.0	324,899	126.4
10	1,622	123.7	1,693	128.9	2,691	135.1	3,045	134.2	9,051	131.5	295,807	128.3
11	1,748	108.8	1,833	99.6	2,802	103.1	3,192	103.9	9,575	103.6	308,058	105.6
12	1,536	86.1	1,769	99.3	2,662	103.8	3,058	105.3	9,025	99.9	284,327	101.5
23年1月	1,778	108.2	2,117	131.6	3,065	118.0	3,481	119.1	10,441	119.0	319,866	117.4
2	2,080	129.9	2,280	134.5	3,398	129.0	3,625	121.1	11,383	127.6	356,279	122.9
3	2,681	115.6	2,815	118.3	4,086	114.2	4,761	115.4	14,343	115.6	477,937	112.1
4	1,654	115.9	1,843	118.1	2,563	114.4	3,225	122.8	9,285	118.2	289,524	118.5
5	1,376	115.5	1,660	126.0	2,361	126.9	2,903	130.9	8,300	126.0	272,034	128.4
6	1,716	119.7	2,021	124.2	2,868	122.1	3,453	128.5	10,058	124.2	332,020	123.9
7	1,757	104.3	2,033	119.0	2,856	110.5	3,333	106.8	9,979	109.7	320,993	111.4
8	1,481	116.4	1,668	122.0	2,490	122.2	2,944	124.3	8,583	121.8	280,533	119.8
9	1,996	109.3	2,070	114.0	3,183	110.8	3,606	109.3	10,855	110.6	363,391	111.8
10	1,902	117.3	1,976	116.7	3,016	112.1	3,509	115.2	10,403	114.9	334,474	113.8

新設住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	高 知		徳 島		香 川		愛 媛		四 国		全 国	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
2012年	2,761	98.4	3,616	107.1	4,976	90.3	7,535	103.8	18,888	99.7	882,797	105.8
13年	3,612	130.8	4,516	124.9	7,217	145.0	8,613	114.3	23,958	126.8	980,025	111.0
14年	2,706	98.0	4,023	111.3	5,899	118.5	6,937	92.1	19,565	81.7	892,261	91.0
15年	2,734	101.0	3,802	94.5	6,412	108.7	6,817	98.3	19,765	101.0	909,302	102.0
16年	3,098	113.3	4,506	118.5	6,898	107.6	7,278	106.8	21,780	110.2	967,705	106.4
17年	3,326	107.4	4,859	107.8	7,063	102.4	7,696	105.7	22,944	105.3	964,641	99.7
18年	3,288	106.1	4,335	96.2	5,913	85.7	7,178	98.6	20,714	95.1	942,370	97.4
19年	3,310	100.7	4,122	95.1	5,680	96.1	7,756	108.1	20,868	100.7	905,123	96.0
20年	3,437	103.8	3,554	86.2	4,747	83.6	8,049	103.8	19,787	94.8	814,963	90.0
21年	2,790	81.2	3,044	85.6	5,718	120.5	8,069	100.2	19,621	99.2	856,484	105.1
22年	2,881	103.3	2,718	89.3	5,198	90.9	6,843	84.8	17,640	89.9	859,435	100.3
21年4月	217	73.3	223	67.8	602	156.8	453	78.0	1,495	94.0	74,521	107.7
5	253	170.9	236	106.3	449	138.6	642	100.2	1,580	118.4	70,178	109.9
6	237	64.4	230	63.0	427	143.8	868	107.4	1,762	95.9	76,312	107.3
7	242	80.1	290	83.1	650	149.8	643	107.2	1,825	108.3	77,182	109.9
8	196	50.0	316	151.2	520	146.5	781	132.4	1,813	117.3	74,303	107.5
9	213	91.0	263	139.9	457	111.2	1,025	155.5	1,958	131.2	73,178	104.3
10	276	72.3	349	110.8	439	127.2	696	87.5	1,760	95.8	78,004	110.4
11	291	75.0	287	96.3	641	122.8	725	105.1	1,944	102.4	73,414	103.7
12	284	88.5	203	62.8	377	82.0	502	58.6	1,366	69.7	68,393	104.2
22年1月	247	133.5	158	99.4	308	85.8	352	71.7	1,065	89.2	59,690	102.1
2	181	89.2	217	93.9	398	97.5	444	85.4	1,240	91.0	64,614	106.3
3	270	139.9	201	78.2	444	114.1	546	75.5	1,461	93.5	76,120	106.0
4	177	81.6	241	108.1	542	90.0	715	157.8	1,675	112.0	76,295	102.4
5	249	98.4	217	91.9	364	81.1	623	97.0	1,453	92.0	67,193	95.7
6	272	114.8	249	108.3	561	131.4	778	89.6	1,860	105.6	74,596	97.8
7	312	128.9	219	75.5	521	80.2	486	75.6	1,538	84.3	72,981	94.6
8	229	116.8	222	70.3	493	94.8	615	78.7	1,559	86.0	77,731	104.6
9	247	116.0	269	102.3	502	109.8	661	64.5	1,679	85.8	74,004	101.1
10	242	87.7	234	67.0	378	86.1	630	90.5	1,484	84.3	76,590	98.2
11	196	67.4	224	78.0	373	58.2	454	62.6	1,247	64.1	72,372	98.6
12	259	91.2	267	131.5	314	83.3	539	107.4	1,379	101.0	67,249	98.3
23年1月	156	63.2	159	100.6	571	185.4	410	116.5	1,296	121.7	63,604	106.6
2	180	99.4	257	118.4	407	102.3	504	113.5	1,348	108.7	64,426	99.7
3	169	62.6	240	119.4	408	91.9	429	78.6	1,246	85.3	73,693	96.8
4	246	139.0	197	81.7	303	55.9	488	68.3	1,234	73.7	67,250	88.1
5	253	101.6	243	112.0	529	145.3	486	78.0	1,511	104.0	69,561	103.5
6	185	68.0	245	98.4	423	75.4	589	75.7	1,442	77.5	71,015	95.2
7	271	86.9	281	128.3	413	79.3	552	113.6	1,517	98.6	68,151	93.4
8	182	79.5	332	149.5	555	112.6	488	79.3	1,557	99.9	70,399	90.6
9	218	88.3	248	92.2	432	86.1	521	78.8	1,419	84.5	68,941	93.2
10	232	95.9	492	210.3	427	113.0	713	113.2	1,864	125.6	71,769	93.7

参照・・・「四国地域の経済動向」四国経済産業局

(資料) 四国経済産業局

公共工事保証請負高

4 県 (単位：百万円、%) 四国、全国 (単位：億円、%)

	高 知		徳 島		香 川		愛 媛		四 国		全 国	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
2012年	131,847	114.0	119,723	111.6	98,111	122.8	140,285	111.7	4,900	114.3	125,423	114.3
13年	152,659	115.8	139,184	116.3	101,092	103.0	162,638	115.9	5,556	129.7	141,492	128.9
14年	152,652	100.0	129,687	93.2	99,849	98.8	155,401	95.6	5,376	96.8	147,942	104.6
15年	150,377	98.5	120,025	92.5	104,308	104.5	166,209	107.0	5,408	100.6	139,365	94.2
16年	159,429	106.0	121,547	101.3	113,963	109.3	153,254	92.2	5,482	101.4	142,743	102.4
17年	152,972	95.9	117,801	96.9	120,870	106.1	136,465	89.0	5,281	96.3	143,691	100.7
18年	156,516	102.3	128,363	109.0	94,111	77.9	136,998	100.4	5,160	97.7	139,209	96.9
19年	182,597	116.7	127,270	99.1	97,887	104.0	190,313	138.9	5,981	115.9	148,383	106.6
20年	163,577	89.6	144,112	113.2	110,002	112.4	181,801	95.5	5,994	100.2	153,968	103.8
21年	180,257	110.2	138,300	96.0	98,432	89.5	167,525	92.1	5,845	97.5	142,865	92.8
22年	160,115	88.8	126,321	91.3	89,957	91.4	162,152	96.8	5,385	92.1	136,174	95.3
21年4月	18,592	128.7	21,565	85.1	14,533	168.8	19,625	137.8	743	118.7	20,940	90.8
5	15,794	155.3	11,725	205.7	7,138	90.9	13,079	79.2	477	118.6	14,133	106.3
6	21,048	125.8	10,390	96.7	13,656	143.2	17,996	114.4	631	119.5	16,508	100.7
7	20,797	110.2	11,958	86.4	10,862	79.9	13,397	89.7	570	93.1	13,898	90.1
8	15,973	95.6	12,137	90.6	8,644	93.2	16,417	113.7	532	98.8	11,575	89.0
9	17,360	90.1	21,389	87.6	10,660	76.8	21,072	77.8	705	83.3	12,682	84.9
10	12,348	83.4	11,342	96.8	5,302	68.1	11,927	66.1	409	78.1	10,767	80.2
11	8,638	85.6	5,715	58.5	5,362	65.4	7,441	77.7	272	72.2	7,534	85.5
12	8,115	94.0	6,390	85.5	4,596	102.2	10,522	112.9	296	98.9	6,859	93.4
22年1月	7,445	115.6	5,550	97.3	2,971	94.7	5,114	88.8	211	100.3	5,209	82.3
2	7,824	72.3	4,445	71.2	4,179	86.8	8,474	95.0	249	80.9	5,897	90.9
3	23,252	95.5	14,590	106.2	9,422	96.9	19,811	92.7	671	97.0	14,499	95.7
4	11,314	60.9	16,901	78.4	12,337	84.9	26,258	133.8	668	89.9	20,105	96.0
5	13,026	82.5	8,395	71.6	10,364	145.2	9,522	72.8	413	86.5	12,672	89.7
6	15,878	75.4	10,212	98.3	9,120	66.8	14,493	80.6	497	78.8	16,519	100.1
7	15,169	72.9	17,356	145.1	10,324	95.1	16,393	122.4	592	103.9	12,924	93.0
8	16,059	100.5	11,451	94.3	8,386	97.0	16,369	99.7	523	98.3	11,562	99.9
9	17,873	103.0	18,277	85.5	8,790	82.5	20,766	98.5	657	93.2	12,985	102.4
10	12,655	102.5	5,958	52.5	5,804	109.5	10,136	85.0	346	84.4	10,558	98.1
11	12,562	145.4	6,087	106.5	3,992	74.4	8,346	112.2	310	114.2	6,961	92.4
12	7,058	87.0	7,099	111.1	4,268	92.9	6,470	61.5	249	84.1	6,283	91.6
23年1月	3,879	52.1	5,333	96.1	4,397	148.0	5,794	113.3	194	91.9	5,088	97.7
2	10,070	128.7	8,660	194.8	10,546	252.4	13,335	157.4	426	171.0	8,978	152.2
3	23,099	99.3	17,032	116.7	8,015	85.1	28,962	146.2	771	115.0	15,301	105.5
4	13,856	122.5	20,651	122.2	11,652	94.4	17,334	66.0	635	95.0	20,480	101.9
5	15,680	120.4	13,616	162.2	10,309	99.5	10,726	112.6	503	121.8	14,163	111.8
6	13,861	87.3	11,600	113.6	11,334	124.3	15,440	106.5	522	105.1	18,151	109.9
7	17,427	114.9	11,620	67.0	13,214	128.0	12,986	79.2	553	93.4	13,802	106.8
8	11,652	72.6	9,121	79.7	6,150	73.3	16,298	99.6	432	82.7	11,147	96.4
9	16,882	94.5	17,074	93.4	5,853	66.6	23,087	111.2	629	95.8	12,995	100.1
10	11,942	94.4	11,406	191.4	5,782	99.6	13,451	132.7	426	123.2	10,933	103.6

(資料) 西日本建設業保証(株)、四国経済産業局

企業倒産

4 県（単位：百万円、％） 四国、全国（単位：億円、％）

	高 知			徳 島			香 川			愛 媛			四 国			全 国		
	件数	負債総額	前年比	件数	負債総額	前年比	件数	負債総額	前年比	件数	負債総額	前年比	件数	負債総額	前年比	件数	負債総額	前年比
2012年	50	6,337	68.7	61	11,648	149.1	70	16,481	82.9	92	28,578	100.7	273	630	96.6	12,124	38,346	106.7
13年	50	10,781	170.1	33	6,683	57.4	50	9,272	56.3	59	12,378	43.3	192	391	62.0	10,855	27,823	72.6
14年	45	6,788	107.1	42	4,797	41.2	45	9,909	60.1	67	28,738	100.6	199	502	71.6	9,731	18,741	67.4
15年	36	8,432	124.2	45	11,109	231.6	51	7,203	72.7	48	9,732	33.9	180	364	72.5	8,812	21,124	112.7
16年	31	4,920	58.3	32	4,972	44.8	40	6,729	93.4	43	16,247	167	146	329	90.3	8,446	20,063	95.0
17年	29	5,565	113.1	34	5,789	116.4	36	6,346	94.3	40	11,449	70.5	139	291	88.6	8,405	31,676	157.9
18年	38	9,986	179.4	33	4,491	77.6	49	13,075	206.0	44	8,266	72.2	164	358	122.9	8,235	14,584	46.9
19年	38	3,142	31.5	43	6,402	142.6	63	10,474	80.1	48	9,511	115.1	192	295	82.5	8,384	14,238	97.6
20年	31	3,521	112.1	50	10,953	171.1	37	6,711	64.1	40	8,712	91.6	158	300	101.7	7,773	12,200	85.7
21年	17	7,331	208.2	27	6,214	56.7	39	10,434	155.5	46	14,002	160.7	129	380	126.6	6,030	11,507	94.3
22年	13	962	13.1	32	7,342	118.2	27	4,434	42.5	37	5,094	36.4	109	178	46.8	6,428	23,315	202.6
21年4月	1	100	-90.0	2	623	159.6	6	434	-80.4	5	7,144	445.3	14	83	72.9	477	841	-42.0
5	1	76	171.4	3	80	-94.1	2	22	-92.8	3	597	442.7	9	8	-56.9	472	1,687	107.5
6	1	35	-53.9	4	312	-88.7	3	244	-88.5	6	790	-50.2	14	14	-79.1	541	686	-46.8
7	0	0	-	5	1,497	251.4	4	268	143.6	2	513	-51.4	11	23	43.8	476	715	-29.1
8	2	90	95.7	2	90	-50.0	4	1,573	-	8	2,714	13.1	16	45	71.8	466	910	25.7
9	4	5,567	300.5	3	550	40.7	2	721	621.0	3	330	334.2	12	72	258.4	505	909	28.5
10	1	490	74.4	0	0	-100.0	2	350	-71.8	5	555	131.3	8	14	-44.2	525	985	25.8
11	0	0	-100.0	2	1,770	96.7	3	4,851	-	1	60	-46.4	6	67	464.3	510	941	-7.8
12	0	0	-	1	10	-	4	1,040	2,500.0	3	400	135.3	8	15	590.5	504	932	-32.7
22年1月	0	0	-	1	50	-91.7	1	170	325.0	2	225	-57.5	4	4	-69.1	452	669	-17.8
2	2	30	-78.6	6	1,091	-	4	550	111.5	3	405	12.5	15	21	176.3	459	710	5.2
3	1	17	-97.6	4	2,445	258.5	3	1,087	72.3	2	290	2,800.0	10	38	87.0	593	1,697	20.0
4	0	0	-100.0	2	83	-86.7	0	0	-100.0	4	562	-92.1	6	6	-92.2	486	813	-3.4
5	1	120	57.9	3	1,077	1,246.3	3	1,056	4,700.0	7	794	33.0	14	30	293.2	524	874	-48.2
6	0	0	-100.0	1	10	-96.8	1	10	-95.9	1	284	-64.1	3	3	-78.0	546	12,326	1,697.8
7	0	0	-	3	941	-37.1	2	140	-47.8	4	572	11.5	9	17	-27.4	494	846	18.3
8	1	30	-66.7	4	261	190.0	1	70	-95.5	1	80	-97.1	7	4	-90.1	492	1,114	22.5
9	1	40	-99.3	2	91	-83.5	1	108	-85.0	3	686	107.9	7	9	-87.1	599	1,449	59.4
10	3	63	-87.1	1	67	-	2	48	-86.3	3	352	-36.6	9	5	-62.0	596	870	-11.6
11	3	582	-	4	1,216	-31.3	2	315	-93.5	1	117	95.0	10	22	-66.6	581	1,156	22.8
12	1	80	-	1	10	0.0	7	880	-15.4	6	727	81.8	15	17	17.0	606	792	-15.0
23年1月	2	656	-	5	489	878.0	5	720	323.5	2	229	1.8	14	21	423.5	570	565	-15.5
2	0	0	-100.0	2	300	-72.5	8	1,568	185.1	2	110	-72.8	12	20	-5.8	577	966	36.0
3	0	0	-100.0	2	80	-96.7	4	573	-47.3	3	357	23.1	9	10	-73.4	809	1,474	-13.1
4	2	739	100.0	3	140	68.7	8	2,766	100.0	3	118	-79.0	16	38	483.4	610	2,039	150.9
5	2	146	21.7	5	605	-43.8	4	96	-90.9	3	390	-50.9	14	12	-59.4	706	2,787	219.0
6	2	450	-	2	65	550.0	5	655	6,450.0	8	254	-10.6	17	14	368.4	770	1,509	-87.8
7	2	60	100.0	4	336	-64.3	3	279	100.0	6	405	-29.2	15	11	-34.7	758	1,621	91.7
8	2	2,850	9,400.0	2	40	-84.7	2	26	-62.9	7	538	572.5	13	35	683.2	760	1,084	-2.7
9	2	450	-	2	65	-28.6	5	655	506.5	8	254	-63.0	17	14	53.9	770	1,509	4.2
10	2	60	100.0	4	336	401.5	3	279	100.0	6	405	15.1	15	11	103.8	758	1,621	86.4

（資料）東京商工リサーチ、四国経済産業局

長期金利1%超容認 日銀 再度緩和修正

10月31日、日本銀行は、金融政策決定会合で、大規模な金融緩和策の柱の一つとして低い水準に抑えてきた長期金利について、上限としてきた1.0%を一定程度上回ることを容認した。想定を上回る金利の上昇が続き、7月に上限を1.0%に引き上げたが、再度の修正を迫られた。金利を無理に抑え込むことで、債券市場がゆがみ、円安・ドル高の加速などの悪影響を防ぐ狙いがあるとみられる。（11月1日）

GDP下方修正年2.9%減 7～9月 物価高・個人消費低迷

12月8日、内閣府は、2023年7～9月期の実質国内総生産（GDP、季節調整済み）改定値が前期（4～6月期）比0.7%減、年率換算2.9%となったと発表した。11月の速報値の年率2.1%から下方修正した。4四半期ぶりマイナス成長となった。物価高に伴う個人消費の低迷が景気化の足を引っ張っている様子がうかがえる。

景気実感に近いとされる名目GDPは、速報値段階の年率0.2%減から0.05%減に引き上げられた。（12月9日）

F R B利下げ示唆 利下げ来年3回想定

12月13日、米連邦準備制度理事会（FRB）は、連邦公開市場委員会（FOMC）で、政策金利を5.25～5.50%に据え置くことを決めた。インフレが落ち着いてきたためとみられ、昨春に始まった利上げ局面が終了した可能性が高く、来年中に3回の利下げを見込んでいる。このため、ニューヨーク市場では、景気減速の懸念が後退し、ダウ工業株30種平均が初めて3万7千ドルの大口を超えた。（12月15日）

日銀大規模緩和維持 慎重に判断

12月19日、日本銀行は、金融政策決定会合で、大規模な金融緩和策の維持を決定した。緩和策は、短期金利をマイナス0.1%、長期金利を0%に誘導することが柱で、長期金利の上限は「1%をめど」とし、1%を一定程度超えることも容認する。金融緩和策の出口については、賃金上昇をともなう持続的な物価上昇の実現などを慎重に見極めていくものとみられる。（12月20日）

家計金融資産 最多2,121兆円 株高・投資信託増

12月20日、日本銀行は、2023年7～9月期の資金循環統計（速報）で、9月末時点の家計の金融資産の残高が、前年同期比5.0%増の2,121兆円となり、過去最大を更新したと発表した。その内訳は、現金・預金が1.2%増の1,113兆円で過半数を占めた。株式が30.4%増の273兆円、投資信託が17.4%増の101兆円と急増し、いずれも過去最大となった。株高を背景に、貯蓄から投資にシフトする動きがみられる。日本銀行が保有する国債（国庫短期証券を除く）の割合は発行残高（1,066兆円）の53.86%となり、過去最大を更新した。（12月21日）

112兆円当初予算案 閣議決定 6年連続100兆円超

12月22日、政府は、2024年度予算案を閣議決定した。一般会計の総額は112兆717億円となり、前年度を下回ったものの、過去2番目の規模で、6年連続の100兆円超えとなった。社会保障関連費や防衛、国債費が過去最大に膨らむなか、賃上げ促進に積極的に予算を振り向けた。一方で、財源不足を国債発行で穴埋めする財政構造は変わっていない。（12月23日）

販路拡大・業務効率化等

Webを活用して 経営課題を解決!

ビジネスに直結した
経営支援サービスを定額料金で
ご提供いたします!

新機能
新サービス
拡充中!

〈会員制〉経営支援プラットフォーム

四国銀行 Big Advance

全国の会員がつながる!/ ビジネスマッチング機能

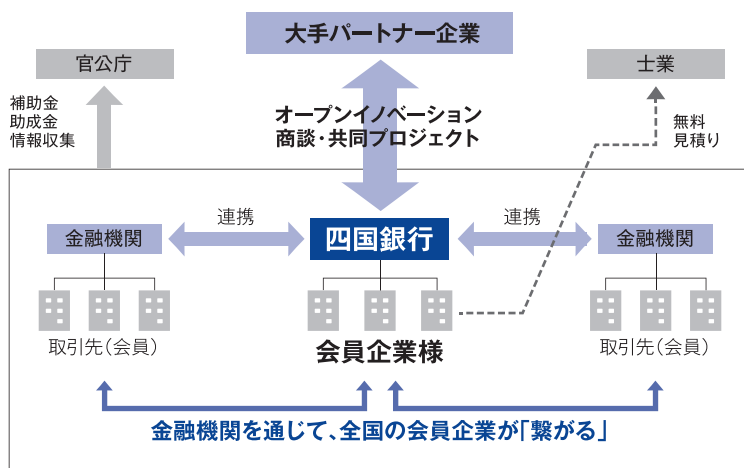
全国の金融機関が連携し会員企業同士が繋がることで地域を超えたビジネスマッチングを実現。新たな技術やサービス、新事業が創出可能に。

参加 全国 金融機関 42社
(2020年9月30日現在)

参加 全国 中小企業 2万7,000社超
(2020年9月30日現在)

ビジネスマッチング機能
チャット
士業相談
ホームページ作成
福利厚生サイト「FUKURI」
補助金・助成金情報
安否確認

全部
使える!



初期費用 入会金 0円 基本料金 月額 3,300円 (税込)

※クレジットカードでのお支払いのみとなります。

※引き落とし日はカード会社によって異なります。なお、ご利用明細には「四国銀行 Big Advance」と記載されます。
※領収証の発行は行いません。

※本サービスご登録と同時にSHARES(登録無料)にも自動登録されますのでご了承ください。

●お申し込みからご利用まで簡単ステップ

当行ホームページから専用サイトへアクセス

四国銀行 検索

または、右記の二次元バーコードから専用サイトへアクセス

※四国銀行とお取引のある法人・個人事業主のお客さまが対象となります。
※ご利用開始までは最大3営業日かかります。

サービスサイトはこちら



スマホも
OK!



詳しくは下記、もしくはお近くの営業店までお問い合わせ下さい。

四国銀行 Big Advance 事務局

メールアドレス
 big-advance0175@shikokubank.co.jp

地域とともに歩む、皆様のしぎんグループ



四国銀行



ファイナンスリース業

四銀総合リース株式会社

TEL 088-884-5171

住宅ローン・個人ローンの債務保証業務

四国保証サービス株式会社

TEL 088-885-5300

コンピュータシステムの開発業務

四銀コンピューターサービス株式会社

TEL 088-862-0520

四国銀行各代理店の運営業務

四銀代理店株式会社

TEL 088-871-2251

産業・経済の調査、投資事業組合財産の管理・運営

株式会社 四銀地域経済研究所

TEL 088-883-1152

(個人情報の取扱いに関するお問い合わせ先)

〒780-0823 高知市菜園場町1番21号

株式会社四銀地域経済研究所

E-mail : shigincr@crux.ocn.ne.jp

代表者氏名：西本 治史

(受付時間：休業日を除く月曜日～金曜日 9：00～17：00)



経営情報

1

2024
No.188

編集・発行

株式会社四銀地域経済研究所

〒780-0823 高知市菜園場町1-21 四国総合ビル3階
TEL (088) 883-1152 FAX (088) 883-1156